

予算科目	10 款	教育費	事業名		小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業		
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実		
	事業	教育指導奨励費		( 1 )	学校教育の充実を図る		
担当部課	教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ	P 90			
目的及び事業内容		小・中学校の体育文化活動の充実を図るとともに、各種大会へ出場する際の交通費、宿泊費の一部助成等により保護者負担を軽減する。					
		大会区分	補助対象経費	補助率	備考		
		体育活動 地区大会以上	交通費	80%	東北大会以上は、宿泊に要した実費相当額で、6,000円を上限に補助する。		
		文化活動 地区大会以上	交通費	80%			
			楽器輸送費	100%			
取組実績		補助金の交付					
		音楽コンクール地区大会以上に参加した小・中学校に対し、交通費及び楽器輸送費等の一部を助成した。					
		・地区大会参加回数	12回 (10校)				
		・県大会参加回数	12回 (8校)				
		・補助金交付額	1,663,643円				
		体育活動地区大会以上に参加した中学校に対し、交通費等の一部を助成した。					
		・地区大会参加回数	50回 (17校)				
		・県大会参加回数	40回 (14校)				
		・東北大会参加回数	13回 (8校)				
		・全国大会参加回数	8回 (6校)				
		・補助金交付額	25,946,228円				
成果		音楽コンクールにおける地区大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。					
		主な指標項目	R4	R5	R6		
		補助対象校 (補助件数)	7校 (9件)	12校 (23件)	12校 (24件)		
		補助金交付額	1,140,383円	1,056,514円	1,663,643円		
		体育活動における地区大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。					
		主な指標項目	R4	R5	R6		
		補助対象校 (補助件数)	18校 (112件)	17校 (115件)	17校 (111件)		
		補助金交付額	21,278,648円	21,592,187円	25,946,228円		
成果に係る評価		令和6年度より交通費及び宿泊費に係る補助率を、現行の75%から80%に引き上げたことにより、交付決定件数は横ばいに推移したものの、交付金額実績は上昇した。今後は部活動の地域移行の進捗にも留意しつつ、補助率や補助対象の拡充の検討を図りながら、大会等への参加に係る児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、児童生徒がスポーツや音楽を気軽に親しめる環境を整備する。					
(単位:円)							
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		27,609,871	27,609,871			21,000,000	6,609,871

予算科目	10 款	教育費	事業名	奨学金貸与事業																																	
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																
	事業	奨学金貸与費		( 3 )	有能な人材を育成支援する																																
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 93																																	
目的及び事業内容	石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																																				
取組実績	<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、石巻市奨学生選考委員会で11名※の新規奨学生を決定した。 ※前年度内定採用者の正式採用も含む</p> <p>(2) 貸与区分 (月額)</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> <tr> <td>高校在学</td> <td>15,000円</td> <td>高専在学</td> <td>第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学 (専門課程)</td> <td>45,000円</td> </tr> </table> <p>(3) 貸与者数 35名 (4) 貸与金額 18,540,000円</p> <p>2 奨学金の償還 滞納者に対し督促書を郵送した。返済の見込めない滞納者については、その保護者及び連帯保証人に催告書を送付し返済を求め、収納促進を図った。</p>					区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学 (専門課程)	45,000円																				
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																																		
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円																																		
大学在学	45,000円	専修学校在学 (専門課程)	45,000円																																		
成 果	<p>経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <p>1 貸与状況</p> <table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> <tr> <td>奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)</td> <td>31名 (8名)</td> <td>29名 (11名)</td> <td>35名 (11名)</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>15,705,000円</td> <td>14,940,000円</td> <td>18,540,000円</td> </tr> </table> <p>2 償還状況 (令和6年度)</p> <table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>令和6年度 (現年) 分</th> <th>滞納 (過年度) 分</th> <th>繰上償還分</th> </tr> <tr> <td>調 定 額</td> <td>29,971,700円</td> <td>31,548,950円</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>償 還 額</td> <td>28,423,600円</td> <td>3,968,400円</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>滞 納 額</td> <td>1,548,100円</td> <td>27,580,550円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>償 還 率</td> <td>94.8%</td> <td>12.6%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>					主な指標項目	R4	R5	R6	奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	31名 (8名)	29名 (11名)	35名 (11名)	貸与金額	15,705,000円	14,940,000円	18,540,000円	項 目	令和6年度 (現年) 分	滞納 (過年度) 分	繰上償還分	調 定 額	29,971,700円	31,548,950円	600,000円	償 還 額	28,423,600円	3,968,400円	600,000円	滞 納 額	1,548,100円	27,580,550円	0円	償 還 率	94.8%	12.6%	100.0%
主な指標項目	R4	R5	R6																																		
奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	31名 (8名)	29名 (11名)	35名 (11名)																																		
貸与金額	15,705,000円	14,940,000円	18,540,000円																																		
項 目	令和6年度 (現年) 分	滞納 (過年度) 分	繰上償還分																																		
調 定 額	29,971,700円	31,548,950円	600,000円																																		
償 還 額	28,423,600円	3,968,400円	600,000円																																		
滞 納 額	1,548,100円	27,580,550円	0円																																		
償 還 率	94.8%	12.6%	100.0%																																		
成果に係る評価	<p>採用人数については、前年度と同水準となっている。今後も年3回の募集機会の効果を検証しながら、一定数の採用人数確保に向けて取り組んでいく。制度利用者へのアンケート調査の結果では、自治体を実施する奨学金制度自体を知らなかったという声もあったことから、より効果的な制度普及方法を検討していく。</p> <p>償還金の滞納対策として、滞納者との納付相談や、保護者及び連帯保証人への催告等を実施したが、償還率の向上には至らなかった。その他、新たな滞納者が生じないよう前年度償還金の償還状況を確認しながら、返済期が遅れている奨学生に対しては電話による状況確認を行った。</p> <p>今後も個別相談や電話連絡等により滞納者の生活状況の把握に努めながら、効果的な滞納対策を実施する。</p>																																				
予算の執行状況	(単位: 円)																																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	20,826,602	20,733,234			18,540,000	2,193,234																															

予算科目	10 款	教育費	事業名	国際理解教育推進事業											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実										
	事業	外国青年英語指導費		( 2 )	外国語教育を推進する										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 92											
目的及び事業内容	幼稚園、小・中学校及び高等学校における A L T (外国語指導助手) を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。 1 市立中学校、高等学校における外国語科の充実 2 市立小学校における外国語活動、外国語科の充実 3 市立幼稚園、こども園、学びサポートセンターにおける国際理解教育の推進														
取組実績	<p>1 市立中学校・高等学校 市立全ての幼・小・中・高を16のブロックに分け、それぞれに1名ずつ A L T を配置した。2名の J E T - A L T と14名の民間 A L T (業務委託) を配置しており、J E T プログラムの A L T については、授業以外の場面でも生徒と積極的に接した。どの中・高でも週に1回程度は A L T の指導を受けている。</p> <p>2 市立小学校 中・高学年で行われている外国語活動の時間に合わせて A L T を配置した。学級担任や外国語担当教員と協働し、児童が楽しみながら外国語を使用し、コミュニケーション能力の基礎を養えるような授業づくりに努めた。どの小学校も週に1回程度は A L T の指導を受けている。</p> <p>3 市立幼稚園・こども園・学びサポートセンター 月に1回程度配置し、英語を使った活動等を行い、英語に対する関心を高める機会を設定した。</p> <p>※ J E T プログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会 ( C L A I R ) の協力の下に実施する事業。</p>														
成 果	<p>市立幼稚園、こども園、市立小・中・高、学びサポートセンターの全57の施設において、担当教員との質の高いチームティーチングが実践された。また前年に引き続き、高い水準で A L T との授業を「楽しい」と感じる児童生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対する関心や意欲を高めることに大いに貢献している。</p> <table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> <tr> <td>A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 (中学2年生)</td> <td>88.9%</td> <td>91.3%</td> <td>92.4%</td> <td>91.8%</td> </tr> </table>					主な指標項目	R3	R4	R5	R6	A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 (中学2年生)	88.9%	91.3%	92.4%	91.8%
主な指標項目	R3	R4	R5	R6											
A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 (中学2年生)	88.9%	91.3%	92.4%	91.8%											
成果に係る評価	<p>現行学習指導要領では、小学校での外国語の時数が増加し、指導内容もより実際のコミュニケーションを意識したものとなっている。小学校における A L T のニーズが高まっている中で、本市においては1人の A L T が2~4校程度担当しており、児童・生徒が常に A L T の指導を受けられる状況とはなっていない。今後、小学校への A L T の配置数を増やし、一層の指導の充実を図っていく必要がある。</p> <p>授業では担任教員とのチームティーチングにより、子どもたちが異文化への興味・関心を高め、身の回りにおける様々な学習資源を活用して自ら英語力を高めていこうとする意欲を培っていくとともに、国際理解教育の更なる充実を図っていく。</p>														
予算の執行状況	(単位: 円)														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	81,617,188	81,276,774				81,276,774									

予算科目	10 款	教育費	事業名		いじめ・生徒指導問題対策事業																																															
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																															
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																															
	事業	いじめ・生徒指導問題対策費		( 1 )	学校教育の充実を図る																																															
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 90																																																
目的及び事業内容	<p>いじめやその他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期発見・解決を図る。</p> <p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施  2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決に係る研修会、講演会の実施  3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  4 「S t o p ! いじめ石巻市子どもサミット」の実施</p>																																																			
取組実績	<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施  市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  いじめ防止標語（小）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>3 「S t o p ! いじめ石巻市子どもサミット」は、市内全中学校のいじめの防止の取組について、オンラインにて行った。</p> <p>4 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事態が起きた際の対応検討等を行った。</p> <p>5 いじめ問題対策連絡協議会主催で「学校におけるいじめ案件の法的対応」と題して11月に教育講演会を実施した。</p>																																																			
成果	<p>【いじめ認知件数の推移】※解消率は、各年度末の数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>認知件数</td> <td>77件</td> <td>186件</td> <td>96件</td> <td>92件</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>66.20%</td> <td>85.50%</td> <td>62.50%</td> <td>72.83%</td> <td>72.06%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>認知件数</td> <td>46件</td> <td>39件</td> <td>36件</td> <td>39件</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>47.80%</td> <td>76.90%</td> <td>77.78%</td> <td>53.85%</td> <td>77.42%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>認知件数</td> <td>123件</td> <td>225件</td> <td>132件</td> <td>131件</td> <td>99件</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>59.30%</td> <td>84.00%</td> <td>66.67%</td> <td>67.18%</td> <td>73.74%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・令和6年度のいじめの解消率が令和5年度と比べ、約6.6ポイント上回っている。</p> <p>※『いじめが「解消している」状態とは、①いじめに係る行為が止んでいること、被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること。この相当の期間とは、少なくとも3か月を目安とする。②被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと、いじめに係る行為が止んでいるかどうかを判断する時点において、被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。』  平成25年10月11日文科科学大臣決定（最終改定 平成29年3月14日）いじめの防止等のための基本的な方針より抜粋</p>								R2	R3	R4	R5	R6	小学校	認知件数	77件	186件	96件	92件	68件	解消率	66.20%	85.50%	62.50%	72.83%	72.06%	中学校	認知件数	46件	39件	36件	39件	31件	解消率	47.80%	76.90%	77.78%	53.85%	77.42%	合計	認知件数	123件	225件	132件	131件	99件	解消率	59.30%	84.00%	66.67%	67.18%	73.74%
		R2	R3	R4	R5	R6																																														
小学校	認知件数	77件	186件	96件	92件	68件																																														
	解消率	66.20%	85.50%	62.50%	72.83%	72.06%																																														
中学校	認知件数	46件	39件	36件	39件	31件																																														
	解消率	47.80%	76.90%	77.78%	53.85%	77.42%																																														
合計	認知件数	123件	225件	132件	131件	99件																																														
	解消率	59.30%	84.00%	66.67%	67.18%	73.74%																																														
成果に係る評価	<p>いじめの認知を高めるために、各校では、いじめアンケートの実施に加え個別面談を実施し、未然防止と早期発見に努めている。さらに、いじめ認知後も、児童生徒の見守りや早期発見・解決といった取組を組織的に行うことで、年度内の解消率が高まっている。解消できなかった案件についても、進級及び進学での引継ぎがなされ、指導を継続することで解消に努めている。</p> <p>今後も、教職員を対象としたいじめの未然防止及び認知後の対応の在り方について研修を深めるとともに、児童生徒同士の望ましい人間関係づくりの推進や道徳教育の充実を図るため、引き続き事業を継続する必要がある。</p>																																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	855,000	467,733				467,733																																														

予算科目	10 款	教育費	事業名		スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー配置事業																																																															
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																															
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進																																																															
	事業	スクールカウンセラー配置事業費 スクールソーシャルワーカー配置事業費		( 1 )	心のケアや相談体制の充実を図る																																																															
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 95																																																																
目的及び事業内容	<p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。また、スクールソーシャルワーカーの配置により、不登校対応を中心に暴力行為等の問題行動を未然に防止する。</p> <p>1 児童生徒・保護者・教職員からの要望に応じたカウンセリングの実施  2 問題を抱える児童生徒に対する面談等の働きかけ  3 児童相談所等の関係諸機関との連携体制の構築 など</p>																																																																			
取組実績	<p>1 スクールカウンセラー  (1) 配置状況 全小・中・高校に配置 (31人)  (2) 回数  1人あたり 小学校各校年間6~42回、中学校各校年間30~42回、桜坂高校60回  (3) 活動内容  面談・カウンセリング研修等の実施・カウンセリングルームの環境整備  各学級巡回・各種ケース会議・おたよりの作成 等</p> <p>2 スクールソーシャルワーカー  (1) 配置状況 8人配置  (2) 回数及び時間 訪問回数 1,849回 活動時間 3,567時間  (3) 活動内容 ケース会議 71回(教職員等 32回(31件) 関係機関等 39回(36件))</p>																																																																			
成果	<p>1 スクールカウンセラー  全小・中学校には県からの配置を受け、桜坂高校には市がハイスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制を整えることができた。相談者が専門的なカウンセリングを受けることにより、震災後の心のケアも含め、学校や家族の内在的な問題等の解決の一助としての役割を担った。</p> <p>○相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>相談</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>件数</td> <td>3,111件</td> <td>3,540件</td> <td>3,409件</td> <td>3,031件</td> <td>3,173件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3,669人</td> <td>3,743人</td> <td>3,490人</td> <td>3,211人</td> <td>3,265人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>件数</td> <td>1,950件</td> <td>2,199件</td> <td>2,515件</td> <td>2,270件</td> <td>1,687件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2,052人</td> <td>2,138人</td> <td>2,648人</td> <td>2,423人</td> <td>1,906人</td> </tr> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>件数</td> <td>229件</td> <td>224件</td> <td>236件</td> <td>189件</td> <td>210件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人数</td> <td>349人</td> <td>350人</td> <td>348人</td> <td>307人</td> <td>340人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 スクールソーシャルワーカー  学校、学びサポートセンター、庁内関係課、病院ほか関係団体等と連携を図ることにより、問題を抱える児童生徒等に対し、家庭訪問や巡回相談、支援関係者会議等でケース対応することができた。</p> <p>○相談後の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6年度相談件数(計468件)</td> <td>78件</td> <td>205件</td> <td>150件</td> <td>35件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>17%</td> <td>44%</td> <td>32%</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table>						学校区分	相談	R2	R3	R4	R5	R6	小学校	件数	3,111件	3,540件	3,409件	3,031件	3,173件	人数	3,669人	3,743人	3,490人	3,211人	3,265人	中学校	件数	1,950件	2,199件	2,515件	2,270件	1,687件	人数	2,052人	2,138人	2,648人	2,423人	1,906人	桜坂高校	件数	229件	224件	236件	189件	210件		人数	349人	350人	348人	307人	340人		問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	R6年度相談件数(計468件)	78件	205件	150件	35件	割合	17%	44%	32%	7%
学校区分	相談	R2	R3	R4	R5	R6																																																														
小学校	件数	3,111件	3,540件	3,409件	3,031件	3,173件																																																														
	人数	3,669人	3,743人	3,490人	3,211人	3,265人																																																														
中学校	件数	1,950件	2,199件	2,515件	2,270件	1,687件																																																														
	人数	2,052人	2,138人	2,648人	2,423人	1,906人																																																														
桜坂高校	件数	229件	224件	236件	189件	210件																																																														
	人数	349人	350人	348人	307人	340人																																																														
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																																																
R6年度相談件数(計468件)	78件	205件	150件	35件																																																																
割合	17%	44%	32%	7%																																																																
成果に係る評価	<p>スクールカウンセラーについては、相談活動、情報交換やケース会議、相談しやすい環境づくり等も実施し、教職員の力量の向上や組織的かつ適切な対応のための組織づくりに生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケア、複合化する問題の解決の面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。多様化する生徒の悩みを受け入れ、ともに解決の糸口や対処法を考えていくスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p> <p>スクールソーシャルワーカーについては、総活動時間を246時間増やし、問題の解決・好転につなげることができた。問題の未然防止やヤングケアラー等の問題の早期解決のためにも今後も事業を継続する必要がある。</p>																																																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	20,880,000	19,755,240	12,875,000			6,880,240																																																														

予算科目	10 款	教育費	事業名	防災教育充実事業〔復興基金〕			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育み命を未来につなぐまち		
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進		
	事業	学校安全推進費、防災教育充実事業費、学校安全総合支援事業費		( 2 )	防災教育の充実を図る		
担当部課	教育委員会学校安全推進課		実施計画掲載ページ	P 96			
目的及び事業内容	<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な学校環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応力を育成するための教材等の作成</p>						
取組実績	<p>1 学校防災推進会議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当者で構成する学校防災推進会議において、本市の学校防災の今後の在り方について協議を行った。また、学校防災についてより専門的に調査・研究するため、3つのワーキンググループ(WG)を設置し、学校防災の推進に向けた活動を行った。 【取組内容】 WG1「防災研修」：安全担当主幹教諭や防災主任、管理職を対象とした研修会の実施、学校防災フォーラムの開催、クロスロード石巻版児童生徒編の活用 WG2「防災管理」：学校安全マニュアルの点検及び改善指導、大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査、地域防災連絡会の活動促進と充実 WG3「防災教育」：防災合言葉、復興・防災マップの募集、防災教育副読本の活用促進及び活用状況の確認</p> <p>2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練 児童生徒が災害から命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するため、緊急地震速報受信機を導入し、緊急地震速報受信機を活用した実践的な避難訓練を実施した。</p> <p>3 防災教育副読本を活用した授業実践 本市の実態に即した防災教育推進のため、発達段階に応じた内容で作成した防災教育副読本を活用した防災教育を全ての市立小・中学校で展開した。(副読本の内容は令和2年度に全面改訂し、その後毎年一部改訂を実施) ※防災教育副読本発行部数 小学校：1年生1,000冊、4年生1,150冊 中学校：1年生1,150冊</p>						
成 果	(区 分)		(実 績 等)				(成 果)
	1 学校防災推進会議 WG1「防災研修」	学校防災フォーラム開催 (参加者：200名)	県内から多数参加者を迎え、当市の学校防災に関する取組を広く発信することができた。				
	WG2「防災管理」	学校安全マニュアルの点検及び改善の指導	各校の学校安全マニュアルを点検・指導し、より実践的なマニュアルの整備ができた。				
	WG3「防災教育」	防災合言葉、復興・防災マップコンクールの開催	優秀作品を市報や庁舎1階通路に掲載することで、市全体の防災意識の高揚が図られた。				
成 果	2 緊急地震速報受信機 を活用した避難訓練	緊急地震速報受信機設置校全てで実施(小学校：30校、中学校：16校)	緊急地震速報受信機を活用することで、臨場感のあるより実践的な避難訓練が行われ、児童生徒の迅速な避難行動につながっている。				
	3 防災教育副読本を活用した授業の実践	全市立小・中学校で防災教育副読本を活用した授業を実施(小学校：32校、中学校：17校)	防災教育副読本を活用し、発達段階に応じた指導の実施により、児童生徒に必要な知識や能力を身につけることができた。				
	成果に係る評価	<p>震災から14年が経過し、児童生徒のほとんどが震災を経験していない子どもたちであり、震災を経験していない教職員も同様に増えている中、震災の事実や教訓を語り継ぎ、風化させないことが必要である。そのために、防災教育副読本やクロスロード石巻版等の教材を活用した防災教育の推進、緊急地震速報受信機を活用した児童生徒の主体的な行動を伴った実践的な避難訓練の実施、教職員を対象とした研修会の開催等を今後も継続し、児童生徒及び教職員の防災意識及び災害対応力の向上を図るとともに、児童生徒が「自分の命は自分で守る」ことができるように活動していくことが不可欠である。今後、学校と地域が一体となった防災活動を推進し、地域ぐるみの防災体制の強化及び防災教育の拡充を図る必要がある。</p>					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,471,000	5,803,155	1,782,000		1,183,000	2,838,155	

予算科目	10 款	教育費	事業名	特別支援教育支援員配置事業			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実		
	事業	特別支援教育事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る		
担当部課	教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ	P 90			
目的及び事業内容	<p>通常の学級に在籍している特別な配慮を必要とする児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>1 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 2 当該児童生徒への日常生活支援及び学習指導補助</p>						
取組実績	1 特別支援教育支援員の配置状況						
	小学校	内 訳		R3	R4	R5	R6
		希望校数	29校	29校	30校	30校	
		支援を要する児童	566人	567人	677人	611人	
配置希望(最低人数)A		117人	128人	137人	154人		
配置人数 B	72人	73人	76人	81人			
充足率 B/A	61.5%	57.0%	55.5%	52.5%			
中学校	希望校数	14校	15校	15校	15校		
	支援を要する生徒	93人	116人	169人	166人		
	配置希望(最低人数)C	25人	34人	33人	34人		
	配置人数 D	19人	21人	22人	22人		
充足率 D/C	76.0%	61.8%	66.7%	64.7%			
取組実績	<p>【通常の学級における当該児童生徒への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内就学支援委員会等で特別支援教育支援員の配置が必要であると認められた児童生徒は777人であり、そのうち学校からの配置希望人数188人に対して、特別支援教育支援員103人を配置した。特別な配慮を必要とする児童生徒は毎年、増加傾向にある。</li> <li>・校内就学支援委員会において、学級担任や特別支援教育コーディネーター等と特別支援教育支援員が、どのような連携・協力を要するのか事前に決め、学級担任と連携しながら、児童生徒の実態や状況に合わせた支援を行った。</li> <li>【特別支援教育支援員研修会(年2回)】</li> <li>・年度初めに「特別支援教育支援員としての心構え」について、中間期に「教育現場での発達に気になる子への関わり」についての研修を行い、支援方法の理解を深めた。</li> </ul>						
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、特別な配慮を必要とする児童生徒が通常学級で他の児童生徒と共に学ぶ際に特別支援教育支援員からの声掛けや寄り添いながらの支援により、配慮を必要とする子の困り感の軽減、さらに配慮を必要としない児童生徒も学習環境が改善し、学習や学校生活ができるようになった。また、特別支援学級の児童生徒についても個別に支援を受けることにより、安定した学校生活につながっている。</li> <li>・児童生徒の困り感やその行動の原因などについて十分理解することに努め対応したことにより、特別支援教育支援員との人間的な触れ合いを支えとし、安心して学校生活が送れるようになった。</li> <li>・特別支援教育支援員の役割は、対象となる児童生徒の支援が第一義的な役割であるが、特別な配慮を必要とする児童生徒が必要な支援を受けて学校生活を送っていくためには、周囲の児童生徒の理解が不可欠でもある。支援を受ける本人以外の児童生徒も特別支援教育支援員の存在についても理解が深まっている。</li> </ul>						
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする児童生徒の増加に伴い、特別支援教育支援員が学級や学年の枠を超えて一人で複数の児童生徒を支援しなければならないケースが増加している。医師の診断を受けた児童生徒も増え、診断に基づいた一人一人の特性に合った支援が求められている。</li> <li>・学級担任等は、特別支援教育支援員に対して、学級経営の方針や特別な支援が必要な児童生徒の授業及び生活指導などにおけるねらいを情報共有し、その理解を踏まえた対応ができるよう連携を図っていくことが大切である。</li> </ul>						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	246,461,000	238,597,261	2,659,000			235,938,261	

予算科目	10 款	教育費	事業名	定住外国人就学支援事業																					
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	定住外国人就学支援事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る																				
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																					
目的及び事業内容		石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる定住外国人就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。																							
取組実績		<p>1 定住外国人就学支援員の配置 支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる定住外国人就学支援員を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <p>2 定住外国人就学支援員研修会の実施（年2回） 研修会では、定住外国人の児童生徒の実態や支援の在り方について研修を行った。また、定住外国人就学支援員の方々の悩みや不安を解消できるように、情報交換会を設定した。</p>																							
成果		<p>令和6年度は、支援を必要とする児童生徒7人（小学校6校、中学校1校）全員に定住外国人就学支援員を配置し、学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、定住外国人就学支援員研修会を年2回行い、それぞれの取組の成功事例や悩み等を定住外国人就学支援員同士で共有することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td> <td>8人（6校）</td> <td>8人（7校）</td> <td>5人（4校）</td> <td>8人（8校）</td> <td>7人（7校）</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>4人</td> <td>8人</td> <td>5人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援を要する児童生徒の母国語は、タガログ語（1人）、英語（3人）、中国語（2人）、モンゴル語（1人）であった。</p>						主な指標項目	R2	R3	R4	R5	R6	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	8人（6校）	8人（7校）	5人（4校）	8人（8校）	7人（7校）	配置した支援員数	4人	8人	5人	8人	7人
主な指標項目	R2	R3	R4	R5	R6																				
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	8人（6校）	8人（7校）	5人（4校）	8人（8校）	7人（7校）																				
配置した支援員数	4人	8人	5人	8人	7人																				
成果に係る評価		令和6年度は配置を希望するすべての学校に定住外国人就学支援員を配置し、日本語を話すことができない児童生徒の学校生活を支援することができた。 定住外国人は年々増加傾向にあり、今後も就学支援員を必要とする児童生徒が増えることが予想されるが、国籍も様々であり、支援が必要な児童生徒のニーズに十分な対応ができないケースが想定されるため、地域の国際サークルや宮城県国際化協会等の関係機関と連携を密にしながら広く人材を発掘していく必要がある。																							
予算の執行状況		（単位：円）																							
予算額	決算額	決算額の財源内訳				一般財源																			
		国（県）支出金	地方債	その他																					
9,749,000	9,402,279					9,402,279																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書館担当職員配置事業																											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																										
	事業	学校図書館担当配置事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																											
目的及び事業内容		<p>各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館利用に係る一層の促進に資する。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施</p>																													
取組実績		<p>平成28年度から学校司書の配置を開始し、令和6年度は市内全小中学校（49校）に17人を配置した。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>学 校 数</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>内 訳</td> <td>小30・中11</td> <td>小31・中13</td> <td>小33・中15</td> <td>小32・中17</td> <td>小32・中17</td> </tr> </tbody> </table> <p>※学校図書館担当職員1名あたり2校～3校を兼務。</p> <p>2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施 市図書館司書を講師とした全体研修会等を開催し、技能向上に努めた。 内容：初任者研修（実務研修）1回 全体研修（実技、情報共有等）5回</p>						年 度	R2	R3	R4	R5	R6	人 数	14	15	16	17	17	学 校 数	41	44	48	49	49	内 訳	小30・中11	小31・中13	小33・中15	小32・中17	小32・中17
年 度	R2	R3	R4	R5	R6																										
人 数	14	15	16	17	17																										
学 校 数	41	44	48	49	49																										
内 訳	小30・中11	小31・中13	小33・中15	小32・中17	小32・中17																										
成果		<p>1 令和5年度に引き続き学校図書館担当職員（学校司書）を全小中学校に配置した。 2 初任学校司書を対象とした研修を実施し、基礎的知識の習得を図った。また、全体研修会を開催し、他の学校司書の事例を検討していくことにより、資質及び技能の向上を図った。 3 学校司書の配置により図書館機能の向上が図られたが、貸出冊数は前年度から約19.7%減少した。要因の一つとしては令和6年度から導入した電子図書の普及に伴うものと考えられる。</p> <p>■図書貸出実績 R2年度 133,048 冊 R3年度 156,910 冊 R4年度 168,191 冊 R5年度 201,530 冊 R6年度 161,835 冊</p>																													
成果に係る評価		<p>図書分類による整理や新刊・推奨本コーナーの設置、授業で使用する図書の相談・準備など、司書業務により学校図書館の利用環境や機能が向上し、図書館担当教諭の業務軽減を図ることができた。図書貸出冊数が前年度と比較して減少しており、内訳としては小学校が約20%の減、中学校が約8%の減となった。一方、令和6年度より本格運用した電子図書事業（ヨモッカ）では、児童1人あたり月平均11冊の読書実績があることから、小学校においてタブレットを利用した読書活動の推進が図られたものと推察される。 今後も、学校図書館に求められる3つの役割「①読書活動の拠点となること（読書センター）」「②授業に役立つ資料を備え、学習支援を行うこと（学習センター）」「③情報活用能力を育むこと（情報センター）」が果たせるよう、引き続き学校司書の能力の向上を図るため、研修会等の実施に努める。</p>																													
予算の執行状況		（単位：円）																													
予算額	決算額	決算額の財源内訳				一般財源																									
		国（県）支出金	地方債	その他																											
44,122,000	43,251,382					43,251,382																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	サイエンスラボ事業																					
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	サイエンスラボ事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る																				
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																					
目的及び事業内容	<p>児童生徒が科学への興味・関心をもち、問題解決の力や自然を愛する心情を育てるとともに、教員の理科指導力の向上を通して、石巻市の理科教育の充実を図る。</p> <p>1 科学巡回教室、科学イベントの実施 2 教材・教員の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 「親と子の科学教室」の実施 5 企業や研究機関との連携</p>																								
取組実績	<p>1 科学巡回教室、科学イベントの実施 令和6年度は、科学巡回教室、科学イベントを、25小学校、1中学校、7幼稚園・こども園、その他2施設等において延べ72回実施した。 2 教材・教員の開発及び教員への提供 原子・分子の模型の作製を行い、各学校での授業に活用した。 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換を行った。 4 夏季休業に、小中学校教職員を対象にした研修会を実施した。 5 企業や研究機関との連携 日本電子株式会社の電子顕微鏡を活用した出前授業を実施した。</p>																								
成 果	<p>1 市内小学校に加え、中学校、幼稚園、こども園、学びサポートセンターなどで、幅広く科学巡回教室や科学イベントを開催した。分かりやすく楽しいプログラムを作成し、事後アンケートでは「楽しかった」「分かった」と肯定的な意見が多かった。アンケート結果は、下表のとおりである。 2 原子・分子の模型は、子どもたちにその世界をイメージさせるのに有効であった。 3 サイエンススーパーバイザーが、地域の要請に応じて科学イベントを行い、科学への興味・関心を高めることができた。 4 日本電子株式会社が、小学校4校に、ポータブル電子顕微鏡を用いた出前授業を行い、普段見ることができないミクロの世界に触れ、科学への興味・関心を高めることができた。</p> <p>アンケートにおける「楽しかった」「分かった」の肯定的な回答をした児童生徒の割合は次のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>楽しかった</td> <td>97.6%</td> <td>98.2%</td> <td>97.9%</td> <td>97.1%</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>分かった</td> <td>97.4%</td> <td>96.9%</td> <td>95.7%</td> <td>95.3%</td> <td>96.2%</td> </tr> </tbody> </table>								R2	R3	R4	R5	R6	楽しかった	97.6%	98.2%	97.9%	97.1%	98.0%	分かった	97.4%	96.9%	95.7%	95.3%	96.2%
	R2	R3	R4	R5	R6																				
楽しかった	97.6%	98.2%	97.9%	97.1%	98.0%																				
分かった	97.4%	96.9%	95.7%	95.3%	96.2%																				
成果に係る評価	<p>科学巡回教室や科学イベントは、小・中学校に加え、幼稚園・こども園のほか、保育所や子ども会など幅広く活用され、より多くの子どもたちを対象に、科学への興味・関心を高められる事業として展開している。さらに、教員対象とした理科教育に係る研修会を開催している。児童生徒をはじめ幅広い世代の子どもたちに、科学への興味・関心を持たせるとともに、教員の指導力向上を図られていることから、本事業の継続が必要である。</p> <p>関係機関との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。今後も企業等と連携し、子どもたちに科学や自然の魅力を伝える取組として継続していく必要がある。</p>																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	7,088,000	7,006,009			5,000,000	2,006,009																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	コミュニティ・スクール推進事業																																				
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																			
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																			
	事業	コミュニティ・スクール推進事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る																																			
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																																				
目的及び事業内容	<p>石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を設置し、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進体制の構築、学校間、地域間の連携を構築する。全ての小中学校にコミュニティ・スクールの導入し、地域とともにある学校づくりを推進する。</p>																																							
取組実績	<p>1 石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会 教育委員会におけるコミュニティ・スクールの導入及び運営に関することや各コミュニティ・スクール間の活動の共有、連絡、調整等において意見や助言を求めるために、学識経験者、小・中学校長会代表、父母教師会代表、地域防災関係者、家庭教育関係者、学校支援地域コーディネーター、学校運営協議会会長による石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を組織し、年4回会議を実施している。</p> <p>2 各校の学校運営協議会 学校運営協議会は、学校や子ども、家庭・地域社会の課題を地域ぐるみで解決し、子どもたちの健全な成長及び質の高い学校教育の実現を目指している。地教法第47条の5に規定されている3つの機能（①学校運営基本方針の承認②学校運営に対する意見を述べること③教職員の任用について意見を述べること）を協議して学校運営協議会ごとのアクションプラン作成に取り組んでいる。</p> <p>3 リーフレットを作成し、児童・生徒、保護者、地域への周知 リーフレットを市内小・中・桜坂高等学校に配布し、保護者等へのコミュニティ・スクールへの理解を深めている。</p> <p>4 コミュニティ・スクール推進フォーラムの実施 地域とともにある学校づくり推進フォーラムを実施し、石巻市内の学校関係者から多くの方の参加を得て、コミュニティ・スクールについての理解を深めた。</p>																																							
成 果	<p>【導入実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">CS導入校数</th> <th rowspan="2">組織率</th> <th colspan="3">新規導入校</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>累計</th> <th colspan="3"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>8校</td> <td>19校</td> <td>37.25%</td> <td colspan="3">湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中 蛇田中、山下中</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>13校</td> <td>32校</td> <td>64.0%</td> <td colspan="3">石巻小、山下小、渡波小、大街道小、中里小、鹿妻小 和瀬小、北上小、石巻中、渡波中、稲井中、北上中、杜鹿中 住吉小、開北小、万石浦小、飯野川小、大谷地小、二俣小 北村小、中津山一小、中津山二小、桃生小、鮎川小、大原小 寄磯小、万石浦中、飯野川中、河北中、桃生中、桜坂高校</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>18校</td> <td>50校</td> <td>100.0%</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> <p>令和6年度は新たに市内の18校が学校運営協議会を設置し、市内全ての小・中・市立高等学校がコミュニティ・スクールとなり地域とともにある学校づくりを推進した。また、石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を4回実施し、石巻市のコミュニティ・スクールの導入や運営について検討するとともに、各コミュニティ・スクールの活動状況について情報交換を行った。12月には石巻市コミュニティ・スクール推進フォーラムを開催した。</p>							年度	CS導入校数		組織率	新規導入校			新規	累計				R4	8校	19校	37.25%	湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中 蛇田中、山下中			R5	13校	32校	64.0%	石巻小、山下小、渡波小、大街道小、中里小、鹿妻小 和瀬小、北上小、石巻中、渡波中、稲井中、北上中、杜鹿中 住吉小、開北小、万石浦小、飯野川小、大谷地小、二俣小 北村小、中津山一小、中津山二小、桃生小、鮎川小、大原小 寄磯小、万石浦中、飯野川中、河北中、桃生中、桜坂高校			R6	18校	50校	100.0%			
年度	CS導入校数		組織率	新規導入校																																				
	新規	累計																																						
R4	8校	19校	37.25%	湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中 蛇田中、山下中																																				
R5	13校	32校	64.0%	石巻小、山下小、渡波小、大街道小、中里小、鹿妻小 和瀬小、北上小、石巻中、渡波中、稲井中、北上中、杜鹿中 住吉小、開北小、万石浦小、飯野川小、大谷地小、二俣小 北村小、中津山一小、中津山二小、桃生小、鮎川小、大原小 寄磯小、万石浦中、飯野川中、河北中、桃生中、桜坂高校																																				
R6	18校	50校	100.0%																																					
成果に係る評価	<p>導入校においては、教職員や学校運営協議会委員の間で、コミュニティ・スクールに対する理解が深まり、地域ぐるみで学校や子どもたちの課題を解決していこうとする意識の高まりが見られた。また、各校の学校運営協議会においては、学校や子どもたちの抱える課題を共有し、それらを解決するための具体的なアクションプランを作成し、学校、家庭、地域がそれぞれ果たすべき役割を明確化することができた。今後は市内全ての学校が学校運営協議会を設置したことから、コミュニティ・スクール検討推進委員会（年4回実施）のさらなる充実を図る。また、学校運営協議会の設置と一体的に進める必要のある地域学校協働活動（地域学校協働本部の設置）の連携を図るため、生涯学習課主催の地域学校協働活動代表者連絡会議や、学校教育課主催のコミュニティ・スクール検討推進委員会へ互いの課が参加し情報共有を図った。</p>																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	9,019,000	7,677,925	342,000			7,335,925																																		

予算科目	10 款	教育費	事業名		学力向上推進事業													
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実													
	事業	学力向上推進事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る													
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91														
<p>学力向上のための授業方法に係る P D C A サイクルを確立し、本市の小・中学校における学力の全体的な底上げを図るもの。</p> <p>目的及び事業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学力向上推進委員会の開催</li> <li>2 標準学力調査の結果分析を通じた授業改善</li> <li>3 基礎・基本の定着を図るタブレットドリルの活用</li> <li>4 株式会社山九大教職員等研修基金を活用した教員の指導力向上研修の実施</li> </ol>																		
<p>取組実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「学力向上推進委員会」による課題等の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 実施回数 年3回</li> <li>(2) 構 成 員 有識者、学校長、市 P T A 代表他</li> <li>(3) 内 容 保護者リーフレットの原案や学力向上プラン、市の取組に関する意見聴取</li> </ul> </li> <li>2 「標準学力調査」の実施と分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 実 施 日 第1回令和6年4月下旬、第2回令和6年12月上旬</li> <li>(2) 対 象 者 第1回小学校第2学年～中学校第3学年、第2回小・中学校全学年</li> <li>(3) 内 容 ・ 小学校は、国語、算数、中学校は、国語、数学の調査を行った。 ・ 各校調査結果を基にした分析を行い、課題を洗い出した。 ・ 第1回目の調査結果における課題を基に、各校において P D C A シートを作成し、授業改善の手立てを考え、授業改善を行った。</li> </ul> </li> <li>3 「タブレットドリル」の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 対 象 者 小・中学校全学年に導入</li> <li>(2) 導入教科 国語、算数・数学、英語</li> <li>(3) 活用状況 授業や宿題でのタブレットドリル活用</li> </ul> </li> <li>4 株式会社山九大教職員等研修基金を活用した教員の指導力向上研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 先進地視察研修 参加者：5校 6人（うち1人は教育委員会指導主事） 視察先：白石市、埼玉県、静岡県、京都府、兵庫県</li> <li>(2) 管理職等を対象とした研修 ア 組織的授業改善のため研修 講師：大学教授 参加者数：6月18日～19日延べ101人、8月7日～9日延べ216人</li> </ul> </li> </ol>																		
<p>成 果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学力向上推進委員会における意見聴取や提言により、市全体の学力の課題等についてきめ細かな洗い出しを行うことができた。その結果を市内全小中学校で共有し、各校での分析と共に授業改善を行った結果、全国学力・学習状況調査における算数・数学の平均正答率が県平均以上の学校の割合が目標値を上回ると共に、小学校全体でも県平均を上回った。 【全国学力・学習状況調査における算数・数学の平均正答率が県平均（仙台市を除く）以上の学校の割合】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>45.0%</td> <td>46.9%</td> <td>104.2%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>50.0%</td> <td>53.2%</td> <td>106.4%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>2 タブレットドリルは、国語科、算数・数学科、外国語・英語科ともに授業で学んだことの習熟のために、授業や家庭での学習等で活用が図られた。</li> <li>3 株式会社山九大教職員等研修基金を活用した教職員の研修事業により、組織的授業改善の活性化や、次世代リーダーを担う若手教員等の指導力の向上が図られた。</li> </ol>								目標値	実績	達成率	R5	45.0%	46.9%	104.2%	R6	50.0%	53.2%	106.4%
	目標値	実績	達成率															
R5	45.0%	46.9%	104.2%															
R6	50.0%	53.2%	106.4%															
<p>成果に係る評価</p> <p>・学力向上プランにより、授業改善の方向を示し、さらに、標準学力調査結果を受け、各校で指導方法を改善することで、学力向上のための P D C A サイクルの構築を推し進めることができた。今後も、各校の実態に応じた授業の改善を一層進めていく必要がある。 ・タブレットドリルに関しては、学校、学級による活用差が見られたが、活用率が低い学校へは直接活用を促してきた。今後も更なる活用の促しが必要である。 ・前年度より、研修日数を増やすと共に実践的な内容を提供したことで、8月3日間の任意参加研修は多数の教員が受講し、指導の改善も見られた。今後も工夫した研修が必要である。</p>																		
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳															
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	17,990,129	15,813,583						10,797,180	5,016,403									

予算科目	10 款	教育費	事業名		心のケア充実事業（震災心のサポート事業） 〔復興基金〕	
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進	
	事業	震災心のサポート事業費（東日本大震災関係分）		( 1 )	心のケアや相談体制の充実を図る	
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P95		
<p>目的及び事業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</li> <li>2 児童精神科医による子ども支援関係者会議、個別相談等 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家等を交えた子ども支援関係者会議や個別相談等を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</li> </ol>						
<p>取組実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 震災心の支援室業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室による相談を継続して行った。</li> <li>(2) 支援室だよりの発行</li> <li>(3) 支援室会議を月1回、サポート会議を4回（5月、9月、11月、1月）開催</li> </ul> </li> <li>2 児童精神科医による個別相談、心のケア研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立 児童生徒本人や保護者、学校関係者を対象とした個別相談を24回行った。</li> <li>(2) 心のケアに関する専門的な研修 児童精神の専門医を講師に、教職員等を対象に研修会を1回開催した。</li> </ul> </li> </ol>						
<p>成 果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 震災心の支援室業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 個別訪問、電話、来室により御遺族から継続的に話を聞くことができた。</li> <li>(2) 3月、7月を除く奇数月にサポート会議を開催し精神科医等から助言を得ることで、御遺族の心情に沿った適切なサポートを行うことができた。</li> </ul> </li> <li>2 児童精神科医による個別相談等 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子ども支援関係者会議及び個別相談 6月13日、9月12日、11月28日、2月20日の計4日間開催し、対面式で児童生徒、保護者、職員などの個別相談を行い、事案の解決に向けて具体的な心のケアについて考えた。 (メンバー) 国府台病院児童精神科にて勤務経験のある開業医、 スクールソーシャルワーカー、当該学校職員、児童生徒本人、その保護者等</li> <li>(2) 心のケア研修会 7月11日、講師に国府台病院児童精神科勤務経験のある牛島洋景氏をお迎えし、31名の教職員が参加して、児童生徒の成長につながる保護者支援についての研修を行った。</li> </ul> </li> </ol>						
<p>成果に係る評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 震災心の支援室業務 御遺族の生活状況においては、高齢化や独居等の懸念があるため、今後も、精神科医からの助言を得ながら、他の機関と連携し、状況に応じたきめ細やかなサポートを継続していく必要がある。</li> <li>2 児童精神科医による個別相談 児童精神科医による個別相談では、県内では専門医のいない疾病等や、配慮を要する児童生徒の対応方法について意見や助言を得ることができることから、保護者や教員等の支援者にとって有用かつ効果的であるため、今後も事業を継続していく必要がある。</li> </ol>						
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,226,000	1,048,615				

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校わくわくプラン事業																											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																										
	事業	学校わくわくプラン事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																											
目的及び事業内容	児童生徒の主体的に生きる力を育成するために、子供たちの学習や活動意欲を高める取組、学校と家庭・地域が連携した活動、教員の指導力向上の視点から、推進地区ごとに小・中学校が連携しながらわくわくする学校づくりを実施する。																														
取組実績	<p>1 学校わくわくプラン推進会議の開催 8人（校長1人・教頭1人・教諭5人・保護者代表1人）により構成し、4回行った。</p> <p>2 学校わくわくプラン推進地区（8地区）ごとの取組 地区ごとに計画して、講演会や研修会等を実施した。</p> <p>3 市内施設を活用した体験的学習の実施 小学生を対象に、震災遺構や消防署、雄勝硯伝統産業会館など、市内施設の見学等をバスを借り上げて実施した。</p> <p>4 学校わくわくプラン事業報告書・実践事例集の作成・発行 年度末に発行し、推進地区ごとの取組と教科等指導員による協同学習の実践例を共有した。</p> <p>5 わくわくフェスティバルの開催 いしのみき観光大使 武藤真也 様を講師に招き、マルホンまきあーとテラス大ホールにて、小学生を対象にした「みんなでHIPHOPダンスにチャレンジ！」を開催した。</p> <p>6 タブドリ祭りの実施 タブレットドリルの利用促進を図るため、11月に実施した。</p> <p>7 小中連携の推進 17中学校におけるMLA理論（マルチレベルアプローチ）の実践 SEL：コミュニケーション力を育む ・対人・意志決定スキルの向上等 ピア・サポート：思いやりの心を育む ・小中連携や縦割り活動の取組・ボランティア活動の実践 PBIS：夢や志を育む ・小中学校9年間の見通しを持った活動・各校、各中学校区での異年齢交流活動 協同学習：主体的に学ぶ力を育む ・協同学習の実践子どもたちの学習意欲の向上</p>																														
成果	<p>石巻市教育施策アンケートにおける「学校は楽しいですか」の項目に、肯定的な回答（楽しい、まあまあ楽しい）をした児童生徒の割合は次のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>84.0%</td> <td>92.9%</td> <td>92.4%</td> <td>92.5%</td> <td>92.6%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>79.5%</td> <td>89.4%</td> <td>90.0%</td> <td>91.7%</td> <td>91.5%</td> </tr> <tr> <td>合 算</td> <td>82.5%</td> <td>91.7%</td> <td>91.2%</td> <td>92.2%</td> <td>92.4%</td> </tr> </tbody> </table>								R2	R3	R4	R5	R6	小学校	84.0%	92.9%	92.4%	92.5%	92.6%	中学校	79.5%	89.4%	90.0%	91.7%	91.5%	合 算	82.5%	91.7%	91.2%	92.2%	92.4%
	R2	R3	R4	R5	R6																										
小学校	84.0%	92.9%	92.4%	92.5%	92.6%																										
中学校	79.5%	89.4%	90.0%	91.7%	91.5%																										
合 算	82.5%	91.7%	91.2%	92.2%	92.4%																										
成果に係る評価	<p>わくわくフェスティバルについて、参加促進に向けた「出張ダンス教室」を開催することにより、児童のやる気や意欲を高めることができ、参加者が増加した。今後さらに、「非認知能力※」を高め、子どもたちを「主体的な学習者」に育てていくため、様々な体験的な活動を通して、児童生徒の意欲や自信を高められるような事業内容の工夫・改善が必要である。</p> <p>※意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力。</p> <p>本事業で取り組んでいるMLA理論（マルチレベルアプローチ）を基にした取組は、平成26年度から、広島大学大学院栗原慎二教授を講師に招き市内全小中学校で実施しており、教員の指導力と「学校は楽しい」と答える児童生徒の割合の向上に寄与している。</p>																														
予算の執行状況	（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																									
	1,480,000	1,180,539			1,000,000	180,539																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市学びサポートセンター事業																										
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																									
	事業	学びサポートセンター事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る																									
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P92																										
目的及び事業内容	<p>学校生活への不安や心配がある児童生徒、不登校状態にある児童生徒に対する相談・支援の充実を図り、不登校児童生徒の未然防止や早期解決に資するとともに、通所やアウトリーチ、関係機関との連携など児童生徒に応じた支援を行うことで学習機会の確保と社会的自立を目指す。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 2 児童生徒の実態に応じた学習指導 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																													
取組実績	<p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">保護者相談 件数</td> <td>来所</td> <td>51件</td> <td>186件</td> <td>215件</td> </tr> <tr> <td>学校訪問</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>家庭訪問</td> <td>44件</td> <td>51件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>98件</td> <td>240件</td> <td>215件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R4は適応指導教室の実績</p> <p>2 児童生徒の実態に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒の実態や学年を踏まえて時間割を作り、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、連絡を密に行なった。懇談会の開催や学びサポートセンターでの学力調査、定期考査の実施、学校で使用しているプリントでの学習などにより、学校と児童生徒との結び付きを強化しながら指導・支援を行った。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、さつまいもの収穫、調理実習等の体験活動を通して仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。</p>							年度		R4	R5	R6	保護者相談 件数	来所	51件	186件	215件	学校訪問	3件	3件	0件	家庭訪問	44件	51件	0件	合計		98件	240件	215件
年度		R4	R5	R6																										
保護者相談 件数	来所	51件	186件	215件																										
	学校訪問	3件	3件	0件																										
	家庭訪問	44件	51件	0件																										
合計		98件	240件	215件																										
成果	<p>令和5年度から石巻市学びサポートセンター【コイル】を開設し、これまでの通所型の適応指導教室、アウトリーチによる心のサポートの機能に、学校生活に不安や悩みを抱える児童生徒、保護者の相談・支援を行う機能を加えて総合的に児童生徒の学びのサポートを行うとともに、情報を一元化して、学校、関係機関との連携を迅速に進め、よりスムーズに対応ができるようになった。</p> <p>石巻市学びサポートセンター【コイル】では、通所する児童生徒の学習や生活状況に関する相談に応じ、また、通所児童生徒の個々の進度に応じた学習支援を行うことにより、学力の向上を図り、学習することの楽しさを学ばせることができた。不登校児童生徒が通所し、様々な体験活動を通して、仲間とともに活動することによって、連帯感や協調性のすばらしさを感じ、また、他者とのコミュニケーション能力や社会性を高めることができた。なお、学校を交えた年3回の定期的な懇談会の開催や、保護者及び在籍校と密に連携を図ることにより、児童生徒の些細な変化に迅速に対応することができた。</p> <p>さらに、今年度は、フリースクールとの交流会を実施し、行事の企画から運営までをコイルに通所する児童生徒とフリースクールに通う児童生徒が一緒になって行い、人との関わり方について学ぶことができた。</p>																													
成果に係る評価	<p>通所型の適応指導教室とアウトリーチ型の子どもサポートハウスを統合し、「石巻市学びサポートセンター」を設置したことにより、それぞれの特徴を生かした不登校等児童生徒への支援を展開することができた。</p> <p>令和6年度は昨年度に比べ、通所児童生徒が増加したことにより、訪問支援が希望する学校に行き届かなかったことがあったが、多くの通所児童生徒を受け入れたことにより、不登校状態にある児童生徒や学習に不安を抱える児童生徒への学習機会の確保と社会的自立に向けた支援の場として提供することができた。</p>																													
予算の執行状況	（単位：円）																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																								
	30,534,800	29,077,572	5,400,000			23,677,572																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	校務支援システム導入事業											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち										
	3 目	教育指導奨励費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進										
	事業	校務支援システム整備事業費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 87											
目的及び事業内容		校務処理を効率化し、教職員の業務軽減と教育活動の充実を図るため、市内全小中学校に統合型校務支援システムを導入する。													
取組実績		<p>○導入スケジュール</p> <p>令和6年5月 受託者選定に係るプロポーザル公告</p> <p>7月 プレゼンテーション実施（受託候補者の選定）</p> <p>8月 校務支援システム構築業務契約締結</p> <p>9月 校務支援システム整備開始</p> <p>教職員との打ち合わせ（システム機能に反映）</p> <p>令和7年2月 教職員を対象とした操作研修会の実施</p> <p>4月～運用開始</p> <p>○校務支援システムに係る研修実施状況</p> <p>令和7年1月 管理職向け集合研修</p> <p>2月～システム操作者向け各校巡回研修</p>													
成果		<p>○校務支援システム導入率</p> <p>※第2期教育振興基本計画実施計画 活動指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	目標値	実績値	達成率	R6	100%	100%	100%
区分	目標値	実績値	達成率												
R6	100%	100%	100%												
成果に係る評価		令和6年度はプロポーザル方式による事業者選定と、システム構築に係る関係者との打合せ研修会実施を重ね、適切にシステムの導入を図ることができた。校務支援システムの導入は契機であり、年度替わり学籍処理や教職員の研修制度を充実させ、令和7年度以降の利活用を図っていく必要がある。													
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	88,047,398	86,708,398	26,081,000				60,627,398								

予算科目	10 款	教育費	事業名	震災奨学金給付事業																											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																										
	6 目	奨学資金基金費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																										
	事業	奨学資金基金費（東日本大震災関係分）		( 3 )	有能な人材を育成支援する																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 93																											
目的及び事業内容		東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。																													
取組実績		<p>1 対象者への給付</p> <p>4月と9月に月額金、2月に卒業一時金を給付した。</p> <p>(1) 対象者</p> <p>震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。</p> <p>(2) 給付額</p> <p>ア 月額（年額）</p> <p>小学校等に在学する者 10,000円（120,000円）</p> <p>中学校等に在学する者 20,000円（240,000円）</p> <p>高等学校等に在学する者 30,000円（360,000円）</p> <p>イ 一時金</p> <p>中学3年生 300,000円</p> <p>高校3年生 500,000円</p> <p>(3) 給付の期間</p> <p>対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																													
成果		<p>令和6年度は中学生2名、高校生1名の計3名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>2人</td> <td>480,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1人</td> <td>360,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3人</td> <td>840,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>中学生2名、高校生1名の計3名に一時金を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>2人</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1人</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3人</td> <td>1,100,000円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	人数	給付額	中学生	2人	480,000円	高校生	1人	360,000円	合計	3人	840,000円	区分	人数	給付額	中学生	2人	600,000円	高校生	1人	500,000円	合計	3人	1,100,000円
区分	人数	給付額																													
中学生	2人	480,000円																													
高校生	1人	360,000円																													
合計	3人	840,000円																													
区分	人数	給付額																													
中学生	2人	600,000円																													
高校生	1人	500,000円																													
合計	3人	1,100,000円																													
成果に係る評価		震災奨学金を給付することにより、震災孤児の修学を経済的に支援するとともに、安定した修学機会の提供に寄与することができた。今後も事業計画に基づき給付事業を継続する必要がある。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	1,940,000	1,940,000					1,940,000																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	遠距離通学支援事業（小学校）																																						
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																					
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																					
	事業	小学校管理費（教育総務課）		( 4 )	就学に係る支援を強化する																																					
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																																						
目的及び事業内容	<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> <li>・遠距離通学費補助金の交付</li> </ul>																																									
取組実績	<p>遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行  (1) 遠距離通学となる10校に対し、バス16台、タクシー6台（雄勝中と共用の4台含む）、ポート1台の運行を行った。  ※スクールバス等対象校（R6）  稲井小学校、飯野川小学校、二俣小学校、雄勝小学校、万石浦小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、北上小学校、鮎川小学校、大原小学校</p> <p>2 遠距離通学費補助金の交付  (1) 公共交通機関等を利用し通学している2校25人に対し、補助金を交付した。  ※遠距離通学費補助金対象校（R6）  大谷地小学校、二俣小学校</p>																																									
成果	<p>小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">スクールバス等</td> <td>R4</td> <td>11校</td> <td>383人</td> <td>120,771,028 円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>10校</td> <td>359人</td> <td>114,165,362 円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>10校</td> <td>342人</td> <td>118,460,428 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 遠距離通学費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">遠距離通学費補助金</td> <td>R4</td> <td>2校</td> <td>37人</td> <td>1,280,400 円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2校</td> <td>29人</td> <td>1,246,770 円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2校</td> <td>25人</td> <td>1,424,520 円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R4	11校	383人	120,771,028 円	R5	10校	359人	114,165,362 円	R6	10校	342人	118,460,428 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	R4	2校	37人	1,280,400 円	R5	2校	29人	1,246,770 円	R6	2校	25人	1,424,520 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																																						
スクールバス等	R4	11校	383人	120,771,028 円																																						
	R5	10校	359人	114,165,362 円																																						
	R6	10校	342人	118,460,428 円																																						
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																																						
遠距離通学費補助金	R4	2校	37人	1,280,400 円																																						
	R5	2校	29人	1,246,770 円																																						
	R6	2校	25人	1,424,520 円																																						
成果に係る評価	<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。</p>																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	121,862,000	119,884,948	7,040,000			112,844,948																																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	小学校外国語指導補助員活用事業																				
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																			
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																			
	事業	小学校管理費（学校教育課）		( 2 )	外国語教育を推進する																			
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 92																				
目的及び事業内容	<p>小学校に外国語指導補助員を配置することによって、3・4学年の外国語活動及び学習指導要領の改訂に伴って教科化された5・6年生の外国語科の学習の充実と教員の指導力向上を図る。</p>																							
取組実績	<p>1 児童の興味・関心の向上  (1) 外国語が堪能で異文化に対する理解も深い補助員と一緒に外国語の活動に取り組むことで、児童の外国語学習に対する興味・関心を高め、外国語によるコミュニケーションに対して積極的な態度を養うことができた。  (2) 担任と補助員が外国語を使う自然な場面設定を行い、デモンストレーションを行うことで、児童は英語を使う具体的なイメージをもって活動に取り組むことができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上  学級担任と補助員の協働による授業は、実際の場面で使われる生きた英語を聞くことや話す機会を増やし、児童のコミュニケーション能力を向上させる上で効果的であった。</p> <p>3 担任の指導力の向上  補助員と学級担任が授業の構想や進め方について意見交換をすることで、お互いのアイデアをよりよいものにすることができ、学級担任の指導力の向上を図ることができた。</p>																							
成果	<p>18校に10名の外国語指導補助員を配置した。希望があったが配置できなかった学校が2校あった。外国語及び外国語活動の授業においては、各補助員が自らの高い英語力を生かし、担任と連携しながら、創意工夫ある授業づくりに努めた。また、教師と良い関係を築くとともに、自分から積極的に授業のアイデアを提供し、児童のコミュニケーションへの意欲を高めることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置校数</td> <td>28校</td> <td>25校</td> <td>23校</td> <td>22校</td> <td>18校</td> </tr> <tr> <td>配置した補助員数</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	R2	R3	R4	R5	R6	配置校数	28校	25校	23校	22校	18校	配置した補助員数	12名	12名	12名	12名	10名
年 度	R2	R3	R4	R5	R6																			
配置校数	28校	25校	23校	22校	18校																			
配置した補助員数	12名	12名	12名	12名	10名																			
成果に係る評価	<p>授業では、外国語及び外国語活動について、児童が良く理解できるよう分かりやすい授業を行うことができた。また、課題としては、小学校外国語専科教員の増加、デジタル教科書やタブレット教材の充実により、補助員の必要性が薄れてきていた。  令和6年度限りの事業ではあったが、年2回の研修会の中で、英語教育における最先端の情報や先進的な取組を積極的に紹介したり、補助員同士で悩みや実践例を共有し合う情報交換の場を設定したりした。</p>																							
予算の執行状況	（単位：円）																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	6,542,000	5,705,226				5,705,226																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設保全事業														
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	1 目	学校管理費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進													
	事業	小学校施設維持整備費		( 2 )	安全安心な学校施設整備を推進する													
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 89														
目的及び事業内容	学校施設を健全に保つ上で、修繕レベルでは対応不可となったもの（雨漏り、屋根材の落下等）について早急に工事を実施する。																	
取組実績	<p>1 小学校施設維持整備事業費（桃生小学校防水改修事業） 令和6年度は、設計および改修工事を実施した。</p> <p>(1) 全体事業 ア 令和6年度 改修設計、防水改修工事</p> <p>(2) 科目別予算額・事業費内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R6予算額</th> <th>R6事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>2,200,000 円</td> <td>1,867,800 円</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>45,000,000 円</td> <td>44,969,100 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>47,200,000 円</td> <td>46,836,900 円</td> </tr> </tbody> </table>						内訳	R6予算額	R6事業費	委託料	2,200,000 円	1,867,800 円	工事	45,000,000 円	44,969,100 円	計	47,200,000 円	46,836,900 円
内訳	R6予算額	R6事業費																
委託料	2,200,000 円	1,867,800 円																
工事	45,000,000 円	44,969,100 円																
計	47,200,000 円	46,836,900 円																
成果	桃生小学校校舎について、防水改修工事が完了したことにより、児童が安全・安心かつ良好な学習環境の整備が図られた。																	
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、限られた財源の中で優先順位を定めながら、児童生徒の安全・安心の確保及び教育環境の向上のために、計画的に施設整備を図っていく必要がある。																	
予算の執行状況	(単位：円)																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	47,200,000	46,836,900		46,800,000		36,900												

予算科目	10 款	教育費	事業名	教材備品整備事業（小学校）												
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち											
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進											
	事業	小学校一般教材費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する											
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87												
目的及び事業内容	<p>文部科学省策定の「教材整備指針」に基づき、本市で策定した「石巻市小・中学校教材整備方針」の整備目標達成と教材の整備充実を図るため、新規教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を行う。</p> <p>良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法について対応した教材の購入や老朽化した教材の計画的な更新を進める。</p>															
取組実績	<p>学校要望の教材を学校で付した優先順位の高いものから購入した。また、年度末には翌年度新設の特別支援学級用備品などにも対応した。</p> <p>購入に際しては見積合わせ等を行い、予算を有効活用した。また、理科教材については、理科教育設備整備費等補助金（1/2）制度を活用した。</p> <p>&lt;小学校の教材整備数（備品購入費分のみ）&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>539個</td> <td>584個</td> <td>666個</td> <td>453個</td> <td>401個</td> </tr> </tbody> </table>						R2	R3	R4	R5	R6	539個	584個	666個	453個	401個
R2	R3	R4	R5	R6												
539個	584個	666個	453個	401個												
成果	<p>学校が要望する学習指導要領に対応した教材備品を年間を通して整備をしたことで、学習環境が整えられた。</p> <p>教材を用いた授業により、関心・意欲や知識・理解の質が高められ、学習活動が充実した。</p> <p>&lt;小学校の教材充足率&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.6%</td> <td>83.9%</td> <td>84.0%</td> <td>87.5%</td> <td>89.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※学校整備目標に対する充足率（消耗品を含む。）</p> <p>◎教材整備指針、教材整備方針について 文部科学省で定めた教材毎の整備数の目安を示した「教材整備指針」を参考に「石巻市小・中学校教材整備方針」を策定、各学校ごと教科ごと教材整備目標数を設定、教材整備を進めている。</p>						R2	R3	R4	R5	R6	87.6%	83.9%	84.0%	87.5%	89.2%
R2	R3	R4	R5	R6												
87.6%	83.9%	84.0%	87.5%	89.2%												
成果に係る評価	新しい教材の購入に加え、老朽化や破損した教材の更新を図ったが、物価高騰の影響で購入数は伸び悩んだものの、充足率は順調に推移した。 教材の充実により、授業の関心や理解が得られ、活発な学習活動が行えるため、今後も学習指導要領に対応した教材の整備を進めていきたい。															
予算の執行状況	(単位：円)															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	16,000,000	15,911,947	2,218,000		152,554	13,541,393										

予算科目	10 款	教育費	事業名	情報教育環境整備事業（小学校）																						
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																					
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																					
	事業	小学校教育用コンピューター関係費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する																					
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																						
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備するため、文部科学省が推奨する「教育の ICT 化に向けた環境整備5か年計画」及び「G I G A スクール構想」に基づき、機器の整備等を行う。																									
取組実績	<p>小学校教育用コンピューター及び周辺機器の整備として以下を実施した。</p> <p>1 大型提示装置の整備 全普通教室へ大型提示装置の整備を継続している。</p> <table border="1"> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>小学校9校</td> <td>電子黒板 77台</td> </tr> </table> <p>2 一人一台端末の整備 一人一台端末は、令和2年度に全校への整備が完了している。</p> <table border="1"> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>小学校33校</td> <td>タブレット端末 6,312台</td> </tr> </table>						実施年度	整備対象校	整備台数	R 6	小学校9校	電子黒板 77台	実施年度	整備対象校	整備台数	R 2	小学校33校	タブレット端末 6,312台								
実施年度	整備対象校	整備台数																								
R 6	小学校9校	電子黒板 77台																								
実施年度	整備対象校	整備台数																								
R 2	小学校33校	タブレット端末 6,312台																								
成果	<p>大型提示装置の小学校全普通教室への整備は令和元年度から実施している。 令和6年度までに延べ33校に整備した。</p> <p>大型提示装置の全普通教室への整備に係る達成率（整備済み学校数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>整備年度</th> <th>整備済学校数（累計）</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">小学校全33校 （統廃合含む）</td> <td>R2</td> <td>該当校なし</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>小学校10校</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>小学校18校</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>小学校24校</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>小学校33校</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>						対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率	小学校全33校 （統廃合含む）	R2	該当校なし	6%	R3	小学校10校	30%	R4	小学校18校	55%	R5	小学校24校	73%	R6	小学校33校	100%
対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率																							
小学校全33校 （統廃合含む）	R2	該当校なし	6%																							
	R3	小学校10校	30%																							
	R4	小学校18校	55%																							
	R5	小学校24校	73%																							
	R6	小学校33校	100%																							
成果に係る評価	<p>大型提示装置の全普通教室への整備を達成できた。 大型提示装置は、装置自身がインターネットに接続し様々なコンテンツを提示できるほか、一人一台端末を接続して組み込んでいるアプリの画面を提示することもでき、教材の表現に「動く」「双方向」「ライブ」が加わり授業の質を大幅に向上できる。 表現力向上によって本市の学力向上に資するため大型提示装置の整備については積極的に継続していく必要がある。 今後は、現在の水準を維持しつつ機器更新することとし、更新時には新技術の導入や社会情勢の変化に対応した機材の採用を進めていく。</p>																									
予算の執行状況	（単位：円）																									
予算額	203,837,000	決算額	決算額の財源内訳																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
		200,740,198		100,000,000	100,740,198																					

予算科目	10 款	教育費	事業名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																																																														
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																													
	2 目	教育振興費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																																													
	事業	小学校教育振興援助費		( 4 )	就学に係る支援を強化する																																																													
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																																																														
目的及び事業内容	<p>経済的な理由により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して、必要な援助を行うことにより経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>																																																																	
取組実績	<p>1 就学援助費 認定者数 904名 / 児童数 5,718名 (15.81%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>10,585,355 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>2,507,590 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>470,538 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>11,010 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>1,141,200 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>4,165,380 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>3,299,685 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>39,489,323 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>476,160 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>62,146,241 円</td></tr> </table> <p>【参考】被災児童就学援助費 認定者数 678名 (11.86%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>9,136,355 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>2,215,768 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>442,561 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>1,540,620 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>1,940,040 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>3,351,378 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>34,308,148 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>52,934,870 円</td></tr> </table> <p>2 特別支援教育就学奨励費 認定者数 247名 / 児童数 5,718名 (4.32%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>501,490 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>61,117 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>17,157 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>474,907 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>306,660 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>148,217 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>2,193,334 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>30,264 円</td></tr> <tr><td>通級指導教室通学費</td><td>200,929 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,934,075 円</td></tr> </table>						学用品費	10,585,355 円	校外活動費(宿泊なし)	2,507,590 円	校外活動費(宿泊あり)	470,538 円	通学費	11,010 円	新入学学用品費	1,141,200 円	新入学準備金	4,165,380 円	修学旅行費	3,299,685 円	給食費	39,489,323 円	医療費	476,160 円	計	62,146,241 円	学用品費	9,136,355 円	校外活動費(宿泊なし)	2,215,768 円	校外活動費(宿泊あり)	442,561 円	通学費	0 円	新入学学用品費	1,540,620 円	新入学準備金	1,940,040 円	修学旅行費	3,351,378 円	給食費	34,308,148 円	医療費	0 円	計	52,934,870 円	学用品費	501,490 円	校外活動費(宿泊なし)	61,117 円	校外活動費(宿泊あり)	17,157 円	通学費	474,907 円	新入学学用品費	306,660 円	修学旅行費	148,217 円	給食費	2,193,334 円	交流学習交通費	30,264 円	通級指導教室通学費	200,929 円	計	3,934,075 円
学用品費	10,585,355 円																																																																	
校外活動費(宿泊なし)	2,507,590 円																																																																	
校外活動費(宿泊あり)	470,538 円																																																																	
通学費	11,010 円																																																																	
新入学学用品費	1,141,200 円																																																																	
新入学準備金	4,165,380 円																																																																	
修学旅行費	3,299,685 円																																																																	
給食費	39,489,323 円																																																																	
医療費	476,160 円																																																																	
計	62,146,241 円																																																																	
学用品費	9,136,355 円																																																																	
校外活動費(宿泊なし)	2,215,768 円																																																																	
校外活動費(宿泊あり)	442,561 円																																																																	
通学費	0 円																																																																	
新入学学用品費	1,540,620 円																																																																	
新入学準備金	1,940,040 円																																																																	
修学旅行費	3,351,378 円																																																																	
給食費	34,308,148 円																																																																	
医療費	0 円																																																																	
計	52,934,870 円																																																																	
学用品費	501,490 円																																																																	
校外活動費(宿泊なし)	61,117 円																																																																	
校外活動費(宿泊あり)	17,157 円																																																																	
通学費	474,907 円																																																																	
新入学学用品費	306,660 円																																																																	
修学旅行費	148,217 円																																																																	
給食費	2,193,334 円																																																																	
交流学習交通費	30,264 円																																																																	
通級指導教室通学費	200,929 円																																																																	
計	3,934,075 円																																																																	
成果	<p>経済的な理由により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 また、新入学準備金については、73名の児童の保護者に助成を行うとともに、入学前に支給することにより、経済的不安の解消が図られた。</p> <p>【参考】被災児童就学援助費 新入学準備金支給者数 34名</p>																																																																	
成果に係る評価	<p>経済的な理由により就学が困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての児童の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。</p>																																																																	
予算の執行状況	（単位：円）																																																																	
予算額	75,504,000	決算額	決算額の財源内訳																																																															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
		66,080,316	2,170,206		63,910,110																																																													

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書整備事業（小学校）〔復興基金〕																																													
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																												
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																												
	事業	小学校図書整備事業費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する																																												
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																																													
目的及び事業内容	<p>文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定、平成5年に定めた「学校図書館図書標準」の達成のための新たな図書の購入と古い図書の計画的な更新を行い、学校図書館の整備充実を図ることとしている。</p> <p>学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るため、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																
取組実績	<p>令和6年度予算としては、各小学校へ蔵書を更新するための予算を配当した。</p> <p>令和6年度においては、前年度と比較して大口の寄贈もあり整備冊数が増え、児童の読書活動や学びに役立つ様々な図書を購入することができた。</p> <p>＜小学校図書の整備冊数＞</p> <table border="1"> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>18,436冊</td> <td>16,924冊</td> <td>14,910冊</td> <td>16,073冊</td> <td>22,569冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>							R2	R3	R4	R5	R6	18,436冊	16,924冊	14,910冊	16,073冊	22,569冊																																
R2	R3	R4	R5	R6																																													
18,436冊	16,924冊	14,910冊	16,073冊	22,569冊																																													
成果	<p>学校図書館図書標準に対する充足率を維持できた。学校図書の整備充実に努めたことにより、児童の成長段階に応じた図書を整備することで、図書に親しむことができ、読書活動や学習活動に積極的に活用され、読む力、考える力が養われた。</p> <p>＜小学校図書充足率達成状況＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>充足率</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>30校</td> <td>33校</td> <td>32校</td> <td>32校</td> <td>32校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>3校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計（B）</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>32校</td> <td>32校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>90.91%</td> <td>100%</td> <td>96.97%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度末時点</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について</p> <p>平成5年に文部科学省で定めた学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>							充足率	R2	R3	R4	R5	R6	100%以上（A）	30校	33校	32校	32校	32校	75%以上-100%未満	3校	0校	1校	0校	0校	50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計（B）	33校	33校	33校	32校	32校	100%以上達成校の割合（A/B）	90.91%	100%	96.97%	100%	100%
充足率	R2	R3	R4	R5	R6																																												
100%以上（A）	30校	33校	32校	32校	32校																																												
75%以上-100%未満	3校	0校	1校	0校	0校																																												
50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																												
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																												
合計（B）	33校	33校	33校	32校	32校																																												
100%以上達成校の割合（A/B）	90.91%	100%	96.97%	100%	100%																																												
成果に係る評価	<p>令和6年度はすべての学校が充足率100%となった。</p> <p>令和6年度は大口の図書の寄贈があり廃棄を行う学校は増えたが、まだまだ古い蔵書の割合が高く、老朽化した図書や古い内容の図書について継続的・計画的に更新を図る必要があることから、児童が自ら学び、考え、知識が広がるよう今後も学校図書の一層の充実を図っていきたい。</p>																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	22,000,000	21,954,159			21,954,159																																												

予算科目	10 款	教育費	事業名	電子図書整備事業											
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち										
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進										
	事業	小学校図書整備事業費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する										
担当部課	教育委員会学校管理課 教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 88											
目的及び事業内容	<p>市内全小学生に配布されているタブレット端末を活用し、児童が自主的に、いつでも、どこでも、気軽に本を読むことができる電子図書館サービスを導入する。</p>														
取組実績	<p>1 「Yomokka!」利用開始</p> <p>各小学校において、「Yomokka!」を利用できるよう初期設定を行い、児童一人一人のタブレットで「Yomokka!」を使って読書できるようになった。</p> <p>2 「Yomokka!」活用のための研修会（年2回実施）</p> <p>図書館担当教諭並びに図書司書を対象に、オンラインで研修会を実施した。第1回研修会では、ポプラ社から「Yomokka!」の具体的な活用方法や、管理・運用について説明を受けた。</p> <p>第2回研修会では、試験運用で先行導入していた開北小学校と釜小学校の図書担当教諭が、授業や授業以外での「Yomokka!」活用事例について発表を行った。また、ポプラ社からは全国の小学校の活用事例の紹介を受けた。</p> <p>質疑応答では、事前に受け付けていた質問に対し、担当やポプラ社から回答した。</p>														
成果	<p>【導入実績】</p> <p>児童一人当たりの「Yomokka!」の利用</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>読んだ冊数</td> <td>11.6冊</td> </tr> <tr> <td>読み終えた冊数</td> <td>5.0冊</td> </tr> <tr> <td>読んだ時間</td> <td>79分17秒</td> </tr> </table> <p>令和6年度からの導入のため、実績については令和6年度のみ記載した。タブレットを開けば、「いつでも」「どこでも」「好きなだけ」読むことができるため、児童は授業だけでなく、朝読書の時間や、休み時間、家庭で過ごす時間など、様々な時間に読書する機会を得ることができた。</p> <p>また、「Yomokka!」では幅広いジャンルの図書が配架されており、児童はいろいろな本に触れることができた。</p>								R6	読んだ冊数	11.6冊	読み終えた冊数	5.0冊	読んだ時間	79分17秒
	R6														
読んだ冊数	11.6冊														
読み終えた冊数	5.0冊														
読んだ時間	79分17秒														
成果に係る評価	<p>時間や場所を選ばない「Yomokka!」の導入によって、児童期から本を読むことの楽しさを知り、生涯にわたって本に親しめる機会を得られた。また、授業において全員で同じ図書を読むことができることもあり、授業で関連する図書をクラス全体で確認したり、調べ学習で図鑑代わりに「Yomokka!」を利用したりする姿が見られ、児童にとって図書がより身近になった。</p> <p>今後も研修会等を実施し、「Yomokka!」の様々な活用方法や、紙の図書と電子図書の効果的な活用方法等について、情報共有をしていく必要がある。</p>														
予算の執行状況	（単位：円）														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
	11,790,000	11,740,872			10,000,000	1,740,872									

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設改築事業（小学校）																																																																	
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																																
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																																																
	事業	須江小学校屋内運動場改築事業費、前谷地小学校屋内運動場改築事業費		( 2 )	安全安心な学校施設整備を推進する																																																																
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 89																																																																	
目的及び事業内容	<p>須江小学校屋内運動場は、昭和48年度に建設され建築後50年以上が経過しており、老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため、屋内運動場の改築工事を実施することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p> <p>前谷地小学校屋内運動場は、昭和45年度に建設され、度重なる地震による地盤沈下が原因で床に歪みが出る等、施設の構造耐力が著しく低下している状況と、建設後の経過年数から、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、改築の計画を行う。</p>																																																																				
取組実績	<p>1 須江小学校屋内運動場改築事業費 令和6年度は、改築工事を実施した。</p> <p>(1) 全体事業</p> <p>ア 令和3年度 測量業務、基本計画</p> <p>イ 令和4年度 地質調査、実施設計</p> <p>ウ 令和5年度から令和6年度 改築工事</p> <p>(2) 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R6予算額</th> <th colspan="2">R6事業費</th> <th colspan="2">R7繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>33,000</td> <td>0</td> <td>33,000</td> <td>33,000</td> <td>0</td> <td>33,000</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>5,394,000</td> <td>2,000,000</td> <td>3,394,000</td> <td>4,840,242</td> <td>1,446,739</td> <td>3,393,503</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>603,760,000</td> <td>126,885,000</td> <td>476,875,000</td> <td>578,650,699</td> <td>102,251,794</td> <td>476,398,905</td> </tr> <tr> <td>借上料</td> <td>2,902,000</td> <td>0</td> <td>2,902,000</td> <td>2,651,770</td> <td>0</td> <td>2,651,770</td> </tr> <tr> <td>備品購入</td> <td>8,500,000</td> <td>0</td> <td>8,500,000</td> <td>8,289,792</td> <td>0</td> <td>8,289,792</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>620,639,000</td> <td>128,885,000</td> <td>491,754,000</td> <td>594,515,503</td> <td>103,698,533</td> <td>490,816,970</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R6予算額		R6事業費		R7繰越		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000	手数料	33,000	0	33,000	33,000	0	33,000	監理	5,394,000	2,000,000	3,394,000	4,840,242	1,446,739	3,393,503	工事	603,760,000	126,885,000	476,875,000	578,650,699	102,251,794	476,398,905	借上料	2,902,000	0	2,902,000	2,651,770	0	2,651,770	備品購入	8,500,000	0	8,500,000	8,289,792	0	8,289,792	計	620,639,000	128,885,000	491,754,000	594,515,503	103,698,533	490,816,970
	内訳	R6予算額		R6事業費		R7繰越																																																															
		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																														
	消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000																																																														
手数料	33,000	0	33,000	33,000	0	33,000																																																															
監理	5,394,000	2,000,000	3,394,000	4,840,242	1,446,739	3,393,503																																																															
工事	603,760,000	126,885,000	476,875,000	578,650,699	102,251,794	476,398,905																																																															
借上料	2,902,000	0	2,902,000	2,651,770	0	2,651,770																																																															
備品購入	8,500,000	0	8,500,000	8,289,792	0	8,289,792																																																															
計	620,639,000	128,885,000	491,754,000	594,515,503	103,698,533	490,816,970																																																															
<p>2 前谷地小学校屋内運動場改築事業費 令和6年度は、地質調査、設計業務を実施した。</p> <p>(1) 全体事業</p> <p>ア 令和5年度 耐力度調査、測量業務</p> <p>イ 令和6年度 地質調査、設計業務</p> <p>ウ 令和7年度から令和8年度 改築工事</p> <p>(2) 科目別予算額・事業費内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R6予算額</th> <th>R6事業費</th> <th>R7繰越</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>30,000 円</td> <td>30,000 円</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>36,007,000 円</td> <td>16,775,900 円</td> <td>19,230,400 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36,037,000 円</td> <td>16,805,900 円</td> <td>19,230,400 円</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R6予算額	R6事業費	R7繰越	消耗品費	30,000 円	30,000 円	0 円	委託料	36,007,000 円	16,775,900 円	19,230,400 円	計	36,037,000 円	16,805,900 円	19,230,400 円																																															
内訳	R6予算額	R6事業費	R7繰越																																																																		
消耗品費	30,000 円	30,000 円	0 円																																																																		
委託料	36,007,000 円	16,775,900 円	19,230,400 円																																																																		
計	36,037,000 円	16,805,900 円	19,230,400 円																																																																		
成果	<p>須江小学校については、屋内運動場の改築工事が完了したことにより、児童が安全・安心かつ良好な学習環境の整備が図られた。</p> <p>前谷地小学校については、地質調査および設計業務を実施したことにより、屋内運動場改築工事へ向けた準備が図られた。</p>																																																																				
成果に係る評価	<p>市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、限られた財源の中で優先順位を定めながら、児童生徒の安全・安心の確保及び教育環境の向上のために、計画的に施設整備を図っていく必要がある。</p>																																																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																																																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																															
637,445,600	611,321,403	105,514,000	469,800,000	26,000,000	10,007,403																																																																

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設プール改築事業																					
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																				
	事業	須江小学校水泳プール改築事業費		( 2 )	安全安心な学校施設整備を推進する																				
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 89																					
目的及び事業内容	<p>須江小学校水泳プールは、昭和53年度に建設され、給排水設備を含む施設の老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため、水泳プール施設全体の改築工事を実施することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。</p>																								
取組実績	<p>1 須江小学校水泳プール改築事業費 令和6年度は、改築工事を実施した。</p> <p>(1) 全体事業</p> <p>ア 令和4年度 地質調査、実施設計</p> <p>イ 令和5年度から令和6年度 改築工事</p> <p>(2) 科目別予算額・事業費内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R6予算額</th> <th>R6事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000 円</td> <td>50,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,697,000 円</td> <td>1,696,497 円</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>170,116,000 円</td> <td>169,614,056 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入</td> <td>800,000 円</td> <td>770,770 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>172,663,000 円</td> <td>172,131,323 円</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R6予算額	R6事業費	消耗品費	50,000 円	50,000 円	委託料	1,697,000 円	1,696,497 円	工事	170,116,000 円	169,614,056 円	備品購入	800,000 円	770,770 円	計	172,663,000 円	172,131,323 円
	内訳	R6予算額	R6事業費																						
	消耗品費	50,000 円	50,000 円																						
	委託料	1,697,000 円	1,696,497 円																						
工事	170,116,000 円	169,614,056 円																							
備品購入	800,000 円	770,770 円																							
計	172,663,000 円	172,131,323 円																							
成果	<p>老朽化が著しく進行している須江小学校水泳プールについて、改築工事が完了したことにより、児童が安全・安心かつ良好な学習環境の整備が図られた。</p>																								
成果に係る評価	<p>市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、計画的な施設整備を図っていくとともに、学校水泳プールの整備については、学校統廃合等の動向を勘案しながら、施設更新の必要性や整備の手法について総合的に検討していく必要がある。</p>																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
172,663,000	172,131,323	21,612,000	142,200,000		8,319,323																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	遠距離通学支援事業（中学校）																					
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	中学校管理費（教育総務課）		( 4 )	就学に係る支援を強化する																				
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																					
目的及び事業内容	<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> </ul>																								
取組実績	<p>遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行  (1)遠距離通学となる5校に対し、バス3台、タクシー3台（雄勝小と共用分の4台は含まない）の運行を行った。  ※スクールバス等対象校（R6）  万石浦中学校、河北中学校、雄勝中学校、北上中学校、牡鹿中学校</p>																								
成果	<p>中学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">スクールバス等</td> <td>R4</td> <td>6校</td> <td>57人</td> <td>61,525,124 円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>5校</td> <td>56人</td> <td>61,242,334 円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>5校</td> <td>56人</td> <td>62,113,148 円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R4	6校	57人	61,525,124 円	R5	5校	56人	61,242,334 円	R6	5校	56人	62,113,148 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																					
スクールバス等	R4	6校	57人	61,525,124 円																					
	R5	5校	56人	61,242,334 円																					
	R6	5校	56人	62,113,148 円																					
成果に係る評価	<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。</p>																								
予算の執行状況	（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	64,923,000	62,113,148	3,090,000			59,023,148																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	中学校における部活動指導員の配置支援事業																																											
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																										
	1 目	学校管理費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																										
	事業	部活動指導員配置支援事業費		( 1 )	地域で支える教育活動を支援する																																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 97																																											
目的及び事業内容	<p>主に休日の部活動を顧問教員と実施することにより、教員の負担軽減を図るとともに、生徒のニーズを踏まえた充実した部活動を実施する。</p> <p>将来的には、指導員単独で、休日だけでなく、平日の部活動指導や各種大会引率を行えるようにする。</p>																																														
取組実績	<p>○部活動指導員の配置  部活動指導員配置人数 12部（運動部8部、文化部4部）  配置校数 9校</p> <p>【内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>運動部：蛇田中学校</td> <td>ソフトボール部</td> <td>湊中学校</td> <td>卓球部</td> </tr> <tr> <td>蛇田中学校</td> <td>陸上部</td> <td>河北中学校</td> <td>ソフトテニス部</td> </tr> <tr> <td>渡波中学校</td> <td>卓球部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>青葉中学校</td> <td>サッカー部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>河南東中学校</td> <td>サッカー部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牡鹿中学校</td> <td>剣道部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文化部：蛇田中学校</td> <td>吹奏楽部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>桃生中学校</td> <td>吹奏楽部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>河南東中学校</td> <td>吹奏楽部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>住吉中学校</td> <td>吹奏楽部</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○部活動指導員の役割  ・休日の部活動指導を行う。  ・生徒のニーズを踏まえた充実した活動を行い、教員の負担軽減を図る。  ・できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。</p>							運動部：蛇田中学校	ソフトボール部	湊中学校	卓球部	蛇田中学校	陸上部	河北中学校	ソフトテニス部	渡波中学校	卓球部			青葉中学校	サッカー部			河南東中学校	サッカー部			牡鹿中学校	剣道部			文化部：蛇田中学校	吹奏楽部			桃生中学校	吹奏楽部			河南東中学校	吹奏楽部			住吉中学校	吹奏楽部		
運動部：蛇田中学校	ソフトボール部	湊中学校	卓球部																																												
蛇田中学校	陸上部	河北中学校	ソフトテニス部																																												
渡波中学校	卓球部																																														
青葉中学校	サッカー部																																														
河南東中学校	サッカー部																																														
牡鹿中学校	剣道部																																														
文化部：蛇田中学校	吹奏楽部																																														
桃生中学校	吹奏楽部																																														
河南東中学校	吹奏楽部																																														
住吉中学校	吹奏楽部																																														
成果	<p>○部活動指導員の配置  ※第2期教育振興基本計画実施計画 活動指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値(人)</th> <th>実績値(人)</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○部活動指導員より指導を受けて技術が向上したと感じた生徒の割合  ※第2期教育振興基本計画実施計画 成果指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>80.0%</td> <td>92.8%</td> <td>116.0%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>90.0%</td> <td>97.8%</td> <td>108.6%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	目標値(人)	実績値(人)	達成率	R5	8	8	100.0%	R6	12	12	100.0%	区分	成果指標		達成率	目標値	実績値	R5	80.0%	92.8%	116.0%	R6	90.0%	97.8%	108.6%														
区分	目標値(人)	実績値(人)	達成率																																												
R5	8	8	100.0%																																												
R6	12	12	100.0%																																												
区分	成果指標		達成率																																												
	目標値	実績値																																													
R5	80.0%	92.8%	116.0%																																												
R6	90.0%	97.8%	108.6%																																												
成果に係る評価	<p>国庫の補助事業を活用しながら、部活動指導員の配置について目標を達成することができた。技術の向上については、部活動指導員の指導年数の経過とともに、生徒への適切な指導が図られていると推察される。</p> <p>宮城県が示す『学校部活動と地域のクラブ活動等のガイドライン』に留意しながら、部活動の地域移行に対する方針の決定、部活動の地域移行の受け皿となる団体の創設・確保が必要となる。</p> <p>今後も引き続き補助金を活用しながら部活動指導員の配置拡大を進めていきたい。</p>																																														
予算の執行状況	（単位：円）																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	1,935,000	1,433,786	742,000			691,786																																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	教材備品整備事業（中学校）												
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち											
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進											
	事業	中学校一般教材費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する											
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87												
目的及び事業内容	<p>文部科学省策定の「教材整備指針」に基づき、本市で策定した「石巻市小・中学校教材整備方針」の整備目標達成と教材の整備充実を図るため、新規教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を行う。</p> <p>良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法について対応した教材の購入や老朽化した教材の計画的な更新を進める。</p>															
取組実績	<p>学校要望の教材について、学校で付した優先順位を参考に購入した。また、破損等の急な買い替えなども対応した。</p> <p>購入に際しては見積合わせ等を行い、予算を有効活用した。また、理科教材については、理科教育設備整備費等補助金（1/2）制度を活用した。</p> <p>&lt;中学校の教材整備数（備品購入費のみ）&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>339個</td> <td>557個</td> <td>495個</td> <td>392個</td> <td>344個</td> </tr> </tbody> </table>						R2	R3	R4	R5	R6	339個	557個	495個	392個	344個
R2	R3	R4	R5	R6												
339個	557個	495個	392個	344個												
成果	<p>学校が要望する、学習指導要領に対応した教材備品を年間を通して整備をしたことで、学習環境が整えられた。</p> <p>教材が充実することで、授業の理解が進み、学びが深まり、活発な学習活動が行えた。</p> <p>&lt;中学校の教材充足率&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50.9%</td> <td>49.0%</td> <td>49.9%</td> <td>52.0%</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※学校整備目標に対する充足率（消耗品を含む。）</p> <p>◎教材整備指針、教材整備方針について 文部科学省で定めた教材毎の整備数の目安を示した「教材整備指針」を参考に「石巻市小・中学校教材整備方針」を策定、各学校ごと教科ごと教材整備目標数を設定、教材整備を進めている。</p>						R2	R3	R4	R5	R6	50.9%	49.0%	49.9%	52.0%	60.0%
R2	R3	R4	R5	R6												
50.9%	49.0%	49.9%	52.0%	60.0%												
成果に係る評価	<p>新しい教材の購入に加え、老朽化や破損した教材の更新を図ったが、物価高騰の影響で購入数は伸び悩んだものの、充足率は順調に推移した。</p> <p>教材の充実により、授業の関心や理解が得られ、活発な学習活動が行えるため、今後も学習指導要領に対応した教材の整備を進めていきたい。</p>															
予算の執行状況	（単位：円）															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	17,000,000	16,999,948	3,765,000		90,000	13,144,948										

予算科目	10 款	教育費	事業名	情報教育環境整備事業（中学校）																						
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																					
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																					
	事業	中学校教育用コンピュータ関係費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する																					
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																						
目的及び事業内容	<p>国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備するため、文部科学省が推奨する「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」及び「GIGAスクール構想」に基づき、機器の整備等を行う。</p>																									
取組実績	<p>中学校教育用コンピュータ及び周辺機器の整備として以下を実施した。</p> <p>1 大型提示装置の整備 全普通教室へ大型提示装置の整備を継続している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>中学校3校</td> <td>電子黒板29台</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 一人一台端末の整備 一人一台端末は、令和2年度に全校への整備が完了している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>中学校19校</td> <td>タブレット端末 3,325台</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	整備対象校	整備台数	R6	中学校3校	電子黒板29台	実施年度	整備対象校	整備台数	R2	中学校19校	タブレット端末 3,325台								
実施年度	整備対象校	整備台数																								
R6	中学校3校	電子黒板29台																								
実施年度	整備対象校	整備台数																								
R2	中学校19校	タブレット端末 3,325台																								
成果	<p>大型提示装置の中学校全普通教室への整備は平成30年度から実施している。</p> <p>令和6年度までに延べ18校に整備した。</p> <p>大型提示装置の全普通教室への整備に係る達成率（整備済み学校数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>整備年度</th> <th>整備済学校数（累計）</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">中学校全18校 （統廃合含む）</td> <td>R2</td> <td>該当校なし</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>中学校12校</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>該当校なし</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>中学校15校</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>中学校18校</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>						対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率	中学校全18校 （統廃合含む）	R2	該当校なし	55%	R3	中学校12校	63%	R4	該当校なし	63%	R5	中学校15校	78%	R6	中学校18校	100%
対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率																							
中学校全18校 （統廃合含む）	R2	該当校なし	55%																							
	R3	中学校12校	63%																							
	R4	該当校なし	63%																							
	R5	中学校15校	78%																							
	R6	中学校18校	100%																							
成果に係る評価	<p>大型提示装置の全普通教室への整備を達成できた。</p> <p>大型提示装置は、装置自身がインターネットに接続し様々なコンテンツを提示できるほか、一人一台端末を接続して組み込んでいるアプリの画面を提示することもでき、教材の表現に「動く」「双方向」「ライブ」が加わり授業の質を大幅に向上できる。</p> <p>表現力向上によって本市の学力向上に資するため大型提示装置の整備については積極的に継続していく必要がある。</p> <p>今後は、現在の水準を維持しつつ機器更新することとし、更新時には新技術の導入や社会情勢の変化に対応した機材の採用を進めていく。</p>																									
予算の執行状況	（単位：円）																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	90,393,000	88,297,250			40,000,000	48,297,250																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																																										
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																									
	2 目	教育振興費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																									
	事業	中学校教育振興援助費		( 4 )	就学に係る支援を強化する																																									
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																																										
目的及び事業内容		<p>経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことにより経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>																																												
取組実績	1	就学援助費 認定者数 549名 / 生徒数 3,010名 (18.24%)	【参考】被災生徒就学援助費 認定者数 400名 (13.29%)																																											
	<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>11,801,900 円</td><td>学用品費</td><td>9,694,320 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>362,067 円</td><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>320,327 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>377,900 円</td><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>313,763 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>2,520,000 円</td><td>新入学学用品費</td><td>1,764,000 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>7,938,000 円</td><td>新入学準備金</td><td>6,993,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>10,887,338 円</td><td>修学旅行費</td><td>9,053,160 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>28,415,100 円</td><td>給食費</td><td>23,658,963 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>139,100 円</td><td>医療費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>62,441,405 円</td><td>計</td><td>51,797,533 円</td></tr> </table>		学用品費	11,801,900 円	学用品費	9,694,320 円	校外活動費(宿泊なし)	362,067 円	校外活動費(宿泊なし)	320,327 円	校外活動費(宿泊あり)	377,900 円	校外活動費(宿泊あり)	313,763 円	通学費	0 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,520,000 円	新入学学用品費	1,764,000 円	新入学準備金	7,938,000 円	新入学準備金	6,993,000 円	修学旅行費	10,887,338 円	修学旅行費	9,053,160 円	給食費	28,415,100 円	給食費	23,658,963 円	医療費	139,100 円	医療費	0 円	計	62,441,405 円	計	51,797,533 円				
学用品費	11,801,900 円	学用品費	9,694,320 円																																											
校外活動費(宿泊なし)	362,067 円	校外活動費(宿泊なし)	320,327 円																																											
校外活動費(宿泊あり)	377,900 円	校外活動費(宿泊あり)	313,763 円																																											
通学費	0 円	通学費	0 円																																											
新入学学用品費	2,520,000 円	新入学学用品費	1,764,000 円																																											
新入学準備金	7,938,000 円	新入学準備金	6,993,000 円																																											
修学旅行費	10,887,338 円	修学旅行費	9,053,160 円																																											
給食費	28,415,100 円	給食費	23,658,963 円																																											
医療費	139,100 円	医療費	0 円																																											
計	62,441,405 円	計	51,797,533 円																																											
2	特別支援教育就学奨励費 認定者数 87名 / 生徒数 3,010名 (2.89%)																																													
<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>359,115 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>12,705 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>17,130 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>154,270 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>335,390 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>309,880 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>845,204 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>6,420 円</td></tr> <tr><td>職場実習交通費</td><td>6,935,400 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>8,975,514 円</td></tr> </table>		学用品費	359,115 円	校外活動費(宿泊なし)	12,705 円	校外活動費(宿泊あり)	17,130 円	通学費	154,270 円	新入学学用品費	335,390 円	修学旅行費	309,880 円	給食費	845,204 円	交流学習交通費	6,420 円	職場実習交通費	6,935,400 円	計	8,975,514 円																									
学用品費	359,115 円																																													
校外活動費(宿泊なし)	12,705 円																																													
校外活動費(宿泊あり)	17,130 円																																													
通学費	154,270 円																																													
新入学学用品費	335,390 円																																													
修学旅行費	309,880 円																																													
給食費	845,204 円																																													
交流学習交通費	6,420 円																																													
職場実習交通費	6,935,400 円																																													
計	8,975,514 円																																													
成果	<p>経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>また、新入学準備金については、126名の生徒の保護者に助成を行うとともに、入学前に支給することにより、経済的不安の解消が図られた。</p> <p>【参考】被災生徒就学援助費 新入学準備金支給者数 111名</p>																																													
成果に係る評価	<p>経済的な理由により就学が困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての生徒の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。</p>																																													
(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	80,618,000	71,416,919	4,769,794			66,647,125																																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書整備事業（中学校）〔復興基金〕																																												
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																											
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																											
	事業	中学校図書整備事業費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する																																											
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																																												
目的及び事業内容		<p>文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定、平成5年に定めた「学校図書館図書標準」の達成のための新たな図書の購入と古い図書の計画的な更新を行い、学校図書館の整備充実を図ることとしている。</p> <p>学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るため、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																														
取組実績	令和6年度予算としては、各中学校へ蔵書を更新するための予算を配当した。		令和6年度においては、前年度と比較して大口の寄贈もあり整備冊数が増え、生徒の読書活動や学習活動に役立つ多様な図書を購入することができた。																																													
	<p>&lt;中学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <tr><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><td>10,007冊</td><td>9,343冊</td><td>8,916冊</td><td>8,523冊</td><td>12,861冊</td></tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>		R2	R3	R4	R5	R6	10,007冊	9,343冊	8,916冊	8,523冊	12,861冊																																				
R2	R3	R4	R5	R6																																												
10,007冊	9,343冊	8,916冊	8,523冊	12,861冊																																												
成果	<p>学校図書館図書標準に対する充足率は1校が老朽化した図書の廃棄により未達成となったが、生徒の読書活動、学習活動に役立つ良質な図書を購入できた。</p> <p>整備した図書や資料の利用により、知識の幅が広がり学習活動が充実した。</p> <p>&lt;中学校図書充足率達成状況&gt;</p> <table border="1"> <tr><td>充足率</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><td>100%以上(A)</td><td>19校</td><td>17校</td><td>17校</td><td>16校</td><td>16校</td></tr> <tr><td>75%以上-100%未満</td><td>0校</td><td>1校</td><td>1校</td><td>1校</td><td>1校</td></tr> <tr><td>50%以上-75%未満</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td></tr> <tr><td>50%未満</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td></tr> <tr><td>合計(B)</td><td>19校</td><td>18校</td><td>18校</td><td>17校</td><td>17校</td></tr> <tr><td>100%以上達成校の割合(A/B)</td><td>100.00%</td><td>94.44%</td><td>94.44%</td><td>94.11%</td><td>94.11%</td></tr> </table> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について ※各年度末時点 平成5年に文部科学省で定めた学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準(学級数に応じて積算)に対する学校保有冊数の割合である。</p>						充足率	R2	R3	R4	R5	R6	100%以上(A)	19校	17校	17校	16校	16校	75%以上-100%未満	0校	1校	1校	1校	1校	50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計(B)	19校	18校	18校	17校	17校	100%以上達成校の割合(A/B)	100.00%	94.44%	94.44%	94.11%	94.11%
充足率	R2	R3	R4	R5	R6																																											
100%以上(A)	19校	17校	17校	16校	16校																																											
75%以上-100%未満	0校	1校	1校	1校	1校																																											
50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																											
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																											
合計(B)	19校	18校	18校	17校	17校																																											
100%以上達成校の割合(A/B)	100.00%	94.44%	94.44%	94.11%	94.11%																																											
成果に係る評価	<p>令和6年度に図書の整理で例年より大きく廃棄を行った1校が充足率未達成となった。</p> <p>令和6年度は大口の図書の寄贈があり廃棄を行う学校は増えたが、まだまだ古い蔵書の割合が高く、老朽化した図書や古い内容の図書について継続的・計画的に更新を図る必要があることから、生徒にとって最新の情報や豊富な資料により、知識を深め、学習活動の助けとなるよう今後も学校図書の一層の充実を図っていきたい。</p>																																															
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	15,000,000	14,941,836				14,941,836																																										

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設長寿命化改良事業																										
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																									
	事業	蛇田中学校校舎改修事業費		( 2 )	安全安心な学校施設整備を推進する																									
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 89																										
目的及び事業内容	蛇田中学校校舎は経年劣化により老朽化が著しいため、外壁、内壁、電気設備、機械設備や屋上防水の改修工事等を実施し、施設の長寿命化を図る。併せて、段差解消や多目的トイレ設置等のバリアフリー対策を行い、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。																													
取組実績	<p>1 蛇田中学校校舎改修事業費 令和6年度は、改修工事を実施した。</p> <p>(1) 全体事業</p> <p>ア 令和3年度 構造体劣化調査 イ 令和4年度 実施設計・地質調査 ウ 令和5年度 仮設校舎建設 エ 令和6年度から令和8年度 改修工事</p> <p>(2) 科目別予算額・事業費内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R6予算額</th> <th>R6事業費</th> <th>R7繰越</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000 円</td> <td>100,000 円</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>1,900,000 円</td> <td>1,852,000 円</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>借上料</td> <td>445,713,100 円</td> <td>445,270,650 円</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>72,650,000 円</td> <td>71,150,000 円</td> <td>1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>520,363,100 円</td> <td>518,372,650 円</td> <td>1,500,000 円</td> </tr> </tbody> </table>						内訳	R6予算額	R6事業費	R7繰越	消耗品費	100,000 円	100,000 円	0 円	監理	1,900,000 円	1,852,000 円	0 円	借上料	445,713,100 円	445,270,650 円	0 円	工事	72,650,000 円	71,150,000 円	1,500,000 円	計	520,363,100 円	518,372,650 円	1,500,000 円
内訳	R6予算額	R6事業費	R7繰越																											
消耗品費	100,000 円	100,000 円	0 円																											
監理	1,900,000 円	1,852,000 円	0 円																											
借上料	445,713,100 円	445,270,650 円	0 円																											
工事	72,650,000 円	71,150,000 円	1,500,000 円																											
計	520,363,100 円	518,372,650 円	1,500,000 円																											
成果	老朽化が著しく進行している蛇田中学校においては、長寿命化改修工事を実施したことにより、生徒が安全・安心かつ良好な学習環境の整備が図られた。 また、工事期間中は仮設校舎へ一時的に学校機能を移転したことで、生徒の安全確保と教育活動の継続性が図られた。																													
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、限られた財源の中で優先順位を定めながら、児童生徒の安全・安心の確保及び教育環境の向上のために、計画的に施設整備を図っていく必要がある。																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	518,863,100	518,372,650	20,277,000	49,300,000	73,651,206	375,144,444																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設大規模改造事業																																											
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																										
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																										
	事業	青葉中学校大規模改造事業費		( 2 )	安全安心な学校施設整備を推進する																																										
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 89																																											
目的及び事業内容	青葉中学校校舎は、平成2年に建設され30年以上経過し老朽化が進行しているため、将来的に長寿命化を図る建物を健全な状態に保つための予防的な工事の実施と、バリアフリー化を併せて行う。																																														
取組実績	<p>1 青葉中学校大規模改造事業費 令和6年度は、大規模改造工事を実施した。</p> <p>(1) 全体事業</p> <p>ア 令和3年度から令和4年度 改修設計 イ 令和5年度から令和6年度 大規模改造工事</p> <p>(2) 科目別予算額・事業費内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R6予算額</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> </tr> <tr> <th>R6事業費</th> <th>繰越分</th> <th>R6事業費</th> <th>繰越分</th> <th>R6事業費</th> <th>繰越分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>3,295,000</td> <td>1,810,000</td> <td>1,485,000</td> <td>2,695,000</td> <td>1,210,000</td> <td>1,485,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>282,311,000</td> <td>73,311,000</td> <td>209,000,000</td> <td>276,577,000</td> <td>67,604,700</td> <td>208,972,300</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>285,656,000</td> <td>75,121,000</td> <td>210,535,000</td> <td>279,322,000</td> <td>68,814,700</td> <td>210,507,300</td> </tr> </tbody> </table>						内訳	R6予算額		繰越分		現年度分		R6事業費	繰越分	R6事業費	繰越分	R6事業費	繰越分	消耗品費	50,000	0	50,000	0	50,000	0	監理	3,295,000	1,810,000	1,485,000	2,695,000	1,210,000	1,485,000	工事	282,311,000	73,311,000	209,000,000	276,577,000	67,604,700	208,972,300	計	285,656,000	75,121,000	210,535,000	279,322,000	68,814,700	210,507,300
内訳	R6予算額		繰越分		現年度分																																										
	R6事業費	繰越分	R6事業費	繰越分	R6事業費	繰越分																																									
消耗品費	50,000	0	50,000	0	50,000	0																																									
監理	3,295,000	1,810,000	1,485,000	2,695,000	1,210,000	1,485,000																																									
工事	282,311,000	73,311,000	209,000,000	276,577,000	67,604,700	208,972,300																																									
計	285,656,000	75,121,000	210,535,000	279,322,000	68,814,700	210,507,300																																									
成果	老朽化が著しく進行している青葉中学校校舎について、大規模改造工事が完了したことにより、児童が安全・安心かつ良好な学習環境の整備が図られた。																																														
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、限られた財源の中で優先順位を定めながら、児童生徒の安全・安心の確保及び教育環境の向上のために、計画的に施設整備を図っていく必要がある。																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	285,656,000	279,322,000	71,886,000	196,900,000	6,000,000	4,536,000																																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設改築事業（中学校）																					
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																				
	事業	桃生中学校校舎改築事業費、桃生中学校屋内運動場改築事業費		( 2 )	安全安心な学校施設整備を推進する																				
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 89																					
目的及び事業内容	桃生中学校の校舎及び屋内運動場は、建築後50年以上が経過しており、外壁をはじめとして、建物全般の劣化が著しいことから、学校施設の安全性を確保するため、令和2年度に策定した「学校施設保全計画」に基づき、改築工事を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。																								
取組実績	<p>1 桃生中学校校舎改築事業費 令和6年度は、耐力度調査を実施した。 (1) 科目別予算額・事業費内訳</p> <table border="1"> <tr> <th>内訳</th> <th>R6予算額</th> <th>R6事業費</th> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,000,000 円</td> <td>1,687,730 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,000,000 円</td> <td>1,687,730 円</td> </tr> </table> <p>2 桃生中学校屋内運動場改築事業費 令和6年度は、耐力度調査を実施した。 (1) 科目別予算額・事業費内訳</p> <table border="1"> <tr> <th>内訳</th> <th>R6予算額</th> <th>R6事業費</th> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,000,000 円</td> <td>831,270 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,000,000 円</td> <td>831,270 円</td> </tr> </table>							内訳	R6予算額	R6事業費	委託料	3,000,000 円	1,687,730 円	計	3,000,000 円	1,687,730 円	内訳	R6予算額	R6事業費	委託料	3,000,000 円	831,270 円	計	3,000,000 円	831,270 円
内訳	R6予算額	R6事業費																							
委託料	3,000,000 円	1,687,730 円																							
計	3,000,000 円	1,687,730 円																							
内訳	R6予算額	R6事業費																							
委託料	3,000,000 円	831,270 円																							
計	3,000,000 円	831,270 円																							
成果	桃生中学校においては、耐力度調査を実施したことにより、今後の工事方針決定に向けた準備が図られた。																								
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、限られた財源の中で優先順位を定めながら、児童生徒の安全・安心の確保及び教育環境の向上のために、計画的に施設整備を図っていく必要がある。																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	6,000,000	2,519,000				2,519,000																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業																																			
	4 項	高等学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																		
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																		
	事業	魅力ある学校づくり事業費		( 1 )	学校教育の充実を図る																																		
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 91																																			
目的及び事業内容	<p>【事業内容】 生徒の人間力を高め、一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる教育の三本柱である「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践し、必要な事業を実施する。</p> <p>【事業目的】 県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指す。</p>																																						
取組実績	<p>1 各種講座等</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 品格教育に係る講座（全学年）</td> <td>3回実施</td> </tr> <tr> <td>(2) キャリア教育に係る講座</td> <td>年間 10回実施</td> </tr> <tr> <td>ア 模擬面接（3学年）（講師16人）</td> <td>2回実施</td> </tr> <tr> <td>イ お仕事サロン（1、2学年）</td> <td>5回実施</td> </tr> <tr> <td>ウ ビジネスマナー講座</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>エ 先輩の話を聞く会（1、2学年）</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>オ 親教育講話（3学年）</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(3) 桜坂タイム関連講座（全学年）</td> <td>59回実施</td> </tr> <tr> <td>ア フィールドワーク（1学年）</td> <td>8回実施</td> </tr> <tr> <td>イ 個人探究活動（2学年）</td> <td>33回実施</td> </tr> <tr> <td>ウ 成果発表（3学年）</td> <td>12回実施</td> </tr> <tr> <td>エ SDGs で地方創生を考える（1学年）</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>オ 働く意義「職業人に聞く」（3学年）等</td> <td>3回実施</td> </tr> <tr> <td>カ 探究講話（1学年）</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>キ アカデミックインターンシップ（2学年）</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(4) 高大連携出前講座（全学年）</td> <td>1回実施</td> </tr> </table> <p>2 進路ガイダンス参加 ※ハローワーク主催の合同企業説明会1回、桜坂高校独自に合同企業説明会を1回開催</p> <p>3 大学・短大見学会 施設見学及び模擬授業受講（1学年） 1日実施</p>							(1) 品格教育に係る講座（全学年）	3回実施	(2) キャリア教育に係る講座	年間 10回実施	ア 模擬面接（3学年）（講師16人）	2回実施	イ お仕事サロン（1、2学年）	5回実施	ウ ビジネスマナー講座	1回実施	エ 先輩の話を聞く会（1、2学年）	1回実施	オ 親教育講話（3学年）	1回実施	(3) 桜坂タイム関連講座（全学年）	59回実施	ア フィールドワーク（1学年）	8回実施	イ 個人探究活動（2学年）	33回実施	ウ 成果発表（3学年）	12回実施	エ SDGs で地方創生を考える（1学年）	1回実施	オ 働く意義「職業人に聞く」（3学年）等	3回実施	カ 探究講話（1学年）	1回実施	キ アカデミックインターンシップ（2学年）	1回実施	(4) 高大連携出前講座（全学年）	1回実施
(1) 品格教育に係る講座（全学年）	3回実施																																						
(2) キャリア教育に係る講座	年間 10回実施																																						
ア 模擬面接（3学年）（講師16人）	2回実施																																						
イ お仕事サロン（1、2学年）	5回実施																																						
ウ ビジネスマナー講座	1回実施																																						
エ 先輩の話を聞く会（1、2学年）	1回実施																																						
オ 親教育講話（3学年）	1回実施																																						
(3) 桜坂タイム関連講座（全学年）	59回実施																																						
ア フィールドワーク（1学年）	8回実施																																						
イ 個人探究活動（2学年）	33回実施																																						
ウ 成果発表（3学年）	12回実施																																						
エ SDGs で地方創生を考える（1学年）	1回実施																																						
オ 働く意義「職業人に聞く」（3学年）等	3回実施																																						
カ 探究講話（1学年）	1回実施																																						
キ アカデミックインターンシップ（2学年）	1回実施																																						
(4) 高大連携出前講座（全学年）	1回実施																																						
成果	<p>1 各種講座等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子校としての特色を生かす地域人材の積極的な活用により、魅力ある学校づくりを推進し、多様な進路の実現を目指す「品格教育」「キャリア教育」「学力保証」の充実を図ることができた。</li> <li>・進路に関する講座を通じて、勤労観・職業観を育み、「自己実現力」の向上を図ることができた。</li> <li>・「桜坂タイム」では、地域資源を活用し、地域社会に貢献できる人材の育成を図ることができた。</li> <li>・女子校としての特色を生かす地域人材の積極的な活用により、魅力ある学校づくりが推進できた。</li> </ul> <p>2 進路ガイダンスの参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜坂高校独自の企業説明会は好評であり、学校と地元企業との良好な信頼関係を構築できた。</li> <li>・就職指導支援員の活用により、就職内定率は100%、管内企業への就職率は、59.0%であった。</li> </ul> <p>3 大学・短大見学会について</p> <p>1年次から大学見学や高等教育の授業を聴講することにより、進学に対する意欲の発揚を促し、主体的に学びに向かう態度を育成することができた。</p>																																						
成果に係る評価	<p>本事業を通じて、桜坂高校の教育の三本柱である「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践することにより「魅力ある学校づくり」を推進することができた。更なる「学校の魅力向上」を目指すために、多様な進路の実現と地元へ貢献する人材の育成を目指し、進路学習の一層の充実を図れた。一方で、令和7年度入学者選抜においては、定員充足率が53.1%と依然定員割れが続いている。定員確保につなげる取組の一つとして、「女子校の特色を前面に出した魅力の発信」をオープンキャンパスや文化祭等を通じて行ったが、定員割れの解消には至らなかった。</p> <p>今後は、定員確保につなげる取組として、桜坂高校の魅力をもとめた資料等（学校案内等）を充実させ、管内の中学校はもちろん、登米地区や塩釜地区の中学校等にも発信していく必要がある。</p>																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	3,400,000	3,004,632			3,000,000	4,632																																	

予算科目	10 款	教育費	事業名	幼児教育推進事業				
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実			
	事業	幼児教育推進事業費		( 4 )	就学に係る支援を強化する			
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P94				
目的及び事業内容	<p>石巻市幼児教育センターを設置し、小学校入学に係る幼児の引継ぎをスムーズに行うため、公立及び私立の幼稚園・こども園・保育所と小学校の連携を推進し、幼児教育アドバイザーの巡回指導や研修事業等を通じ、幼稚園教諭、保育士と小学校教諭との交流と相互理解を図る。</p> <p>また、公立及び私立の幼稚園、こども園、保育所を幼児教育アドバイザーが巡回し、幼児教育の質を高める指導助言を行うことにより、基本的生活習慣や学習習慣、集団生活づくり等について、一貫した指導体制を構築する。</p>							
取組実績	<p>1 幼稚園・保育所・こども園・小学校との連携の推進</p> <p>(1) 幼保こ小合同研修会を活用した連携体制の構築 2回</p> <p>(2) 市内幼児教育施設園長・所長等懇談会の開催 1回</p> <p>(3) 幼児教育センターだよりの発行（交流・連携の促進） 15回</p> <p>(4) 市内幼児教育施設・小学校間における共有のための引継ぎ枠の作成に向けた情報収集</p> <p>2 教育・保育内容の充実と教員・保育士の資質向上</p> <p>(1) 幼児教育推進会議の開催（幼児教育プランに関する意見聴取） 2回</p> <p>(2) 幼保こ小合同研修会の開催 2回</p> <p>(3) 幼児教育アドバイザーによる幼稚園、こども園、保育所への巡回訪問回数 53回</p> <p>(4) 幼児教育センターだよりの発行（アドバイザー活動の広報） 15回</p>							
成果	<p>1 幼稚園・保育所・こども園・小学校との連携の推進</p> <p>学校の設置環境により、交流した幼児教育施設の公立・私立の差異はあるが、研修会での情報交換の時間の設定、センターだよりの交流活動の広報、園長・所長等懇談会による顔のみえる関係づくりにより、小学校32校中28校が交流を行うことができた。</p> <p>2 教育・保育内容の充実と教員・保育士の資質向上</p> <p>幼児教育センター開設初年度である令和6年度は、幼児教育アドバイザーが市内の全幼児教育施設を訪問した。施設全体の様子について、実態を把握し、本市として目指す子どもの姿について、小学校生活で期待する姿までの見通しをもって具体化することができた。</p>							
成果に係る評価	<p>幼稚園、保育所、こども園との交流により、小学校入学に伴う児童の引継ぎが適切に行われている。今後も研修会等の開催を通して、一層顔のみえる関係づくりを進める必要がある。</p> <p>小学校入学時における児童の引継ぎを適切に行うため、架け橋期における幼児期の育ちを具体的に小学校につなげる手段を具体化することが必要である。各校園が架け橋期のカリキュラムを作成することが必要だが、施設によっては、カリキュラムに対する意識の差がみられる。カリキュラムの必要性等について研修会で周知し、策定につなげるとともに、幼稚園・保育所・こども園・小学校の連携の促進を図り、育ちをつなげる意識を醸成することとしている。</p>							
予算の執行状況	(単位：円)							
予算額	7,359,000	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
		6,583,230	2,955,000			3,628,230		

予算科目	10 款	教育費	事業名	私立幼稚園運営費助成事業															
	5 項	幼稚園費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち														
	1 目	幼稚園費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実														
	事業	私立幼稚園運営費助成費		( 4 )	就学に係る支援を強化する														
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P93															
目的及び事業内容	<p>市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。</p> <p>・私立幼稚園運営費の助成</p> <p>幼稚園割 1園 160,000円</p> <p>職員割 1人 30,000円</p> <p>園児割 1人 1,200円</p>																		
取組実績	<p>市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻みづほ幼稚園</td> <td>790,000円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,088,800円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>644,800円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,523,600円</td> </tr> </tbody> </table> <p>R6から法山寺幼稚園が新制度に移行し、施設型給付費の対象となったことから、運営費補助金の対象施設は3園となった。</p>							区分	運営費補助金	石巻みづほ幼稚園	790,000円	ひばり幼稚園	1,088,800円	長浜幼稚園	644,800円	合計	2,523,600円		
区分	運営費補助金																		
石巻みづほ幼稚園	790,000円																		
ひばり幼稚園	1,088,800円																		
長浜幼稚園	644,800円																		
合計	2,523,600円																		
成果	<p>義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。</p> <p>(助成内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>運営費補助金</th> <th>園数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>3,259,600円</td> <td>4園</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>3,212,800円</td> <td>4園</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2,523,600円</td> <td>3園</td> </tr> </tbody> </table>							年度	運営費補助金	園数	R4	3,259,600円	4園	R5	3,212,800円	4園	R6	2,523,600円	3園
年度	運営費補助金	園数																	
R4	3,259,600円	4園																	
R5	3,212,800円	4園																	
R6	2,523,600円	3園																	
成果に係る評価	<p>私立幼稚園の健全な運営と施設の充実を図るとともに、幼児教育の質の向上を図るため、今後も継続して本事業を実施し、本市の義務教育就学前における幼児教育を推進する必要がある。</p>																		
予算の執行状況	(単位：円)																		
予算額	2,748,000	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
		2,523,600				2,523,600													

予算科目	10 款	教育費	事業名	家庭教育支援事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
	事業	家庭教育支援事業費		( 1 )	地域で支える教育活動を支援する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P98				
目的及び事業内容	子育てサポーター養成講座及び子育てサポーターリーダー養成講座修了者など身近な方々による「家庭教育支援チーム」を組織し、子育ての悩みを抱えるなど孤立しがちな保護者や家庭に対し、同じ目線で寄り添いながら、子育てや家庭教育に関する相談への対応、参加しやすい学習や交流の機会を提供することで、保護者が安心感と自信をもって家庭教育を施し、子どもとともに成長するための学びを支援する。							
取組実績	1 親子参加型の活動（子育てサロン）							
	年度		実施期間	実施回数	参加人数			
	R4	R4.5～R5.3	20回	延べ 159組	362人			
	R5	R5.5～R6.3	19回	延べ 137組	344人			
	R6	R6.4～R7.3	19回	延べ 132組	283人			
2 親の学び講座（親対象）								
年度		実施期間	実施回数	参加人数				
R4	R4.9～R4.11	8回	延べ 45人					
R5	R5.9～R5.11	11回	延べ 56人（体験講座3回含む）					
R6	R6.10～R6.11	9回	延べ 33人（体験会・同窓会3回含む）					
3 学ぶ土台づくり研修会								
年度		実施期間	実施回数	参加人数				
R4				新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止				
R5	R5.6～R6.2	1回	6人					
R6	R6.6～R7.2	1回	39人					
4 子育てサポーター養成講座								
年度		実施期間	実施回数	参加人数				
R4	R4.5～R4.6	3回	延べ 18人					
R5	R5.5～R5.6	3回	延べ 3人					
R6	R6.5～R6.6	3回	延べ 4人					
成果	「子育てサロン」は、他のイベントとの重複、子の体調不良等もあり、参加人数は前年度より減少したが、親子参加型活動の機会の提供、参加を促すことで、子育て世代の孤立防止と子育てにおける悩み解消の一助となった。 「親の学び講座」は、6週連続で集中的に学ぶ子育て講座として開催し、和やかな雰囲気の中で、参加者同士が学びながら交流するなど、子育ての悩みを共有することで参加者の心のケアが図られた。また、体験会・同窓会として1回限りの講座も開催し、初めての方だけでなく講座を受講済である同窓生も参加することができた。 「学ぶ土台づくり研修会」は、家庭・地域と学校・幼稚園・保育所等が協働して子どもを育てる環境づくりを推進するプログラムを実施し、学校や保育所、家庭で実践できる内容を学ぶ機会を提供した。 「子育てサポーター養成講座」は、県教育委員会と連携し、東部教育事務所管内で実施した。子育て支援の専門家の講話等によって、参加者が現在の子育ての現状や支援する際の心構え等を学ぶことができた。							
成果に係る評価	参加者は減少傾向にあるが、子育て世帯の孤立化解消や親子の心のケア、親同士のコミュニティ形成、次世代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材の育成が図られていることから、今後も継続した取組が必要である。 参加者の増加に向け、子育て支援アプリ等でも周知を図るほか、事業実施時期も検討し、より多くの親子の参加を図る。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	788,000		663,128		356,000			307,128

予算科目	10 款	教育費	事業名	少年指導者育成事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
	事業	少年指導者育成費		( 2 )	青少年の健全な成長を支援する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P98				
目的及び事業内容	子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。 宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成するとともに、受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳を授与するほか、資質向上のため、各種研修の機会を提供する。							
取組実績	1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援							
	(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催							
			事業名	開催日	実施場所	修了者		
	1	初級研修会	7月24日(水)～7月25日(木) 1泊2日で開催	松島自然の家	26人			
	(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援							
		事業名	開催日	実施場所	修了者			
1	中級研修会	8月17日(土)～18日(日) 日帰り2日間で開催	松島自然の家	1人				
2	上級研修会	12月25日(水)～27日(金) 2泊3日で開催	志津川自然の家	0人				
2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援 各地区のサークルに所属するジュニア・リーダーは、市内子ども会育成会や各種団体等から派遣の要請を受け、子どもたちの指導を行っている。 団体による申請数：39回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：112人 会員数：34人								
3 ジュニア・リーダー会員の募集支援 市内全中学校の生徒に初級研修会の募集要項を配布したほか、会員による口コミ活動を修了者に実施するとともに、各サークルにおいて新規会員募集チラシを配布した。また、イベントの企画・実施も行った。								
成果	令和5年度と比較して、サークル全体の会員数が増加しており、前年度のジュニア・リーダー会員の取り組み方が影響しているものと考えられる。初級研修会の受講者数も増加したため、会員による口コミなどの広報活動、各サークルでのイベントの実施などの効果が見られる。 子ども会や地域のお祭りなど、団体からの申請数は多いため、地域活動へ参加する意欲や実践力の向上につながっている。 また、サークルごとの活動だけではなく、石巻地区（石巻市・東松島市・女川町）合同の秋季研修会を実施したところ、各サークルの高校生が中心となって参加し、様々なゲームやダンスを楽しみながら資質向上に取り組むことができた。生涯学習課の事業でもジュニア・リーダーの活躍する機会を設けており、充実感の向上にもつながっている。							
成果に係る評価	社会教育主事有資格者のいる中学校へ初級研修会への参加打診や、校長会等を通じて参加募集の呼び掛けの強化を図った。 ジュニア・リーダーの活動は、派遣事業においてスタッフとともに来訪者への対応や地域住民への働きかけなど積極的な姿勢が見られ、子どもたちの健全育成及び子ども会活動の活性化を図ることにつながっているが、子ども会数の減少により、派遣要請数も減少が予想されるので、各サークルが活躍できる機会を設定していく。 今後も、ジュニア・リーダー会員の新規獲得に向けて、会員が活動する機会を増やすとともに、各市町や公民館のジュニア・リーダー担当者と連携を図り、サークル同士の交流会なども設定して資質の向上や活動推進を図っていく。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	404,000		277,439					277,439

予算科目	10 款	教育費	事業名	街なか文化・芸術活動活性化助成金交付事業																							
	6 項	社会教育費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																						
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																						
	事業	芸術文化振興費		( 1 )	地域資源を活用した観光誘客を推進する																						
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 79																							
目的及び事業内容		中心市街地において文化・芸術活動を行う団体に対し活動費用の一部を助成することで、中心市街地の文化芸術活動の拠点としての機能強化を図る。																									
取組実績		<p>助成対象となる活動に対し、助成率3/4以内、10万円を上限として助成金を交付した。</p> <p>【交付実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>4件</td> <td>343,000円</td> <td>329人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>8件</td> <td>799,000円</td> <td>1,169人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>11件</td> <td>1,061,000円</td> <td>1,095人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>10件</td> <td>945,000円</td> <td>1,331人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	助成件数	助成金額	参加人数	R3	4件	343,000円	329人	R4	8件	799,000円	1,169人	R5	11件	1,061,000円	1,095人	R6	10件	945,000円	1,331人
年度	助成件数	助成金額	参加人数																								
R3	4件	343,000円	329人																								
R4	8件	799,000円	1,169人																								
R5	11件	1,061,000円	1,095人																								
R6	10件	945,000円	1,331人																								
成果		本助成金を活用して、子どもを対象とした勉強会や展示のほか、音楽、演劇の公演や石巻出身・在住のアーティストによる作品の展示、パフォーマンスといった様々なジャンルの催し物が中心市街地の各所で開催され、中心市街地における文化芸術活動の活性化の一助となった。																									
成果に係る評価		令和3年10月に本助成制度を創設し、徐々に認知度が上がってきたことで、活用実績も伸びてきた。しかしながら、類似する他制度があり、申請者がどちらの制度を活用すべきか判断に迷うこと、さらには効率的でないことなどもあって、制度統合に向けた調整を行い、令和7年度から「石巻市街なかイベント開催助成金」において文化芸術事業も支援対象とすることとした。このため、本事業は令和6年度をもって終了したが、今後も、産業部と連携しながら中心市街地において文化芸術活動に取り組む団体等へ支援を講じることで、中心市街地における文化芸術活動の活性化に努めていく。																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	1,000,000	945,000				945,000																					

予算科目	10 款	教育費	事業名	市美術展実施事業																																	
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																
	事業	芸術文化振興費		( 1 )	生涯学習環境を強化する																																
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99																																	
目的及び事業内容		美術を通して、本市における芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から書・洋画・日本画・彫刻・陶芸の5部門において作品を公募する美術展を開催する。																																			
取組実績		<p>第39回石巻市美術展の概要</p> <p>1 開催期間 令和6年10月6日(日)～10月14日(月・祝)</p> <p>2 開催場所 マルホンまきあーとテラス (小ホール、小ホールホワイエ、市民ギャラリー、アトリエ)</p> <p>3 出品点数 254点(書135点・洋画59点・日本画28点・彫刻12点・陶芸20点) ※温州市特別出品数(10点)を除く</p> <p>4 観覧者数 2,207人</p> <p>5 審査日 令和6年10月1日(火)</p> <p>6 受賞者 47人</p> <p>7 開場式 令和6年10月6日(日)午前10時 (会場：マルホンまきあーとテラス 小ホールホワイエ前)</p> <p>8 授賞式 令和6年10月6日(日)午前10時30分 (会場：マルホンまきあーとテラス 大ホール)</p> <p>9 その他 温州市・石巻市友好都市締結40周年を記念して、温州市から書5点、絵画5点の作品を特別出品いただいた。</p>																																			
成果		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>出品数</th> <th>観覧者数</th> <th>開催日数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td colspan="4">新型コロナウイルス感染症の影響により中止</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>252点</td> <td>1,961人</td> <td>8日</td> <td>245人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>223点</td> <td>1,966人</td> <td>9日</td> <td>218人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>244点</td> <td>2,083人</td> <td>9日</td> <td>231人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>254点</td> <td>2,207人</td> <td>9日</td> <td>245人</td> </tr> </tbody> </table>							出品数	観覧者数	開催日数	1日平均	R2	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				R3	252点	1,961人	8日	245人	R4	223点	1,966人	9日	218人	R5	244点	2,083人	9日	231人	R6	254点	2,207人	9日	245人
	出品数	観覧者数	開催日数	1日平均																																	
R2	新型コロナウイルス感染症の影響により中止																																				
R3	252点	1,961人	8日	245人																																	
R4	223点	1,966人	9日	218人																																	
R5	244点	2,083人	9日	231人																																	
R6	254点	2,207人	9日	245人																																	
成果に係る評価		出品数、観覧者数ともに前年度比で増加となり、多くの市民等の作品発表の場になるとともに、市民が身近に芸術文化に触れ合う機会を提供することができた。令和7年度は、第40回の記念すべき美術展となることから、さらなる事業周知の強化、関連イベントの実施に注力していく。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	360,000	360,000				360,000																															

予算科目	10 款	教育費	事業名	青少年文化芸術鑑賞事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進			
	事業	芸術文化振興費		( 1 )	生涯学習環境を強化する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99				
目的及び事業内容								
芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の児童・生徒に対し、優れた芸術を鑑賞、体験してもらうことにより、豊かな情操を養うため、青少年劇場小公演、巡回小劇場、文化芸術による子ども育成事業により、希望する小中学校に対して、本物の芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供する。								
取組実績	1 巡回小劇場							
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数				
	9月25日	中津山第二小	演劇「宇宙のなかの熊」	中津山第二小学校（児童94人）				
	9月30日	桃生小学校	演劇「めっくら もっくら どおんどん」	桃生小学校（児童56人）				
	10月2日	石巻中学校	音楽「リンゴマ」	石巻中学校（生徒330人）				
	10月7日	万石浦小学校	演劇「めっくら もっくら どおんどん」	万石浦小学校（児童219人）				
	2 青少年劇場小公演							
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数				
	6月19日	山下小学校	器楽「連弾RENDAN～1台のピアノと2人のピアニスト～」	山下小学校（児童94人）				
	3 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）							
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数					
11月22日	中里小学校	演劇「注文の多い料理店」	中里小学校（児童165人）					
12月5日	万石浦中学校	尺八で聴くアニソン・ポップス	万石浦中学校（生徒151人）					
12月18日	青葉中学校	歌声のチカラを体感！ゴスペルコンサート	青葉中学校（生徒186人）					
12月18日	山下中学校	歌声のチカラを体感！ゴスペルコンサート	山下中学校（生徒172人）					
成果								
青少年文化芸術鑑賞事業は、プロの生演奏や芝居といった優れた文化芸術を目の前で鑑賞することができることから、実施校からは高い評価を得ており、児童・生徒が鑑賞する楽しさや表現することの喜びを体験し、豊かな情操を育むことができた。 また、実施校からの報告書、鑑賞した児童生徒の様子、事後アンケートの内容からは、座学では学ぶことのできない表現力や語彙力などの学びが得られたこと、物語の世界観を想像する力の大切さを教えていただいたことなどの記載が多かった。それぞれの講演内容から得られる教育的効果は高く、今後の教育活動にも生かすことができる力を学ぶ機会となっている。								
成果に係る評価								
関係団体との連携を図ることができ、令和5年度よりも鑑賞する機会が増加したことに加え、子どもの育成事業において、質の高い文化芸術を児童・生徒に提供することができた。 本事業は、優れた文化芸術を生で鑑賞するよい機会であり、子どもたちの豊かな情操を育むことができるとともに、演じることへの憧れが文化芸術に興味を持つよいきっかけとなることが予想できる。そのため、より多くの学校で開催することが可能となるよう、関係団体等と連携を図りながら、本事業の継続並びに拡大を図っていく。								
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,466,000	1,102,750			1,000,000	102,750		

予算科目	10 款	教育費	事業名	文化芸術事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進			
	事業	芸術文化振興費		( 1 )	生涯学習環境を強化する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99				
目的及び事業内容								
文化芸術の振興を図るとともに、文化芸術がもたらす心豊かで活力ある地域づくりなど、社会に貢献できる活動を推進するため、良質な芸術鑑賞等の機会を提供する。								
取組実績	○ 事業内容							
	事業名		内容	回数	参加人数			
	1 公演鑑賞事業		コンサート等	4回	1,442人			
	2 移動鑑賞事業		歌舞伎鑑賞等	2回	99人			
	3 育成事業		演劇ワークショップ、演奏体験等	38回	3,565人			
	・クリスタルピアノ体験演奏会&ピアノ弾き比べ体験会							
	・市内中学校等アウトリーチ事業 ・まきあーとテラス舞台スタッフ体験 など							
	合計			44回	5,106人			
	成果							
	市民に質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供し、また、市民の参加・体験を通じた意欲の醸成により、文化芸術の活性化が図られた。							
区分		実施回数			参加人数			
	目標値	実績等	達成率	目標値	実績等	達成率		
R4	25回	22回	88.0%	4,500人	4,346人	96.5%		
R5	25回	43回	172.0%	4,500人	4,169人	92.6%		
R6	55回	44回	80.0%	4,500人	5,106人	113.5%		
成果に係る評価								
実施回数は目標を下回ったものの、市民ニーズを踏まえた事業実施によって、参加人数については目標を達成することができた。 引き続き市民ニーズを勘案した事業実施に努め、良質な芸術鑑賞等の機会を提供していく。								
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,000,000	4,999,500			4,999,500			

予算科目	10 款	教育費	事業名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業					
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち				
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進				
	事業	芸術文化振興費		( 1 )	生涯学習環境を強化する				
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99					
目的及び事業内容	文化芸術は、感動や生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものであるとともに、市民の郷土に対する愛着や誇りの醸成にも大きな役割を果たすものであることから、伝統文化の継承をはじめ、文化活動の振興のほか、市民の文化芸術の振興のための活動を行っている石巻市文化協会を支援することで、文化芸術活動の活性化、文化芸術の振興に資する。								
取組実績	1 石巻市文化協会の概要								
	名称		設立年月日	設立趣意					
	石巻市文化協会		平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上					
	2 主な事業								
日時		事業内容							
7月7日		第15回「石巻市合同文化祭」							
9月18日		第43回宮城県文連「運営研修会」							
10月19日～20日		第27回「みやぎ県民文化祭」							
10月20日		石巻地区文連「研修会」、第27回「みやぎ県民文化祭」研修視察							
3 補助金交付 市内7地区の文化協会への運営補助金として、統括する石巻市文化協会へ補助金を交付した。									
4 その他 補助金交付のほか、事務所移転に関する支援を行った。									
成果	補助金を交付することで石巻市文化協会の活動が継続され、本市文化芸術の普及、振興に寄与するための活動を行う方々へのサポートが図られた。								
	1 各地区ごとの団体数及び会員数								
	地区	石巻		河北		雄勝		河南	
		団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員
R4	54団体	1,305人	25団体	220人	8団体	114人	18団体	340人	
R5	55団体	1,319人	20団体	146人	8団体	105人	16団体	387人	
R6	53団体	1,324人	20団体	160人	12団体	124人	17団体	388人	
地区	桃生		北上		牡鹿		合計		
	団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	
R4	19団体	258人	5団体	30人	5団体	87人	134団体	2,354人	
R5	18団体	245人	3団体	33人	5団体	87人	125団体	2,322人	
R6	18団体	217人	3団体	30人	4団体	68人	127団体	2,311人	
成果に係る評価	会員の高齢化や後継者不足など市内の文化芸術活動の弱体化が懸念される現状において、加盟団体が若干ではあるものの増加に転じており、伝統文化の継承、市民の文化芸術の振興に寄与することができた。								
	今後についても、本市文化芸術の普及、振興に寄与するための活動を行う方々へのサポートのため、継続的に支援していく必要がある。								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	581,000	580,500				580,500			

予算科目	10 款	教育費	事業名	家庭教育学級開設事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
	事業	家庭教育学級開設費		( 1 )	地域で支える教育活動を支援する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 98				
目的及び事業内容	保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。 実施機関（幼稚園、こども園、保育所、学校単位）ごとに、中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。							
取組実績	学校や地域との連携を深め、地域のニーズに対応した講師や内容を検討し、充実した効果的な事業を行うことで、子育てのあり方や家庭教育の重要性について認識が深まった。							
	1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等							
	2 実施機関 各地区の幼稚園・こども園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校							
	3 開設状況							
		開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数			
		石巻地区	31 機関	62 回	4,554 人			
		河北地区	6 機関	9 回	312 人			
		雄勝地区	2 機関	4 回	111 人			
		河南地区	12 機関	18 回	859 人			
		桃生地区	5 機関	8 回	250 人			
		北上地区	3 機関	5 回	281 人			
		牡鹿地区	4 機関	5 回	110 人			
		計	63 機関	111 回	6,477 人			
成果	前年度と比較すると実施機関は1機関減、実施回数も16回の減であった。一方、受講生の評価ポイントは高く、目標値を達成した。							
	区分	活動指標（対象機関における実施率）		実績		達成率		
		目標値						
	R5	75%	65.9%				87.9%	
R6	75%	64.3%				85.7%		
区分	成果指標（受講生評価ポイント）		実績		達成率			
	目標値							
R5	95ポイント	93.6ポイント				98.5%		
R6	95ポイント	95.0ポイント				100.0%		
成果に係る評価	学校や地域との連携を深め、地域のニーズに対応した講師や内容を検討し、充実した効果的な事業を行うことで、子育てのあり方や家庭教育の重要性について認識が深まった。							
	保護者からのニーズは年々多様性を増しており、内容、場所、時間において更なる工夫が求められる。授業参観や入学説明会など、保護者が集まる際に併せて開催することを推進しているが、今後は就学時健診の実施に併せた開催についても新たに検討する。また、学校を対象とした出前講座を案内することで、講師選択の範囲拡大に努める。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	975,000	378,461	252,000			126,461		

予算科目	10 款	教育費	事業名	ブックスタート事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進			
	事業	子ども読書活動推進費		( 2 )	読書の推進・環境を整備する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 101				
目的及び事業内容	<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、3・4か月児健診の機会に乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、絵本を介して赤ちゃんと家族のコミュニケーションを豊かにし、子どもの言語能力と豊かな心を育てる。また、保護者に対して絵本の選び方や読み聞かせの方法について啓発資料等を配布し、読書活動の啓発を図る。</p> <p>3・4か月児健診（本庁、河北、河南地区）時にボランティアの読み聞かせを実施し、ブックスタートバック（絵本、読書の手引き、図書館の案内等）を配布するとともに、ボランティアのスキルアップを図るための研修会を開催する。</p>							
取組実績	<p>3・4か月児健診において、乳児と保護者に対するボランティアによる読み聞かせを行い、ブックスタートバックを配布した。</p> <p>また、読み聞かせに関する基本的知識と技能の習得を通して、子どもの読書活動を推進する担い手の資質向上、地域における子どもの読書活動を推進する関係者間のネットワークづくりのため、ボランティア向け研修会を3回開催した。</p>							
			R4	R5	R6			
	ブックスタートバック配布数（セット）		670	582	570			
	ブックスタートボランティア会員数（人）		17	18	20			
成果	<p>3・4か月児健診受診者全員に絵本を配布することができ、ボランティアによる読み聞かせやブックスタートバックの配布により、保護者に対して乳幼児期からの読書活動の啓蒙が図られた。配布時に実施しているアンケート結果では、「ブックスタートにより、子どもへの読み聞かせにつながる」と100%の保護者が回答している。</p> <p>また、ボランティア向け研修会については、魅力的な講師を招き、開催日を希望の多かった平日に変更したことや周知を強化した結果等により、ブックスタートボランティア会員数の増加につながった。</p>							
			開催日		参加者数			
	ブックスタートボランティア研修会（南三陸町図書館）		10/4（金）		9人			
	石巻市子ども読書活動推進研修会（蛇田公民館 会議室B・C）		9/29（日）		28人			
成果に係る評価	<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進に向けて、今後も引き続き事業を継続する必要がある。</p> <p>また、これまでは、スタートバック配布時のアンケートのみ実施していたため、その後、実際に子どもの読み聞かせが継続していることの確認ができていなかったことから、市内の幼稚園・こども園・保育所に入所（園）している3歳児の保護者へアンケートを実施するとともに、出生数に応じた適切な事業展開ができるように、絵本の在庫調整と併せ、計画的に事業を継続していく。</p> <p>なお、令和6年度が「第2次石巻市子ども読書活動推進計画」の計画初年度であったことから、今後は計画に基づいた事業の実績や課題を把握し、石巻市子ども読書活動推進委員会において計画の進捗管理を行いながら、子どもの発達段階に応じた読書環境の整備を進めることで、子どもの読書率の向上を図る。</p>							
	（単位：円）							
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,436,000	1,398,604	68,000		1,000,000	330,604		

予算科目	10 款	教育費	事業名	協働教育推進事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
	事業	協働教育推進事業費		( 1 )	地域で支える教育活動を支援する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 97				
目的及び事業内容	<p>「子どもたちの抱えるいじめ、不登校、学力や体力の低下等の諸問題の解決」並びに「生きる力をはぐくむ教育活動の充実・改善」という課題解決に向け、「学校・地域・家庭が、それぞれの機能を果たしながら協働し、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体ではなく協働教育」を推進するとともに、学校・地域・家庭を繋ぎ、協働した教育活動を実施する。</p>							
取組実績	<p>市内全小中学校、桜坂高等学校に地域連携（協働教育）担当者と学校支援地域コーディネーターを配置し、学校と地域をつなぐ役割を担いながら、地域学校協働活動の推進に寄与した。また、新たに統括コーディネーターを配置したことで、各地域コーディネーターからの相談等に対してアドバイスができる体制を構築した。</p> <p>各校の地域連携担当者は、地域住民と協力して実施する教育活動を確立し、年度初めに事業計画と予算書を作成した上で、計画的に協働教育を実施できるようにした結果、各校の主な事業計画としては、教育活動（授業や行事など）を支援する内容や児童生徒の防災・安全を守る活動、郷土に関する理解を深める活動などがあり、地域の特性を生かした様々な活動が実施されている。</p> <p>学校支援地域コーディネーターは、各校の学校運営協議会に参加することで、学校の現状や要望等を把握し、必要に応じて地域人材を活用しながら教育活動を支えられるよう、学校の教育活動に協力いただける住民の集約や、様々な活動の際に連絡調整を行うなど、人と人をつなぐ活動を実践した。</p> <p>また、中学校区ごとに地域学校協働本部を設置し、各校の取組状況を互いに把握するとともに、共同で取り組める活動などについても検討できるようにしたほか、地域学校協働活動代表者会議を年2回開催し、各中学校区で実践している地域学校協働活動の情報共有や、今後の活動推進に向けた検討を行った。</p>							
	成果	<p>協働教育推進事業実施校（全50校）の設置、学校支援地域コーディネーター（44人）の配置、石巻市協働教育各種会議・研修会等の開催により、学校・地域・家庭をつなぐ仕組みをつくり、協働した教育活動を展開した結果、各校の様々な教育活動において、多くの地域住民から協力を得ることができた。</p>						
				協働教育推進事業の実施数（回）		1,956		
				協働教育推進事業に携わった地域住民数（人）		13,364		
<p>各校では、地域住民や企業等と協働した教育活動が実施され、児童生徒にとって郷土芸能や地場産業、地域防災関係等の理解を深めるよい機会となった。中学校においては、学校行事やキャリア教育の分野で、地域と連携を図りながら協働活動を実施することができた。</p>								
成果に係る評価	<p>地域の特色を生かした教育活動を実施する中で、学校・家庭・地域が連携することで、児童生徒の学習活動の質を高めることにつながった。小学校においては、総合的な学習の時間の内容として、地域を理解する学習、地域防災に関する学習において体験することを重視しており、地域住民の協力を得ながら進めることができた。また、地域から協力を得るために、学校支援地域コーディネーターは、地域人材を把握し、学校と地域をつなぐ活動を実践した。</p> <p>今後は、中学校区ごとの地域学校協働本部の役割を明確にし、各小・中学校の地域コーディネーターが協力して人材育成に努めるとともに、中学校区内で連携を図りながら地域学校協働活動をより充実したものにしていける必要がある。また、学校運営協議会と地域学校協働活動との更なる一体的推進に向けて、事業内容の整備と調整を進めていく。</p>							
	（単位：円）							
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,940,000	2,072,984	1,330,000			742,984		

予算科目	10 款	教育費	事業名	ふるさと子どもカレッジ事業																																											
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																										
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																										
	事業	協働教育推進事業費		( 1 )	ふるさと子どもカレッジ事業																																										
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P97																																											
目的及び事業内容	地域の企業等の協力のもと、本市の自然・文化・歴史・産業を活かした体験活動を取り入れた講座を開設することにより、子どもたちの豊かな心を育み、自らの故郷について知り、学ぶ機会を創出することを目的とし、市内小学校に通う5・6年生を対象に年間7回程度、各地区の特色を活かした体験活動を実施する。																																														
取組実績	1 参加者数【目標：30人】																																														
	<table border="1"> <tr> <th>地区名</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>11人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>16人</td> </tr> </table>								地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	人数	11人	0人	0人	5人	0人	0人	0人	16人																					
地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																							
人数	11人	0人	0人	5人	0人	0人	0人	16人																																							
取組実績	2 活動内容等																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>活動内容</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>開講式 ジュニアリーダーと交流 ニュースポーツ体験</td> <td>7/7 (日)</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「Yomokka!」を活用したPOP作り</td> <td>7/27 (土)</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>砂州クリーン活動、月浜沢川の生き物観察</td> <td>8/24 (土)</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>石巻青果花き地方卸売市場の見学</td> <td>9/7 (土)</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>オランダ式次世代施設農園の見学と収穫体験</td> <td>10/5 (土)</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>石ノ森萬画館見学、街歩き</td> <td>11/9 (土)</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>おしかホエールランド見学 閉講式</td> <td>12/7 (土)</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>延べ</td> <td>77人</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>									活動内容	開催日	参加者数	1	開講式 ジュニアリーダーと交流 ニュースポーツ体験	7/7 (日)	12人	2	「Yomokka!」を活用したPOP作り	7/27 (土)	7人	3	砂州クリーン活動、月浜沢川の生き物観察	8/24 (土)	10人	4	石巻青果花き地方卸売市場の見学	9/7 (土)	13人	5	オランダ式次世代施設農園の見学と収穫体験	10/5 (土)	10人	6	石ノ森萬画館見学、街歩き	11/9 (土)	12人	7	おしかホエールランド見学 閉講式	12/7 (土)	13人				延べ	77人		
	活動内容	開催日	参加者数																																												
1	開講式 ジュニアリーダーと交流 ニュースポーツ体験	7/7 (日)	12人																																												
2	「Yomokka!」を活用したPOP作り	7/27 (土)	7人																																												
3	砂州クリーン活動、月浜沢川の生き物観察	8/24 (土)	10人																																												
4	石巻青果花き地方卸売市場の見学	9/7 (土)	13人																																												
5	オランダ式次世代施設農園の見学と収穫体験	10/5 (土)	10人																																												
6	石ノ森萬画館見学、街歩き	11/9 (土)	12人																																												
7	おしかホエールランド見学 閉講式	12/7 (土)	13人																																												
			延べ	77人																																											
成果	参加者数は、目標に達しなかったが、参加者満足度については目標を達成することができた。ふるさと子どもカレッジに参加して、「石巻のことが好きになった」と回答する児童が約8割、「変わらない」と回答していた児童も「もともと好きだったから」と話していたことから、本事業の主たる目的「ふるさとを愛し誇りに思う子どもの育成」は達成されている。																																														
	※ 参加者満足度（全活動終了後に行った参加者アンケート結果）【目標値：100%】 ・質問事項 「今年度のふるさと子どもカレッジを通して石巻のことがより好きになったか」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>とても好きになった</th> <th>少し好きになった</th> <th>あまり変わらない</th> <th>変わらない</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答者数</td> <td>8人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>回答率</td> <td>61.5%</td> <td>15.4%</td> <td>0.0%</td> <td>23.1%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>満足度</td> <td colspan="4"></td> <td>76.9%</td> </tr> </tbody> </table>								選択肢	とても好きになった	少し好きになった	あまり変わらない	変わらない	計	回答者数	8人	2人	0人	3人	13人	回答率	61.5%	15.4%	0.0%	23.1%	100.0%	満足度					76.9%															
選択肢	とても好きになった	少し好きになった	あまり変わらない	変わらない	計																																										
回答者数	8人	2人	0人	3人	13人																																										
回答率	61.5%	15.4%	0.0%	23.1%	100.0%																																										
満足度					76.9%																																										
成果に係る評価	次代を担う子どもたちが、本市の自然・文化・歴史・産業を知り、体験をすることは、故郷石巻を知り、考える機会につながっており、また、学校外の集団活動を通して協調性を育むことができるなど、本事業は学校の授業では得られない貴重な経験ができるため、継続して実施していく必要がある。周知方法の多様化、オンライン申込みを導入したものの、参加した子どもやその保護者には好評である一方、申込者数は目標に達していない。令和6年度に、4・5年生児童（令和7年度参加対象児童）へ事業アンケートを行ったところ認知度が4%と非常に低いことが分かったことから、さらに対象学年の児童とその保護者へ開催情報や活動内容などの情報が届くような広報活動を検討する。また、アンケートからものづくりの活動をしてみたいという回答が5割を超えていたため、回答を参考により充実した活動プログラムを企画し提供していく。																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	107,000	27,495	17,000			10,495																																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	放課後子ども教室推進事業												
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち											
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進											
	事業	放課後子ども教室推進事業費		( 1 )	地域で支える教育活動を支援する											
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P97												
目的及び事業内容	子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、市内小学校区において公共施設等を活用し、安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得ながら、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取組むことで、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。															
取組実績	1 和小っ子クラブ（運営：河南地域住民自治協議会和渚地区部会）															
	(1) 対象児童 和渚小学校区児童 (2) 活動実績 <table border="1"> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日数</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> <tr> <td>体験活動、学習支援など</td> <td>15日</td> <td>367人</td> <td>188人</td> </tr> </table>								活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）	体験活動、学習支援など	15日	367人	188人
活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）													
体験活動、学習支援など	15日	367人	188人													
取組実績	2 Bremen（運営：放課後こどもクラブBremen）															
	(1) 対象児童 石巻小学校区児童 (2) 活動実績 <table border="1"> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日数</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> <tr> <td>体験活動、学習支援など</td> <td>35日</td> <td>499人</td> <td>168人</td> </tr> </table>								活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）	体験活動、学習支援など	35日	499人	168人
活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）													
体験活動、学習支援など	35日	499人	168人													
取組実績	3 チャレンジキッズ in へびた（運営：CSサポートみやぎ）															
	(1) 対象児童 蛇田小学校区児童 (2) 活動実績 <table border="1"> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日数</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> <tr> <td>体験活動、学習支援など</td> <td>10日</td> <td>229人</td> <td>42人</td> </tr> </table>								活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）	体験活動、学習支援など	10日	229人	42人
活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）													
体験活動、学習支援など	10日	229人	42人													
取組実績	4 チャレンジキッズ in こうよう（運営：CSサポートみやぎ）															
	(1) 対象児童 向陽小学校区児童 (2) 活動実績 <table border="1"> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日数</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> <tr> <td>体験活動、学習支援など</td> <td>10日</td> <td>137人</td> <td>55人</td> </tr> </table>								活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）	体験活動、学習支援など	10日	137人	55人
活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）													
体験活動、学習支援など	10日	137人	55人													
成果	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">4教室の合計</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>1,232人</td> <td>453人</td> </tr> </table>								4教室の合計		参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）			1,232人	453人
	4教室の合計		参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）												
		1,232人	453人													
成果	放課後子ども教室の開設数は令和5年度と同数であったが、参加する児童数、ボランティア数は増加した。年度初めの計画通りに活動が行われており、活動は基本的に、放課後の時間帯を利用しているが、休日を活用して子どもたちの学びの場を提供した教室もあった。また、異年齢の交流を通して、それぞれの役割を自覚し、進んで行動する高学年の姿も見られるなど、責任感や思いやりの気持ちが育まれていること、どの活動においても興味関心を持ち、楽しんで取り組む姿が多く見られた。地域ボランティア以外の住民の参画や他地域の住民が活動の様子を見学に来る様子も見られ、地域コミュニティの充実も図られてきている。															
	成果に係る評価	令和5年度と比較して実施回数は減少したものの、参加児童数は増加傾向にあり、放課後子ども教室の活動への関心が高まっているほか、地域の方々も協力を惜しまず、本事業に参画することに生きがいを見出しており、地域の教育力の向上にも繋がっている。また、教室に参加した児童のアンケート結果を見ると、活動内容に満足している意見が多く、異年齢交流のよさが参加児童にも伝わっているものとする。今後も、放課後子ども教室推進事業の周知を図り、開設数を増やしていくとともに、各教室との連携等により、地域住民の協力を得ながら子どもたちが健やかに育まれる環境づくりに取り組んでいく。														
予算の執行状況	(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	1,408,000	795,882	527,000			268,882										

予算科目	10 款	教育費	事業名	国指定名勝齋藤氏庭園整備事業																																				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																			
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																			
	事業	齋藤氏庭園整備事業費		( 1 )	生涯学習環境を強化する																																			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 100																																				
目的及び事業内容		国指定名勝齋藤氏庭園の保存・活用を図り、文化財として次世代に継承するため、整備事業を実施する。																																						
取組実績		<p>国指定名勝齋藤氏庭園は、令和3年度（令和2年度の繰越）に東日本大震災に被災した箇所への復旧を目的とした災害復旧事業を完了し、令和3年度より保存・活用を図るため整備事業を開始した。令和6年度は、齋善資料館として公開している前倉庫の耐震診断を業務委託により実施した。これは、今後整備基本計画の策定にあたり、建造物の内部利用が可能かを含めた公開方針の検討や、建造物の耐震工事を行うために必要な業務である。</p> <p>保存・活用に関する事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内 容</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">事業費内訳</th> </tr> <tr> <th>国補助</th> <th>県補助</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>正門の修復</td> <td>7,994,515円</td> <td>3,997,000円</td> <td>—</td> <td>3,997,515円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>庭園内の灯籠を修復</td> <td>2,046,000円</td> <td>1,432,000円</td> <td>307,000円</td> <td>307,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>広間の耐震診断</td> <td>5,555,000円</td> <td>2,777,000円</td> <td>555,000円</td> <td>2,223,000円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>前倉庫の耐震診断</td> <td>7,480,000円</td> <td>3,740,000円</td> <td>748,000円</td> <td>2,992,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補助率：国庫補助1/2、県補助金1/10。 令和4年度は福島県沖地震による災害復旧のため補助率が異なる。</p>						年度	内 容	事業費	事業費内訳			国補助	県補助	一般財源	R3	正門の修復	7,994,515円	3,997,000円	—	3,997,515円	R4	庭園内の灯籠を修復	2,046,000円	1,432,000円	307,000円	307,000円	R5	広間の耐震診断	5,555,000円	2,777,000円	555,000円	2,223,000円	R6	前倉庫の耐震診断	7,480,000円	3,740,000円	748,000円	2,992,000円
年度	内 容	事業費	事業費内訳																																					
			国補助	県補助	一般財源																																			
R3	正門の修復	7,994,515円	3,997,000円	—	3,997,515円																																			
R4	庭園内の灯籠を修復	2,046,000円	1,432,000円	307,000円	307,000円																																			
R5	広間の耐震診断	5,555,000円	2,777,000円	555,000円	2,223,000円																																			
R6	前倉庫の耐震診断	7,480,000円	3,740,000円	748,000円	2,992,000円																																			
成 果		前倉庫（齋善資料館）の耐震診断を実施し、建物の補強案を作成したことにより、今後の保存活用・整備基本計画策定のために必要なデータを得ることができた。																																						
成果に係る評価		耐震診断により得られたデータを活用し、一般公開の方針や整備の優先順位を定めた整備基本計画を策定のうえ、計画的に整備を進める必要があることから、事業を継続する必要がある。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	7,559,000	7,480,000	4,488,000			2,992,000																																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市指定文化財旧観慶丸商店漏水改修事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進		
	事業	旧観慶丸商店管理運営費		( 1 )	生涯学習環境を強化する		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		—			
目的及び事業内容		旧観慶丸商店における風雨による漏水対策のための改修工事を実施する。					
取組実績		<p>旧観慶丸商店は、市の指定文化財であり中心市街地における文化発信拠点として重要な施設であるが、風を伴う雨の日に1階展示スペースの壁際、東階段他から漏水が発生している状況にあったことから、市民をはじめ多くの方に安心して利用してもらうため、漏水対策のための改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容：壁面の亀裂等の塗装、錆や欠けが発生している屋根や、垂れ下がりが発生し落下の危険性が生じている1階底の葺き替え</li> <li>・ 工 期：令和6年2月13日～令和6年7月31日</li> <li>・ 請負金額：17,050,000円</li> <li>    R5：7,670,000円</li> <li>    R6：9,380,000円</li> </ul>					
成 果		壁面の亀裂や屋根の錆などの経年劣化が見られた箇所や、危険性が高い1階底など危険性が高い箇所を改修したことにより、風雨時の漏水状況が改善されただけでなく施設の安全性と利便性を高めることができ、施設利用者の利便性が高まるとともに、市指定文化財の保存状況の改善に資することができた。					
成果に係る評価		ここ数年の懸念事項となっていた施設の雨漏りや、経年劣化による破損や危険性が高い箇所を改修することができたことから、引き続き指定管理施設としての利活用の促進と市指定文化財としての保存・展示に取り組んでいく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	9,380,000	9,380,000				9,380,000	

予算科目	10 款	教育費	事業名		旧親慶丸商店管理運営事業													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち													
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進													
	事業	旧親慶丸商店管理運営費		( 1 )	生涯学習環境を強化する													
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		—														
目的及び事業内容		市指定文化財である旧親慶丸商店の保護及び保存を図るとともに、本市の歴史文化の展示施設及び中心市街地における市民の文化交流施設として利活用するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																
取組実績		<p>1 施設管理者による施設運営事業</p> <p>(1) 指定管理者 一般社団法人 I S H I N O M A K I 2.0</p> <p>(2) 指定管理料 9,910,000円</p> <p>(3) 指定期間 R5.4.1～R10.3.31 (5年間)</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケート結果として、「館内の展示の充実」等が求められていたことから、館内に「見所サイン」を設置・更新した。</li> <li>1階の文化交流スペース利用者の許可を得て、SNSや公式ホームページに催事情報として掲載することで利用者の周知支援と来場者増に努めた。</li> <li>他施設で開催されている催し物の案内のほか、初めて本市を訪れた方に有益な情報を提供するよう取り組んだ。</li> </ul> <p>3 利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,787人</td> <td>12,957人</td> <td>10,361人</td> <td>9,497人</td> <td>8,109人</td> </tr> </tbody> </table>							R2	R3	R4	R5	R6	4,787人	12,957人	10,361人	9,497人	8,109人
R2	R3	R4	R5	R6														
4,787人	12,957人	10,361人	9,497人	8,109人														
成果		指定管理者による施設の管理運営を行い、施設利用者の利便性向上のための施設案内等に積極的に取り組むなどの運営を行った。 R6年度については、施設外側全体に足場を組んで雨漏り修繕工事を実施したこともあり、来館者や施設利用者が減少した。																
成果に係る評価		利用者が減少傾向にあることから、これまで以上にWEBサイトやSNSなどを利用した情報発信を行うとともに、指定管理者と定期的な打合せを行い、しっかりと情報共有をしながら、利用者の利便性向上に努めていく。 また、来街者が気軽に立ち寄っていただけるよう、お休み処としての利用等についても周知に努めていく。																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	9,910,000		9,910,000					9,910,000										

予算科目	10 款	教育費	事業名		日本遺産「みちのくGOLD浪漫」普及啓発推進事業																						
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																						
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																						
	事業	みちのくGOLD浪漫普及啓発推進事業費		( 1 )	生涯学習環境を強化する																						
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P100																							
目的及び事業内容		令和4年7月29日に本市の構成文化財群「金華山詣」、「金華山道」が宮城県涌谷町、気仙沼市、南三陸町、岩手県陸前高田市、平泉町の2市3町を構成市町とする日本遺産「みちのくGOLD浪漫」への追加認定を受けたことに伴い、市民をはじめ国内外への「認知」を主眼にした当該事業に係る普及啓発活動を実施する。																									
取組実績		<p>市民向けの講座、博物館講座を実施し、市民への普及啓発を行ったほか、構成自治体や観光部門と連携したイベントへのブース出展等によるPR活動を実施し、認知度の向上を図った。</p> <p>また、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会及び構成市町村の協力を得て、石巻市博物館において、地域に埋もれていた歴史の再発見、とりわけ本市に関係する「金華山詣」、「金華山道」のほか、戦国末から近世初期を中心とした産金の実態を資料に基づき展示する企画展を開催した。</p> <p>1 講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>参加人数</th> <th>開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座</td> <td>11人</td> <td>6月26日</td> </tr> <tr> <td>博物館講座</td> <td>100人</td> <td>3月1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 PR・啓発活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本遺産フェスティバル</td> <td>開催地：会津若松市</td> </tr> <tr> <td>第10回石巻市博物館企画展</td> <td>テーマ：「みちのくの金と金華山」</td> </tr> <tr> <td>日本遺産の日PRイベント</td> <td>開催地：京都市</td> </tr> <tr> <td>みちのくGOLD浪漫シンポジウム2025</td> <td>開催地：南三陸町</td> </tr> </tbody> </table>							区分	参加人数	開催日	出前講座	11人	6月26日	博物館講座	100人	3月1日	区分	備考	日本遺産フェスティバル	開催地：会津若松市	第10回石巻市博物館企画展	テーマ：「みちのくの金と金華山」	日本遺産の日PRイベント	開催地：京都市	みちのくGOLD浪漫シンポジウム2025	開催地：南三陸町
区分	参加人数	開催日																									
出前講座	11人	6月26日																									
博物館講座	100人	3月1日																									
区分	備考																										
日本遺産フェスティバル	開催地：会津若松市																										
第10回石巻市博物館企画展	テーマ：「みちのくの金と金華山」																										
日本遺産の日PRイベント	開催地：京都市																										
みちのくGOLD浪漫シンポジウム2025	開催地：南三陸町																										
成果		市民向けの講座や博物館講座の実施のほか、「みちのくGOLD浪漫」をテーマとした第10回石巻市博物館企画展を初めて開催したところ、来場者数は1,042人となり、一定の市民等への普及啓発が図られたものと考えられる。																									
成果に係る評価		日本遺産「みちのくGOLD浪漫」や、みちのくの金にまつわるストーリーに関する認知度は、まだ低いと見られ、継続して認知度向上に向けた取組を推進していくとともに、市内における産金遺産の調査等を進めていく。																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																						
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	674,000		402,617					402,617																			

予算科目	10 款	教育費	事業名		読書環境整備事業〔復興基金〕												
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち												
	4 目	図書館費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進												
	事業	図書館活動費		( 2 )	読書の推進・環境を整備する												
担当部課	教育委員会図書館	実施計画掲載ページ		P 101													
目的及び事業内容	公立図書館として図書館法第3条に基づき、図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、読書推進、調査研究、レクレーション等に資することを目的とする。 ・ 図書の整備、郷土資料の収集 ・ 子どもの読書推進事業 ・ 学校支援事業 ・ 教養講座等の開催																
取組実績	読書環境整備事業を実施した。 1 図書の整備 新刊書・児童書・郷土関係資料を中心に、図書館で選定した図書を購入するとともに、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、利用に供した。自館の資料で対応できないリクエストには宮城県図書館等他館から借受けて対応した。除籍本の無償譲渡について昨年同様通年で行った。 2 子どもの読書推進事業 本館・河北・桃生分館において、ボランティアとの協働により「おはなし会」を実施した。また、出張図書館「えほんびより」は子育て支援センター及び子育て支援施設において読み聞かせを行うとともに、保護者に対して絵本の選び方や読み方を指導し、読書習慣の重要性を周知した。 3 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施し、また、学校図書室の充実に向け学校司書の研修を行った。 4 講座・教室・企画展の実施 郷土史講座や読み聞かせボランティアのスキルアップを目的とした講座、企画展等を開催した。外部との連携事業として、ポプラ社との包括連携協定に係る事業と定住自立圏に係る事業も行った。																
成果	1 図書の整備																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>7,517冊</td> <td>7,326冊</td> <td>7,252冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>265,416冊</td> <td>269,016冊</td> <td>273,006冊</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R4	R5	R6	図書購入冊数	7,517冊	7,326冊	7,252冊	貸出冊数	265,416冊	269,016冊
年度	R4	R5	R6														
図書購入冊数	7,517冊	7,326冊	7,252冊														
貸出冊数	265,416冊	269,016冊	273,006冊														
成果に係る評価	2 子どもの読書推進事業																
	おはなし会の開催（本館、河北分館、桃生分館） 延参加者数832人 出張図書館「えほんびより」の開催 9団体延参加者数312人 3 学校支援事業 学級貸出：小学校7校 2,750冊、 学習支援貸出：小学校3校 125冊、 学校司書研修：2回 4 講座・教室・企画展の実施 ・ ボランティア講座（5月19日、3月16日） 39人参加 ・ 教養講座（6月23日、12月22日） 35人参加 ・ 手作り絵本教室（7月21日、7月28日） 21人参加 ・ 郷土史講座（11月3日） 23人参加 ・ 宮西達也作品展（7月23日～9月1日） 1,036人来館 ・ 宮西達也講演会（9月7日） 184人参加 ・ 「手作り絵本展」＋企画展「お金・Money・マネー」（11月1日～12月1日）1,404人来館 ・ 定住自立圏に係るイベント（スタンブラリー、本の福袋）（12月24日～2月28日）75組参加																
成果に係る評価	・ 利用者にとって魅力ある資料の収集と、その情報発信、また、相互貸借サービスの利用などを通じ貸出冊数は前年度と比べて増加した。引き続き、市民の読書活動推進を図る必要がある。 ・ 昨年に続き、除籍本の無償譲渡を通年で行い、利用者の利便性と廃棄本の有効活用を図ることができた。 ・ 出張図書館「えほんびより」を行い子どもの読書活動を推進することができた。 ・ ポプラ社との包括連携協定に係る事業と定住自立圏に係る事業を開催し、より広範囲で読書活動推進が図られた。																
予算の執行状況	(単位：円)																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
29,369,827	28,871,128			12,350,000	16,521,128												

予算科目	10 款	教育費	事業名		複合文化施設管理運営事業																																																												
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																												
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																																												
	事業	複合文化施設管理費		( 1 )	生涯学習環境を強化する																																																												
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		-																																																													
目的及び事業内容	芸術文化の振興、創造及び交流を図り、もって市民生活の向上に寄与するとともに、利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																																
取組実績	1 施設管理者による施設運営事業																																																																
	(1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 (2) 指定管理料 269,000,000円 (3) 指定期間 R2.4.1～R7.3.31（5年間）																																																																
取組実績	2 施設管理運営事業																																																																
	・ 独自に運営しているホームページを活用した分かりやすい施設情報の提供に努めるとともに、利用者からの問合せや質問等に懇切丁寧に対応することで、施設の利用促進を図った。 ・ 利用者の満足度を高めるため、演目に合わせた助言を積極的に行うことで、施設の特性を最大限活かした公演となるよう努めた。																																																																
取組実績	3 利用者の推移																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール（ホワイエ含む）</td> <td>46,813人</td> <td>44,410人</td> <td>33,455人</td> </tr> <tr> <td>中ホール</td> <td>12,114人</td> <td>12,768人</td> <td>13,435人</td> </tr> <tr> <td>小ホール（ホワイエ含む）</td> <td>21,928人</td> <td>23,137人</td> <td>22,580人</td> </tr> <tr> <td>各研修室</td> <td>12,372人</td> <td>15,258人</td> <td>20,712人</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>1,111人</td> <td>1,226人</td> <td>1,957人</td> </tr> <tr> <td>各活動室</td> <td>3,723人</td> <td>3,936人</td> <td>5,488人</td> </tr> <tr> <td>市民ギャラリー</td> <td>10,301人</td> <td>16,664人</td> <td>17,734人</td> </tr> <tr> <td>創作室・アトリエ</td> <td>2,734人</td> <td>3,307人</td> <td>4,848人</td> </tr> <tr> <td>楽屋・控室</td> <td>9,221人</td> <td>6,226人</td> <td>6,402人</td> </tr> <tr> <td>資料閲覧室</td> <td>1,742人</td> <td>1,896人</td> <td>2,037人</td> </tr> <tr> <td>常設展示室</td> <td>6,578人</td> <td>13,792人</td> <td>5,711人</td> </tr> <tr> <td>企画展示室</td> <td>4,451人</td> <td>9,854人</td> <td>6,876人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>186人</td> <td>-</td> <td>1,540人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>133,274人</td> <td>152,474人</td> <td>142,775人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	R4	R5	R6	大ホール（ホワイエ含む）	46,813人	44,410人	33,455人	中ホール	12,114人	12,768人	13,435人	小ホール（ホワイエ含む）	21,928人	23,137人	22,580人	各研修室	12,372人	15,258人	20,712人	和室	1,111人	1,226人	1,957人	各活動室	3,723人	3,936人	5,488人	市民ギャラリー	10,301人	16,664人	17,734人	創作室・アトリエ	2,734人	3,307人	4,848人	楽屋・控室	9,221人	6,226人	6,402人	資料閲覧室	1,742人	1,896人	2,037人	常設展示室	6,578人	13,792人	5,711人	企画展示室	4,451人	9,854人	6,876人	その他	186人	-	1,540人	合計	133,274人	152,474人
区 分	R4	R5	R6																																																														
大ホール（ホワイエ含む）	46,813人	44,410人	33,455人																																																														
中ホール	12,114人	12,768人	13,435人																																																														
小ホール（ホワイエ含む）	21,928人	23,137人	22,580人																																																														
各研修室	12,372人	15,258人	20,712人																																																														
和室	1,111人	1,226人	1,957人																																																														
各活動室	3,723人	3,936人	5,488人																																																														
市民ギャラリー	10,301人	16,664人	17,734人																																																														
創作室・アトリエ	2,734人	3,307人	4,848人																																																														
楽屋・控室	9,221人	6,226人	6,402人																																																														
資料閲覧室	1,742人	1,896人	2,037人																																																														
常設展示室	6,578人	13,792人	5,711人																																																														
企画展示室	4,451人	9,854人	6,876人																																																														
その他	186人	-	1,540人																																																														
合計	133,274人	152,474人	142,775人																																																														
成果	大ホールの利用者や博物館の企画展・特別展の来場者が減少したことで全体の利用者数は減少したものの、市民が主体的に活動する施設利用としての各研修室や活動室、創作室・アトリエの利用は増加しており、文化芸術振興の一助として、また、活動拠点としての機能が果たされつつある。																																																																
成果に係る評価	令和7年度から指定管理者が変更となったことから、新たな指定管理者と随時情報共有を図りながら、民間のノウハウを活かした施設の管理運営、文化芸術事業の企画・実施を行っていく。																																																																
予算の執行状況	(単位：円)																																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
269,000,000	269,000,000			7,998,956	261,001,044																																																												

予算科目	10 款	教育費	事業名	博物館資料調査整理事業																																									
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																								
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																								
	事業	博物館資料調査整理事業費		( 1 )	生涯学習環境を強化する																																								
担当部課	教育委員会博物館	実施計画掲載ページ		P 100																																									
目的及び事業内容	旧石巻文化センター資料及び毛利コレクションの全体像を把握するため、資料の整理作業を実施する。 過去の調査データとの突合せを行い、収蔵資料を適正な状態で管理できる体制を整え、文化財の展示・公開につなげ次代へ継承していく。																																												
取組実績	<p>1 毛利コレクション調査・整理 (1) 研究資料 857点の写真撮影・目録作成 (2) 考古資料 博物館展示監修者等の協力のもと、考古資料の目録作成に向けた調査を実施 (3) アイヌ資料 全710点について、共同研究に関する覚書を締結した国立アイヌ民族博物館との調査を実施 なお、書簡に関する報告書刊行に向け調整中</p> <p>2 旧石巻文化センター所蔵資料の再整理 自治体史編纂時に採集した板碑拓本の一部について、法量の計測などの調査を実施</p> <p>3 新収蔵資料の整理 寄贈資料の点数整理、詳細研究のための基本整理を実施</p> <p>4 民俗資料調査 宮城民俗 commons（県内の民俗資料保有博物館等で構成）における民俗資料調査の実施 150点の資料調査及び写真撮影 現在、東北歴史博物館HP内、宮城民俗 commons コーナーで公開中</p>																																												
成果	<p>調査件数及びシステム登録件数ともに大幅に目標値を上回る結果となったが、博物館資料の総点数は13万点を超過しており、今後も継続的かつ計画的に調査を進めていく必要がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">調査件数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">システム登録件数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,000件</td> <td>1,467件</td> <td>146.70%</td> <td>1,000件</td> <td>93件</td> <td>9.30%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,000件</td> <td>5,797件</td> <td>289.85%</td> <td>1,000件</td> <td>357件</td> <td>35.70%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2,000件</td> <td>3,449件</td> <td>172.45%</td> <td>1,000件</td> <td>4,244件</td> <td>424.40%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2,000件</td> <td>2,540件</td> <td>127.00%</td> <td>1,000件</td> <td>3,205件</td> <td>320.50%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	調査件数		達成率	システム登録件数		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R3	1,000件	1,467件	146.70%	1,000件	93件	9.30%	R4	2,000件	5,797件	289.85%	1,000件	357件	35.70%	R5	2,000件	3,449件	172.45%	1,000件	4,244件	424.40%	R6	2,000件	2,540件	127.00%	1,000件	3,205件	320.50%
年度	調査件数		達成率	システム登録件数		達成率																																							
	目標値	実績		目標値	実績																																								
R3	1,000件	1,467件	146.70%	1,000件	93件	9.30%																																							
R4	2,000件	5,797件	289.85%	1,000件	357件	35.70%																																							
R5	2,000件	3,449件	172.45%	1,000件	4,244件	424.40%																																							
R6	2,000件	2,540件	127.00%	1,000件	3,205件	320.50%																																							
成果に係る評価	<p>歴史分野の学芸員を増員したことによって、目標値を上回ることができたものの、未調査の所蔵資料、受入が続く資料寄贈、これらを含めた総点数からすると、調査完了には時間を要することから、引き続き専門機関との連携、協力を得ながら調査を進めていく必要がある。 博物館所蔵資料は、展示公開を前提として進める必要もあることから、企画展や特別展、特集展と連動させながら調査整理を行い、その成果を市民に還元していく。</p>																																												
予算の執行状況	(単位:円)																																												
予算額	8,524,300	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
		8,322,972				8,322,972																																							

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市博物館企画展・特別展事業																							
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																						
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																						
	事業	博物館企画展・特別展事業費		( 1 )	生涯学習環境を強化する																						
担当部課	教育委員会博物館	実施計画掲載ページ		P 101																							
目的及び事業内容	令和3年11月3日に開館した石巻市博物館において、企画展・特別展を年間3回程度開催し、市民に文化・芸術に触れる場を提供することで、石巻市の歴史・文化に対する理解を深めるとともに、心の豊かさの醸成を図る。																										
取組実績	<p>【令和6年度企画展・特別展の開催実績】</p> <p>1 自主企画「文化財レスキュー+新収蔵展」 会期：令和6年3月9日（土）～5月6日（月） 主催：石巻市博物館</p> <p>2 第8回企画展「杜鹿柵、桃生城と海道の蝦夷の反乱—神亀元年から1300年、宝亀五年から1250年—」 会期：令和6年6月1日（土）～7月21日（日） 主催：石巻市博物館 監修：東北学院大学文学部非常勤講師・同大学博物館学芸員 佐藤敏幸 氏</p> <p>3 第9回特別展「移動美術館 佐藤忠良展—宮城県美術館コレクションから—」 会期：令和6年8月3日（土）～9月29日（日） 主催：石巻市博物館・宮城県美術館</p> <p>4 武蔵野美術大学連携「森と海の実験展」 会期：令和6年11月17日（日）～12月15日（日） 主催：石巻市博物館 共催：武蔵野美術大学</p> <p>5 第10回企画展「みちのくの金と金華山」 会期：令和7年1月25日（土）～3月23日（日） 主催：石巻市博物館 共催：日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」推進協議会</p>																										
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>展示会名</th> <th>観覧者数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主企画「文化財レスキュー+新収蔵展」</td> <td>728人</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>第8回企画展「杜鹿柵、桃生城と海道の蝦夷の反乱」</td> <td>1,072人</td> <td>88.7%</td> </tr> <tr> <td>第9回特別展「移動美術館 佐藤忠良展」</td> <td>3,090人</td> <td>87.0%</td> </tr> <tr> <td>武蔵野美術大学連携「森と海の実験展」</td> <td>944人</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>第10回企画展「みちのくの金と金華山」</td> <td>1,042人</td> <td>87.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,876人</td> <td>85.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>観覧者総数及び満足度は、石巻市総合計画の目標値を上回っている。 昨年度と比較すると観覧者数は減少しているものの、全体的に高い評価であると思われることから、市民等に対し、歴史や文化、芸術に触れる機会を提供できている。</p>						展示会名	観覧者数	満足度	自主企画「文化財レスキュー+新収蔵展」	728人	85.0%	第8回企画展「杜鹿柵、桃生城と海道の蝦夷の反乱」	1,072人	88.7%	第9回特別展「移動美術館 佐藤忠良展」	3,090人	87.0%	武蔵野美術大学連携「森と海の実験展」	944人	80.0%	第10回企画展「みちのくの金と金華山」	1,042人	87.3%	計	6,876人	85.8%
展示会名	観覧者数	満足度																									
自主企画「文化財レスキュー+新収蔵展」	728人	85.0%																									
第8回企画展「杜鹿柵、桃生城と海道の蝦夷の反乱」	1,072人	88.7%																									
第9回特別展「移動美術館 佐藤忠良展」	3,090人	87.0%																									
武蔵野美術大学連携「森と海の実験展」	944人	80.0%																									
第10回企画展「みちのくの金と金華山」	1,042人	87.3%																									
計	6,876人	85.8%																									
成果に係る評価	<p>昨年度より、観覧者数は減少しているものの、満足度は比較的高水準で推移している。 この要因は、学芸員の経験が蓄積されてきたことと考えており、集客のための周知の工夫、アンケート調査結果などを展示に反映しつつ、細かい部分にも配慮ができてきたものと考えている。 企画展、特別展は、その内容によって来場者数に差が生じており、世代を問わず興味を持つ内容の展示については多くの方が、地域史をはじめとする歴史、文化に関する展示は興味を持つ方が来場されている。 なお、来場者アンケートの結果からすると、市民の来場者比率は3～4割程度と推察され、博物館に対する認知度は依然として高くないことから、さらに市民に足を運んでいただけるような魅力ある博物館運営と周知・広報に努めていく。</p>																										
予算の執行状況	(単位:円)																										
予算額	9,474,073	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
		8,826,742				8,800,000	26,742																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	河北総合センター管理運営事業																																													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																												
	8 目	社会教育施設管理費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																												
	事業	河北総合センター管理費		( 1 )	生涯学習環境を強化する																																												
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		—																																													
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																															
取組実績		<p>1 施設管理者による施設運営事業</p> <p>(1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団</p> <p>(2) 指定管理料 73,200,000円</p> <p>(3) 指定期間 R3.4.1～R7.3.31 (4年間)</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ等を活用し、施設の利用案内や利用状況、利用手続きに係る様式、芸術文化活動の開催情報の閲覧など手軽に情報を得られるよう内容の充実を図った。</li> <li>利用団体等のスタイルや要望への柔軟な対応に心がけ、また、地域の各種イベント等への協力など、地域に貢献できる施設運営に努めた。</li> </ul> <p>3 利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋含む）</td> <td>6,564人</td> <td>11,191人</td> <td>11,299人</td> <td>18,665人</td> <td>19,369人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>15,862人</td> <td>22,749人</td> <td>21,155人</td> <td>18,607人</td> <td>22,674人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>940人</td> <td>1,517人</td> <td>2,147人</td> <td>2,155人</td> <td>2,501人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>5,674人</td> <td>16,072人</td> <td>7,962人</td> <td>6,969人</td> <td>6,990人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>14,564人</td> <td>14,057人</td> <td>21,884人</td> <td>32,147人</td> <td>32,179人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>43,604人</td> <td>65,586人</td> <td>64,447人</td> <td>78,543人</td> <td>83,713人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	R2	R3	R4	R5	R6	ホール（楽屋含む）	6,564人	11,191人	11,299人	18,665人	19,369人	アリーナ	15,862人	22,749人	21,155人	18,607人	22,674人	トレーニング室	940人	1,517人	2,147人	2,155人	2,501人	柔剣道場	5,674人	16,072人	7,962人	6,969人	6,990人	会議室等その他の部屋	14,564人	14,057人	21,884人	32,147人	32,179人	合計	43,604人	65,586人	64,447人	78,543人	83,713人
区 分	R2	R3	R4	R5	R6																																												
ホール（楽屋含む）	6,564人	11,191人	11,299人	18,665人	19,369人																																												
アリーナ	15,862人	22,749人	21,155人	18,607人	22,674人																																												
トレーニング室	940人	1,517人	2,147人	2,155人	2,501人																																												
柔剣道場	5,674人	16,072人	7,962人	6,969人	6,990人																																												
会議室等その他の部屋	14,564人	14,057人	21,884人	32,147人	32,179人																																												
合計	43,604人	65,586人	64,447人	78,543人	83,713人																																												
成 果		指定管理者と随時協議を行いながら利用者のニーズに即した施設運営を行ったことで、サービスの向上が図られ、利用者数の増加につながった。																																															
成果に係る評価		令和7年度から指定管理者が変更となったこと、また、コロナ禍前の利用状況までには至っていないことから、指定管理者と定期的に協議を行いながら、民間のノウハウを活かした施設の管理運営を行うことで、利用者数の増加、満足度の向上に努めていく。																																															
(単位：円)																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	73,200,000	73,200,000					73,200,000																																										

予算科目	10 款	教育費	事業名	遊楽館管理運営事業																																																						
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																					
	8 目	社会教育施設管理費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																																					
	事業	遊楽館管理費		( 1 )	生涯学習環境を強化する																																																					
担当部課	市民生活部スポーツ振興課 教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		—																																																						
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上や各種教室等を通じて青少年の健全育成に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																								
取組実績		<p>1 指定管理者による施設管理運営事業</p> <p>(1) 遊楽館 指定管理者：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 指定管理料：90,200,000円 指定期間：R3.4.1～R7.3.31 (4年間)</p> <p>(2) 河南室内プール 指定管理者：石巻市スポーツ協会・ミズノグループ 指定管理料：17,500,000円 指定期間：R4.4.1～R9.3.31 (5年間)</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 遊楽館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやSNSを活用した施設情報の提供を行うとともに、利用団体等のニーズに即した柔軟な対応に努めた。</li> <li>河南室内プール</li> <li>屋内プールを適切に管理運営するとともに、事業者のノウハウを活かした子ども向けの走り方教室や成人を対象としたフィットネス教室等を開催し新規利用者の開拓、集客に努めた。</li> <li>幼児から高齢者まで、各年代層の幅広いニーズに対応した生涯スポーツプログラムの提供により青少年の健全育成及び各世代の健康増進に寄与した。</li> </ul> <p>3 利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>区 分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">遊楽館</td> <td>ホール・楽屋・リハ室</td> <td>8,597人</td> <td>13,785人</td> <td>17,178人</td> <td>20,729人</td> <td>20,069人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>15,850人</td> <td>18,846人</td> <td>22,850人</td> <td>25,217人</td> <td>26,390人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>2,097人</td> <td>1,929人</td> <td>3,205人</td> <td>3,606人</td> <td>4,058人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>6,453人</td> <td>6,804人</td> <td>9,730人</td> <td>38,620人</td> <td>45,942人</td> </tr> <tr> <td>調理室・多目的室等</td> <td>1,496人</td> <td>2,083人</td> <td>6,602人</td> <td>8,599人</td> <td>21,972人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34,493人</td> <td>43,447人</td> <td>59,565人</td> <td>96,771人</td> <td>118,431人</td> </tr> <tr> <td>河南室内プール</td> <td>プール</td> <td>18,844人</td> <td>14,618人</td> <td>34,684人</td> <td>33,009人</td> <td>33,925人</td> </tr> </tbody> </table>						施設名	区 分	R2	R3	R4	R5	R6	遊楽館	ホール・楽屋・リハ室	8,597人	13,785人	17,178人	20,729人	20,069人	アリーナ	15,850人	18,846人	22,850人	25,217人	26,390人	トレーニング室	2,097人	1,929人	3,205人	3,606人	4,058人	会議室・和室	6,453人	6,804人	9,730人	38,620人	45,942人	調理室・多目的室等	1,496人	2,083人	6,602人	8,599人	21,972人	合計	34,493人	43,447人	59,565人	96,771人	118,431人	河南室内プール	プール	18,844人	14,618人	34,684人	33,009人	33,925人
施設名	区 分	R2	R3	R4	R5	R6																																																				
遊楽館	ホール・楽屋・リハ室	8,597人	13,785人	17,178人	20,729人	20,069人																																																				
	アリーナ	15,850人	18,846人	22,850人	25,217人	26,390人																																																				
	トレーニング室	2,097人	1,929人	3,205人	3,606人	4,058人																																																				
	会議室・和室	6,453人	6,804人	9,730人	38,620人	45,942人																																																				
	調理室・多目的室等	1,496人	2,083人	6,602人	8,599人	21,972人																																																				
	合計	34,493人	43,447人	59,565人	96,771人	118,431人																																																				
河南室内プール	プール	18,844人	14,618人	34,684人	33,009人	33,925人																																																				
成 果		<p>1 遊楽館</p> <p>指定管理者と随時協議を行いながら、利用者にホームページ等を活用した分かりやすい情報提供を行ったことで新規の利用者が増え、利用者数の増加につながった。</p> <p>2 河南室内プール</p> <p>指定管理者の構成団体であるミズノグループに所属するトップアスリートの知識や技術を、利用者が体験できる場を提供するなど、他の類似施設との差別化を図った。また、利用者アンケートを実施し、要望、意見等に速やかに対応した。市内各小学校の協力を得たスクール会員の勧誘など広報活動の充実を図り、減少傾向にあった会員数が増加、年間利用者数も前年度と比較して916人増加した。</p>																																																								
成果に係る評価		<p>1 遊楽館</p> <p>令和7年度から指定管理者が変更となったことから、指定管理者と定期的に協議を行いながら、民間のノウハウを活かした施設の管理運営を行うことで、利用者数の増加、満足度の向上に努めていく。</p> <p>2 河南室内プール</p> <p>利用者の声を事業に積極的に取り入れるなど、利用者目線での運営を行い会員数、利用者数共に増加している。しかし、燃料費、人件費等の高騰や施設の老朽化に伴う修繕料の増加により、指定管理者の経営、存続が益々厳しくなると見込まれる。</p>																																																								
(単位：円)																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	107,700,000	107,700,000					107,700,000																																																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	かなんパークゴルフ場管理運営事業													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち												
	8 目	社会教育施設管理費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進												
	事業	かなんパークゴルフ場運営費		( 2 )	スポーツ環境を整備する												
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		—													
目的及び事業内容	パークゴルフを通じて市民同士の親睦と交流を深め、スポーツの楽しさとふれあいの場を提供することにより、基礎体力向上や健康増進を図るとともに利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営を実施する。																
取組実績	<p>1 指定管理者による施設管理運営事業</p> <p>(1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク</p> <p>(2) 指定管理料 14,078,000円</p> <p>指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 利用者への指導、初心者講習会（随時）</p> <p>(2) 各種大会の開催</p> <p>(3) 快適なパークゴルフ場を目指すための施設整備（芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理、施設周辺の環境整備）</p> <p>(4) 夏の高温異常気象対策として、屋内休憩所に空調設備を設置</p> <p>(5) 利用者のニーズをアンケートなどで調査収集し、サービスの向上を図った。</p>																
成 果	<p>令和6年度の施設利用者数は、前年度と比較すると減少しており、県内に類似施設がオープンするなど、近隣パークゴルフ場へ利用者が分散傾向にある。</p> <p>その一方で、地域のコミュニティ活動や公民館の事業等にも数多く活用され、パークゴルフが身近な生涯スポーツとして広く浸透しており、地域交流にも大きく貢献した。令和5年度には全国大会の会場として全国各地から多くの選手が参加したほか、令和6年度も初心者向けの指導、自主事業として定期的に大会を企画するなど、技術の熟練度、年齢に関係なく利用者が快適に過ごせる施設管理に取り組んでおり、健康増進や競技スポーツの場として、年間約3万人の施設利用実績となり、スポーツ交流を通じた地域のコミュニティづくりや一定の市民の健康づくり（基礎体力の向上、メタボ予防、心のリフレッシュ、ストレス解消等）の推進に寄与することができた。</p> <p>施設利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,658人</td> <td>31,267人</td> <td>30,555人</td> <td>30,372人</td> <td>29,271人</td> </tr> </tbody> </table>							R2	R3	R4	R5	R6	29,658人	31,267人	30,555人	30,372人	29,271人
R2	R3	R4	R5	R6													
29,658人	31,267人	30,555人	30,372人	29,271人													
成果に係る評価	<p>近隣に類似施設が開設されたこともあり、施設利用者数が減少傾向にあるが、指定管理者において、日々コースを最良の状態に保ち、利用者ニーズをアンケート調査等で情報収集する等、施設利用者が安心安全に利用できる環境づくりに努めた結果、サービスの質の向上が図られた。</p> <p>引き続き、パークゴルフを通してスポーツ活動を楽しみながら、市民が交流する場を提供し、市民の体力向上や健康増進を図るため、適正な施設の管理運営により、事業を継続する必要がある。</p> <p>今後も事業運営等について指定管理者と必要に応じて協議を行い、施設の適切な管理を行っていく。</p>																
予算の執行状況	(単位：円)																
予算額	14,078,000	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
		14,078,000				14,078,000											

予算科目	10 款	教育費	事業名	スポーツ振興事業〔復興基金〕											
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち										
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進										
	事業	体育奨励費		( 1 )	スポーツ活動を推進する										
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P102											
目的及び事業内容	いしのまき復興マラソンの開催を支援することにより、市民マラソンの普及や体育・スポーツへの意識の高揚と、市民の体力向上や健康増進を図るとともに、スポーツイベントを通じた交流人口の拡大による地域経済の活性化を目指すもの。														
取組実績	<p>いしのまき復興マラソン実行委員会に対して負担金を交付するとともに、事業の実施に当たっては、昨年度の反省やランナーの要望に対応し、コースや会場などを含めた大会全体の見直しを行い、種目数は既存の10キロ・ハーフに加えて、5キロやファミリーの部などを追加し、昨年度よりも多い合計9種目で行った。また、東日本大震災で寄せられた多くの支援に対する感謝を伝え、復興状況を全国に向けて発信した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>3,000,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>3,000,000円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>5,000,000円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	交付額	R4	3,000,000円	R5	3,000,000円	R6	5,000,000円
年度	交付額														
R4	3,000,000円														
R5	3,000,000円														
R6	5,000,000円														
成 果	<p>会場内にイベントブースを設け、来場された方も楽しめる企画を実施したり、参加ランナーに対する豚汁のお振舞いを行ったりといった工夫をしたことにより、参加者数が増加するなど市民のスポーツ活動に対する意識の向上に寄与した。</p> <p>いしのまき復興マラソン参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>2,397人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,605人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2,568人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	参加者数	R4	2,397人	R5	1,605人	R6	2,568人
年度	参加者数														
R4	2,397人														
R5	1,605人														
R6	2,568人														
成果に係る評価	<p>昨年度までの実績を踏まえ、ランナーの要望に対応し、大規模な見直しを実施し、参加人数は大幅に増加したが、会場周辺の交通渋滞の発生や市街地にコースを変更したことによる近隣住民からの苦情の発生など、課題が山積しており、解決に向けての手法を検討していく。</p>														
予算の執行状況	(単位：円)														
予算額	5,000,000	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
		5,000,000				5,000,000									

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻スポーツコミッション運営支援事業				
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進			
	事業	スポーツ交流推進事業費		( 2 )	スポーツ環境を整備する			
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 103				
目的及び事業内容	いしのまきスポーツコミッションは、スポーツと地域資源を戦略的に活用し、まちづくりや地域活性化を目的に活動している団体である。 その活動は、交流人口の拡大や市民の健康増進など、経済的効果と社会的効果の両面で発揮され、本市が推進する地方創生や持続可能なまちづくりに寄与するものであることから、負担金を交付し、当該団体の運営を支援する。							
取組実績	いしのまきスポーツコミッションに対し負担金を交付するとともに、事業の実施に当たっては、大会の運営支援、スポーツ合宿誘致、武道ツーリズム、自主イベント等の様々な事業を支援し、交流人口の拡大や地域の活性化を図った。  1 実施事業 (1) 大会の運営支援 N T T ジャパンラグビーリーグワン2023-24や第27回北日本選層軟式野球大会、ツール・ド・東北2024の運営に係る支援を実施し、キッチンカーの手配や会場予約、地場産品ブースの設置等の業務を実施した。 また、事務局業務を受託した第8回いしのまき復興マラソンでは、大会運営にかかる業務を実施し、昨年度よりも多い参加者数となった。  (2) スポーツ合宿誘致 スポーツ少年団や民間団体が実施するスポーツ合宿について、会場予約や宿泊施設の紹介、弁当の発注などの業務を実施した。  (3) 武道ツーリズム 石巻市は古くから剣道、柔道、空手などの武道が盛んであり、特に弓道界で弓術を弓道に変えた弓聖と称されている阿波研造氏の出生地でもあることから、その弓道の体験を通して、日本文化に共通する精神性の源流をたどるとともに、武道ツーリズムによる交流人口の拡大を図るため、インバウンド向けの「武道ツーリズム」に係るツアー造成を株式会社日本旅行と実施し、ガイドの育成やモニターツアー等を行った。  (4) 自主イベント いしのまき復興マラソンのプレイベントとして、ナビゲーションスポーツであるいしのまき潮風ロゲイニングを開催し、マラソンに向けての機運醸成を図った。							
成 果	スポーツと地域資源を戦略的に活用し、まちづくりや地域活性化に効果を発揮する事業を実施したことで、交流人口の増加を図ることができた。 また、事務局業務を受託した第8回いしのまき復興マラソンでは、ランナーの要望に対応し、コース変更等を行ったことで、昨年度と比較して、大幅な参加者の増加につながった。  1 大会運営支援、スポーツ合宿誘致及び自主イベント参加人数 (1) 大会の運営支援 4回 5,872人 32チーム ※参加人数に第27回北日本選層軟式野球大会の参加人数は含まずにチーム数を記載している。 (2) スポーツ合宿誘致 4回 162人 (3) 自主イベント 1回 40人							
成果に係る評価	様々な事業を積極的に実施し、交流人口の増加に寄与しているが、事務局の運営については市職員が実施しているため、構成団体の役割を明確にして事務局を決定し、いしのまきスポーツコミッションが一体となって事業を推進する体制づくりを構築する必要がある。 併せて、独立民営化に向けて、利益が発生するような大会運営支援、スポーツ合宿誘致、武道ツーリズム、自主イベントの実施について継続的に支援し、負担金に頼らず収入を確保できる事業内容を検討する必要がある。							
予算の執行状況	(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	27,000,000	27,000,000				27,000,000		

予算科目	10 款	教育費	事業名	スポーツ交流事業																					
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																				
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																				
	事業	スポーツ交流推進事業費		( 3 )	スポーツを通じた交流活動を推進する																				
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 103																					
目的及び事業内容	スポーツ交流イベントを開催することにより、スポーツの楽しさや魅力を体感し、スポーツ交流人口の増加や一体感の醸成を図るとともに、技術の向上と健康増進を図る。 プロスポーツチーム(楽天イーグルス、ベガルタ仙台及びマイナビ仙台レディース)との連携事業をはじめ、「あすチャレ!運動会」や市内小中学校での「あすチャレ!スクール」に加え、中西哲生氏のサッカー教室、セイホクパーク石巻に設置している炬火台(聖火台)磨きイベントを実施する。 また、本市を会場に、一般社団法人ツール・ド・東北及び河北新報社が主導し、ツール・ド・東北を開催する。																								
取組実績	1 プロスポーツチームとの交流事業 本市とスポーツ交流活動等に関する協定を締結している株式会社ベガルタ仙台並びにマイナビフットボールクラブやパートナー協定を締結している株式会社楽天野球団と連携し、各チームが持つノウハウを生かすことで、スポーツ交流人口の拡大を目指すとともに、地域課題等の解決を図った。 (1) ベガルタ仙台との連携事業 ア 訪問型サッカー教室 (R6.10.17~R6.12.6) イ 健康体操教室 (R6.9.2~R7.3.10) ウ 親子招待事業 (R6.7~R6.11(抽選)/R6.9.21) エ キャリアセミナー教室 (R6.12.16) (2) マイナビ仙台レディースとの連携事業 ア 訪問型サッカー教室 (R6.10.23/R7.2.13) イ アジリティ教室 (R6.10.29/R7.1.22) ウ ビーチクリーン活動 (R6.10.27) エ 試合観戦事業 (R6.11.9/R7.3.16) (3) 楽天野球団との連携 ア 東北スマイルアクション野球教室 (R6.10.26) イ ふれあいイベント (R7.1.18) ウ 親子野球教室 (R7.1.18) 2 あすチャレ!運動会 (R7.2.22) パラスポーツの魅力体験いただくことを目的に「ポッチャ」「シッティングバレー」「車いすリレー」の3種目を実施した。 3 あすチャレ!スクール (R6.6.17~R6.11.28) パラリンピアンによるデモンストレーションや講話を実施するとともに、パラスポーツ体験を通じて、子どもたちに貴重な学びの機会を提供した。 4 中西哲生氏のサッカー教室 (R7.3.15) 元プロサッカー選手で、いしのまき観光大使でもある中西哲生氏を講師に迎え、中学生を対象に技術向上と参加者相互の親睦交流を目的に開催した。 5 炬火台(聖火台)磨き i n いしのまき (R7.3.22) 炬火台(聖火台)レプリカをゴマ油により磨き上げる作業のほか、子どもたちが楽しめる「モルック」や「フラフープ的入れゲーム」「frisbeeロングスロー大会」を実施した。 6 ツール・ド・東北2024 (R6.9.15) 東日本大震災の復興支援と震災の記憶を未来に残していくとともに、サイクルツーリズムの推進を図った。																								
成 果	各種イベントの実施により、スポーツ交流人口の拡大が図られた。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>1,500人</td> <td>998人</td> <td>66.5%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,600人</td> <td>1,124人</td> <td>70.3%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1,700人</td> <td>3,551人</td> <td>208.9%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R4	1,500人	998人	66.5%	R5	1,600人	1,124人	70.3%	R6	1,700人	3,551人	208.9%
区分	成果指標		達成率等																						
	目標値	実績等																							
R4	1,500人	998人	66.5%																						
R5	1,600人	1,124人	70.3%																						
R6	1,700人	3,551人	208.9%																						
成果に係る評価	新たなイベントの実施やプロスポーツチームとの交流事業の内容の見直しを行ったことで参加者が大幅に増加し、より多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供することができた。 今後も、各種団体との協力関係を深め、魅力のあるイベントを開催するとともに、イベント周知にもより一層の力を入れ、スポーツ交流人口の拡大を図っていく。																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	12,082,281	12,052,281			3,000,000	9,052,281																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	桃生植立山公園管理運営事業																																																				
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																			
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																																			
	事業	植立山公園管理費		( 2 )	スポーツ環境を整備する																																																			
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		—																																																				
目的及び事業内容	市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																							
取組実績	<p>指定管理者による管理運営を実施した。(令和6年度から5ヵ年)</p> <p>1 指定管理者による施設運営事業  (1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク  (2) 指定管理料 13,200,000円  (3) 指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日</p> <p>2 施設管理運営事業  (1) 利用者のサービス向上  ア 利用者ニーズの変化を捉えつつ、柔軟に対応し、受付や問い合わせ等においてきめ細やかな心配りを意識した接遇を心がけるなど利用者サービスの向上に努めた。  (2) 環境整備  ア パークゴルフ場等の芝管理や植栽木の手入れ、松林の除草等を徹底し、利用者がさわやかな気持ちで活動できる環境の整備に心掛けた。  また、芝の発育不良箇所については、土の補充をして芝の定着を行った。  イ 住民自治組織「もう夢ネットワーク」と、桃生総合支所地域振興課、桃生公民館が共催で松林再生事業「松の木を植えよう」に取り組む等、地域と一体となった環境保全活動を行った。</p>																																																							
成果	<p>指定管理者によるパークゴルフ大会や教室等の自主事業を開催し、利用者の交流の場として提供することができた。また、整備された施設環境やきめ細やかな受付等の対応により、利用者からは好評を得ており、市民のスポーツ活動の促進に寄与した。</p> <p>1 利用者数等の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">パークゴルフ場</td> <td>利用者数</td> <td>5,344人</td> <td>5,735人</td> <td>7,023人</td> <td>10,353人</td> </tr> <tr> <td>使用料等</td> <td>1,093,900円</td> <td>1,209,760円</td> <td>1,443,210円</td> <td>2,127,940円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">テニスコート</td> <td>利用者数</td> <td>725人</td> <td>731人</td> <td>1,020人</td> <td>1,060人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>104,250円</td> <td>107,850円</td> <td>129,000円</td> <td>133,800円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ソフトボール場</td> <td>利用者数</td> <td>693人</td> <td>1,030人</td> <td>1,272人</td> <td>371人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>23,100円</td> <td>14,700円</td> <td>24,900円</td> <td>10,800円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>利用者数</td> <td>6,762人</td> <td>7,496人</td> <td>9,315人</td> <td>11,784人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>1,221,250円</td> <td>1,332,310円</td> <td>1,597,110円</td> <td>2,272,540円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考 多目的広場(フリーエリア(使用料:無料))利用者数集計:不実施</p>						区 分		R3	R4	R5	R6	パークゴルフ場	利用者数	5,344人	5,735人	7,023人	10,353人	使用料等	1,093,900円	1,209,760円	1,443,210円	2,127,940円	テニスコート	利用者数	725人	731人	1,020人	1,060人	使用料	104,250円	107,850円	129,000円	133,800円	ソフトボール場	利用者数	693人	1,030人	1,272人	371人	使用料	23,100円	14,700円	24,900円	10,800円	合 計	利用者数	6,762人	7,496人	9,315人	11,784人	使用料	1,221,250円	1,332,310円	1,597,110円	2,272,540円
区 分		R3	R4	R5	R6																																																			
パークゴルフ場	利用者数	5,344人	5,735人	7,023人	10,353人																																																			
	使用料等	1,093,900円	1,209,760円	1,443,210円	2,127,940円																																																			
テニスコート	利用者数	725人	731人	1,020人	1,060人																																																			
	使用料	104,250円	107,850円	129,000円	133,800円																																																			
ソフトボール場	利用者数	693人	1,030人	1,272人	371人																																																			
	使用料	23,100円	14,700円	24,900円	10,800円																																																			
合 計	利用者数	6,762人	7,496人	9,315人	11,784人																																																			
	使用料	1,221,250円	1,332,310円	1,597,110円	2,272,540円																																																			
成果に係る評価	<p>パークゴルフ場は利用者からも整備された施設環境等については好評を得ており、利用者数が伸び続けている。</p> <p>今後、現在の状況を維持しつつ、パークゴルフ協会等の利用団体や地域自治団体と連携し、更なる施設の利用促進を図り、より利用者や地域住民等から親しまれる地域のスポーツ振興の拠点施設としての役割を担うため、本事業を継続する必要がある。</p>																																																							
予算の執行状況	(単位:円)																																																							
予算額	13,200,000	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
		13,200,000				13,200,000																																																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	桃生植立山公園改修整備事業												
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち											
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進											
	事業	植立山公園管理費		( 2 )	スポーツ環境を整備する											
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P102												
目的及び事業内容	老朽化した桃生植立山公園の管理事務所兼休憩施設等の整備を行い、多くの方が訪れる公園として、施設の機能を充実させるとともに、屋外型スポーツ施設として、利用者の安全の確保と利便性の向上を図る。															
取組実績	<p>桃生植立山公園管理事務所兼休憩施設整備に関する各種工事を実施した。</p> <p>1 桃生植立山公園管理及び休憩施設整備工事  (1) 工期 : 令和6年9月13日から令和7年3月31日まで  (2) 工事費 : 64,521,600円</p> <p>2 桃生植立山公園管理及び休憩施設電気設備工事  (1) 工期 : 令和6年8月2日から令和7年3月25日まで  (2) 工事費 : 19,364,400円</p> <p>3 桃生植立山公園管理及び休憩施設機械設備工事  (1) 工期 : 令和6年8月6日から令和7年3月25日まで  (2) 工事費 : 12,802,900円</p> <p>工事場所については次のとおり</p> <p>1 管理事務所兼休憩施設(新設) 木造平屋建て、建築面積:97.30㎡  2 屋外トイレ(改修) 木造平屋建て、建築面積:30.80㎡  3 倉庫(新設) 木造平屋建て、建築面積:39.74㎡</p>															
成果	<p>桃生植立山公園管理事務所兼休憩施設等整備工事を完了した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>事業進捗率 100%</td> <td>事業進捗率 100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R6	事業進捗率 100%	事業進捗率 100%	100%
年度	成果指標		達成率等													
	目標値	実績等														
R6	事業進捗率 100%	事業進捗率 100%	100%													
成果に係る評価	<p>桃生植立山公園は、桃生地区の旧北上川河川敷の緑豊かな自然環境を生かした屋外スポーツ公園として平成9年にオープンし、多くの市民に利用されている。</p> <p>市民が気軽に利用・交流できるスポーツ施設として充実を図ってきたが、急な雷雨や炎天下時に退避する場所がないことから、老朽化していた管理施設を休憩施設付きのものに新設するとともに、屋外トイレを改修したことにより、利用者の安全確保と利便性向上が図られた。</p>															
予算の執行状況	(単位:円)															
予算額	107,400,000	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
		96,788,900		96,600,000		188,900										

予算科目	10 款	教育費	事業名	雄勝体育施設管理運営事業				
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進			
	事業	雄勝体育施設管理費		( 2 )	スポーツ環境を整備する			
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		—				
目的及び事業内容	雄勝体育施設（雄勝体育館・雄勝多目的運動広場・雄勝艇庫）は、スポーツを通じて心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上を図り、もってスポーツの日常化と普及振興を推進するとともに、雄勝体育施設の効率的かつ適正な管理運営を実施する。							
取組実績	1 指定管理者による施設運営事業（令和3年度より継続） (1) 指定管理者 公益社団法人MORIU MIUS（モリウミアス） (2) 指定管理料 15,000,000円 (3) 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで							
	2 施設管理運営事業 (1) 雄勝体育館の運営 バドミントン、バレーボール、剣道、卓球、ソフトテニス、太極拳、チアダンス、フラダンス、ヨガのほか、伊達の黒船太鼓や味噌作朧ばやし愛好連等の伝統芸能の練習、雄勝地区文化祭、カラオケ大会やギター教室、各種健診等で利用 (2) 雄勝多目的運動広場の運営 キャッチボールやウォーキング等で利用 (3) 雄勝艇庫の運営 SUPやカヤックの貸出、指導のほか、初心者向けのSUP体験会、経験者向けのステップアッププログラム、屋内プールや雄勝湾でのSUP体験会、ビーチクリーン活動のほか、SNS等を活用した広報活動等を実施 (4) 地域貢献 ビーチクリーンイベントの開催、施設周辺の清掃、除草、植木の剪定等の活動を継続的に実施 (5) 安心安全な運営管理 SUP等の定期点検及び修繕、全スタッフのインストラクター資格取得、消防救命講習の受講 (6) スタッフの資格取得（令和6年度実績） 小型船舶操縦免許、上級救命講習、JSPASUPベーシック検定員講習、各種技術研修受講 (7) 利用者支援のための方策 SNS・ホームページでの魅力発信、新規顧客・リピーター獲得のための企画検討、情報誌掲載 (8) 経費削減のための方策 節電や節水、不要な印刷物の削減及びデジタルデータ管理、道具の修理修繕をスタッフが行う等							
成果	令和6年度雄勝体育施設利用者数							
	区分	体育館	多目的運動広場	艇庫	計			
	R 3	1,644人	45人	198人	1,887人			
	R 4	2,188人	145人	160人	2,493人			
	R 5	1,685人	14人	216人	1,915人			
	R 6	1,482人	37人	305人	1,824人			
成果に係る評価	雄勝体育館については、各種スポーツや伝統芸能の練習等での利用はあるものの、利用者の固定化及び新規の利用が伸び悩んでいる状況にある。また、雄勝多目的運動広場の利用についてもウォーキングの利用等、依然として利用が少ない状況であり、SNS等を活用して、市内外の利用者獲得に向けたイベントを開催する等利用者を増やすために意欲的に取り組んでいく。 雄勝艇庫の利用者は年々増加しており、今後もSUP・カヤック体験や各種ツアー、イベント等、魅力的な事業を継続して実施するとともに、天候に左右されない屋内プール等を活用した体験事業や代替の事業を検討する。また、平日の利用者が少ないことから、限定プランを企画する等、利用者の満足感が得られる事業を展開していく。							
予算の執行状況	(単位：円)							
予算額	決算額	決算額の財源内訳						
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
15,000,000	15,000,000				15,000,000			

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合体育館管理運営事業				
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進			
	事業	体育館管理費		( 2 )	スポーツ環境を整備する			
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		—				
目的及び事業内容	石巻市総合体育館は、体育・スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上に資することを目的とし、体育・スポーツ活動やレクリエーションの指導研修、健康及び体力の増進などの相談に関する事業を行うとともに、「キッズ・パラエティスポーツ教室」の開催など、スポーツ振興に関する事業を企画及び実施するため、指定管理者による適正な指定管理運営事業を実施する。							
取組実績	1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 指定管理者 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会 (2) 指定管理料 54,000,000円 (3) 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）							
	2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 利用者の立場に立った管理運営に努め、利用者へのアンケート等を通じて、利用者ニーズを把握し、速やかに対応するとともに、行事予定や大会開催、各種イベントについて、SNS等を有効活用し、利用促進を図った。 (2) スポーツ振興に関する事業の展開 市民の誰もがスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現や、青少年の健全育成及び体力の向上を目指し、気軽に参加できるスポーツを通じて、地域の交流推進を図るなどして、様々な種目のスポーツを体験する機会を提供し、スポーツ振興の推進を図った。							
成果	1 利用者数の推移							
	区分	R4	R5	R6				
個人利用者数	9,445人	14,433人	15,167人					
回数券利用者数	8,612人	13,549人	15,783人					
貸切利用者数	23,414人	37,493人	39,984人					
教室参加者数	7,720人	9,845人	10,015人					
合計	49,191人	75,320人	80,949人					
成果	2 事業の参加者数の推移							
	区分	R4	R5	R6				
スポーツフェスタ	中止	105人	241人					
キッズ・パラエティスポーツ教室	905人	1,201人	1,113人					
体育館スポーツ教室	1,130人	2,448人	2,399人					
いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	353人	362人	386人					
合計	2,388人	4,116人	4,139人					
成果に係る評価	スポーツ振興に関する事業として実施した各イベントは定着化してきており、市民の誰もがスポーツに親しむことができる機会を提供し、市民の健康増進や心身の健全育成に寄与した。 また、施設利用者の意見を積極的に取り入れ、サービスの向上に努めるとともに、積極的な広報活動を行ったことにより、利用者数は前年より約5千人程度増加した。							
予算の執行状況	(単位：円)							
予算額	決算額	決算額の財源内訳						
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
54,000,000	54,000,000				54,000,000			

予算科目	10 款	教育費	事業名	桃生武道館改修事業											
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち										
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進										
	事業	体育館管理費		( 2 )	スポーツ環境を整備する										
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 103											
目的及び事業内容															
桃生武道館の経年劣化及び天井構成部の不具合を改修し、利用者に良好な施設環境を提供するとともに、利用者及び観覧者の安全性を確保することで、スポーツ振興及び利用者の健康増進に寄与する。															
取組実績															
桃生武道館アリーナ天井等落下防止工事を実施した。															
1 桃生武道館アリーナ天井等落下防止改修工事 (1) 工期 : 令和6年8月20日から令和7年2月14日まで (2) 工事費 : 44,096,800円															
成果															
桃生武道館アリーナ天井等落下防止改修工事を完了した。															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>事業進捗率 100%</td> <td>事業進捗率 100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R6	事業進捗率 100%	事業進捗率 100%	100%
年度	成果指標		達成率等												
	目標値	実績等													
R6	事業進捗率 100%	事業進捗率 100%	100%												
成果に係る評価															
桃生武道館は、中学校の部活動や各種スポーツ少年団をはじめ各種団体が幅広く利用する施設であるが、経年劣化や地震等の影響と思われる天井部固定ボードのズレが確認されたため、アリーナ天井等の落下防止改修工事を行ったことにより、利用者の安全確保が図られた。															
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	44,750,000	44,146,800	10,345,000	15,800,000		18,001,800									

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合運動公園管理運営事業																																																									
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																								
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																																								
	事業	総合運動公園管理費		( 2 )	スポーツ環境を整備する																																																								
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		-																																																									
目的及び事業内容																																																													
石巻市総合運動公園(セイホクパーク石巻)は、スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上に資することを目的とし、利用者への質の高いサービスや安全で快適な施設の提供を行うとともに、各種スポーツ行事や競技大会等の開催を通じて利用者の拡大を図っていくため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																													
取組実績																																																													
1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 指定管理者 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会 (2) 指定管理料 153,759,100円 (3) 指定期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)																																																													
2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 利用者に満足していただけるよう、各種行事等について、ホームページやSNSを活用した情報発信を行うとともに、利用者ニーズを把握するため、施設利用者に利用報告書を提出してもらい、要望、意見等に速やかに対応するように努めた。  (2) 快適な施設環境の提供 施設を安全で快適に利用するため、日々の環境整備(清掃、除草、スポーツ芝の管理等)や緊急時の対応に備えた定期的な危険箇所の点検及び修繕に努めた。																																																													
成果																																																													
利用者数の推移																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民球場</td> <td>23,177人</td> <td>22,107人</td> <td>31,976人</td> </tr> <tr> <td>フットボール場</td> <td>6,622人</td> <td>8,416人</td> <td>11,516人</td> </tr> <tr> <td>ふれあいグラウンド</td> <td>5,216人</td> <td>4,934人</td> <td>5,651人</td> </tr> <tr> <td>フットサルコート</td> <td>6,983人</td> <td>6,894人</td> <td>5,761人</td> </tr> <tr> <td>フットボールフィールド第1</td> <td>27,489人</td> <td>30,278人</td> <td>36,700人</td> </tr> <tr> <td>フットボールフィールド第2</td> <td>17,531人</td> <td>17,687人</td> <td>20,469人</td> </tr> <tr> <td>多目的フィールド</td> <td>6,497人</td> <td>5,945人</td> <td>5,956人</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>10,658人</td> <td>10,563人</td> <td>13,100人</td> </tr> <tr> <td>南ブロックシャワー室</td> <td>224人</td> <td>246人</td> <td>222人</td> </tr> <tr> <td>南ブロック更衣室</td> <td>6,914人</td> <td>13,931人</td> <td>14,369人</td> </tr> <tr> <td>施設外来園者</td> <td>103,273人</td> <td>90,100人</td> <td>107,633人</td> </tr> <tr> <td>トレーニングセンター</td> <td>11,925人</td> <td>14,459人</td> <td>12,764人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>226,509人</td> <td>225,560人</td> <td>266,117人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	R4	R5	R6	市民球場	23,177人	22,107人	31,976人	フットボール場	6,622人	8,416人	11,516人	ふれあいグラウンド	5,216人	4,934人	5,651人	フットサルコート	6,983人	6,894人	5,761人	フットボールフィールド第1	27,489人	30,278人	36,700人	フットボールフィールド第2	17,531人	17,687人	20,469人	多目的フィールド	6,497人	5,945人	5,956人	テニスコート	10,658人	10,563人	13,100人	南ブロックシャワー室	224人	246人	222人	南ブロック更衣室	6,914人	13,931人	14,369人	施設外来園者	103,273人	90,100人	107,633人	トレーニングセンター	11,925人	14,459人	12,764人	合計	226,509人	225,560人	266,117人
区 分	R4	R5	R6																																																										
市民球場	23,177人	22,107人	31,976人																																																										
フットボール場	6,622人	8,416人	11,516人																																																										
ふれあいグラウンド	5,216人	4,934人	5,651人																																																										
フットサルコート	6,983人	6,894人	5,761人																																																										
フットボールフィールド第1	27,489人	30,278人	36,700人																																																										
フットボールフィールド第2	17,531人	17,687人	20,469人																																																										
多目的フィールド	6,497人	5,945人	5,956人																																																										
テニスコート	10,658人	10,563人	13,100人																																																										
南ブロックシャワー室	224人	246人	222人																																																										
南ブロック更衣室	6,914人	13,931人	14,369人																																																										
施設外来園者	103,273人	90,100人	107,633人																																																										
トレーニングセンター	11,925人	14,459人	12,764人																																																										
合計	226,509人	225,560人	266,117人																																																										
成果に係る評価																																																													
令和6年度は、全国高等学校野球選手権宮城大会、女子プロサッカーリーグのWEリーグやプロラグビーリーグなどの競技スポーツが盛んに開催され、利用者数が前年より約4万人程度増加した。今後も、利用者への質の高いサービスや安全で快適な施設の提供を行うとともに、各種スポーツ行事や競技大会等の開催を通じて利用者の拡大に努めていく。 また、施設の安定的な維持管理を行うため、収入確保策として、昨年度末に市民球場の広告掲載区域を拡大し、広告掲載事業者の募集を始めており、維持管理に必要な財源確保にも積極的に取り組んでいく。																																																													
(単位：円)																																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
	153,759,100	153,759,100			3,708,000	150,051,100																																																							

予 算 科 目	10 款	教育費	事業名	新学校給食センター整備事業		
	7 項	保健体育費	総 合 計 画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	4 目	学校給食センター建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進	
	事業	学校給食センター建設事業費		( 1 )	充実した教育を行うための環境を整備する	
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88		
目的及び事業内容	<p>今後も安全安心な学校給食を安定供給していくため、老朽化した住吉、河北及び河南学校給食センターを統廃合し、本市初の P F I 方式により新学校給食センターを整備する。</p> <p>【 P F I 方式による事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設整備業務（設計、建設、工事監理、調理設備及び食器、施設備品等の調達等）</li> <li>・ 開業準備業務（維持管理、運営業務を行うための準備業務等）</li> <li>・ 維持管理業務（施設、調理設備及び食器等の保守管理、清掃、整備等）</li> <li>・ 運営業務（食材検収補助、調理、衛生管理、配送、回収業務等）</li> </ul>					
取 組 実 績	<p>【主な取組み状況】</p> <p>令和6年 4月 8日 第1回 P F I 事業審査委員会の開催（実施方針、要求水準書案）  5月30日 第2回 P F I 事業審査委員会の開催（特定事業の選定、入札公告関連）  6月26日 6月補正議決（債務負担行為）  7月 1日 入札公告  7月10日 入札説明会及び現地見学会  8月20日 入札参加資格確認審査の通知  10月15日 提案書の受付・入札  11月 6日 第3回 P F I 事業審査委員会の開催（提案に関する意見交換）  11月18日 第4回 P F I 事業審査委員会の開催（提案審査、事業者選定、審査講評）  12月 2日 第17回庁議（落札者の決定について）  12月 6日 審査結果の公表  12月23日 第12回市教委定例会（落札者の決定について）  12月27日 基本協定の締結  令和7年 1月28日 仮契約の締結  3月19日 事業契約の締結（市議会議決）  3月19日 施設整備業務開始（設計、建築、工事等）</p> <p>【主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審査委員会を経て、市議会の議決により選定事業者と新学校給食センター整備に係る事業契約を締結した。</li> </ul>					
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新学校給食センター P F I アドバイザリー業務を通じ、計画どおり事業を推進することができた。</li> <li>・ 新学校給食センター整備運営 P F I 事業審査委員会を開催し、実施方針、要求水準書の確認、事業者からの提案に対する審査等を行い、市議会議決を経て事業契約を結ぶことができた。</li> </ul>					
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新学校給食センターの整備に P F I 方式を取り入れたことで、効率的かつ効果的な施設整備、維持管理及び運営ができる見込みとなったことから、本市の財政負担に有効な事業手法である。</li> <li>・ 本市では P F I 事業の経験がないことから、P F I アドバイザリー業務を発注することで、事業実施に必要な実施方針や要求水準書等を、期間内に効率よく作成することができたことから、当該業務は本事業推進にとって有効な手段である。</li> </ul>					
予算の執行状況	（単位：円）					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
15,132,000	13,640,560				13,640,560	